SONY

パーソナルコンピューター

VGC-LN_2シリーズ
取扱説明書

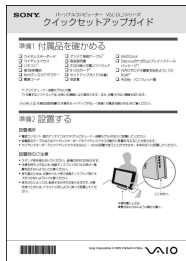
SONY VGC-LN_2シリーズ VAIO

VAIO

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書(本書)をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

クイックセットアップガイド

設置・接続からバイオを使うための準備までを、イラストを見ながら知ることができます。

取扱説明書(本書)

バイオを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

画面で見るマニュアル

VAIO 電子マニュアル

知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書(本書)に記載している情報のほか、さらに詳しい情報もたくさん記載しています。検索機能を使って、すばやく便利に目的の操作やトラブルの解決法を見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

VAIO ナビ

目的にあったソフトウェアを探す

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。

重要なお知らせ

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

VGC-LN_2シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

S400 MEMORY STICK Wi-Fi CERTIFIED Bluetooth HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご確認ください。

このマニュアルでは、Windows Vista 32ビット版での操作を説明しています。64ビット版がインストールされている場合、実際にお使いの操作とマニュアルの記載とが異なる場合があります。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home Premium搭載モデルにのみインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

ソフトウェアを使ってみよう

HDMI入力機能

（HDMI入力機能搭載モデル）

インターネット／メール

セキュリティ

増設／バックアップ／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

各部名称／注意事項

安全規制について

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-2M1N

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカード/レシーバおよび付属のワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカード/レシーバおよび付属のワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカード/レシーバおよび付属のワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスに貼られている証明ラベルをはがすこと

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について

キーボード内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。使用周波数は、13.56 MHz帯です。キーボード内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

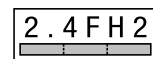
無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20mです。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

使用済みコンピュータの回収について

PC
リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：(0570) 000-369(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。)
携帯電話やPHSでのご利用は：(03) 3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00(土・日・祝日および当社指定の休日を除く)

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。
([サービスとサポート] － [お問い合わせ／アフターサービス] － [使用済みコンピュータの回収について] をクリックする。)

事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

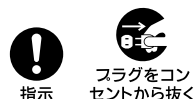
注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　接触禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠危険　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の取り付け金具を使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない。

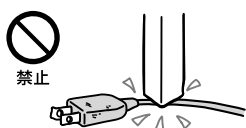
禁止　指示

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折などの大けがの原因となることがあります。

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

分解禁止

- 本機および付属の機器(ケーブルを含む)は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは「メモリを取り付ける／はずす」(87ページ)に従って注意深く作業してください。
また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、ネットワーク(LAN)ケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

- 交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。なお、ACアダプタと電源コードは対応する入力電圧が異なる場合があります。ACアダプタ・電源コードの記載をご確認ください。
本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 本機のワイヤレス機能は国内専用です。
海外で使うと罰せられることがあります。

LANコネクタに指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク(LAN)
- 一般電話回線
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間触れない

禁止

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。
通電中のディスプレイ画面や通風孔には長時間触れないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。WIRELESSスイッチの場所は162ページを確認してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。WIRELESSスイッチの場所は162ページを確認してください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。WIRELESSスイッチの場所は162ページを確認してください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

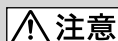
キーボードやマウスなどを使いすぎない

禁止

キーボードやマウスなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

注意

マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

注意

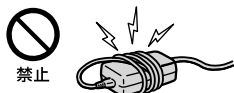
ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

注意

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

禁止

断線の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

通風孔からの排気に長時間あたらない

禁止

本機をご使用中、その動作状況により通風孔から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。
また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

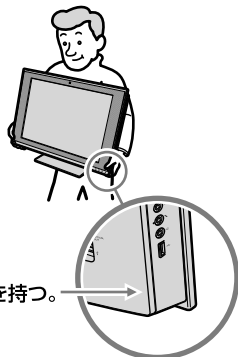
安定した場所に置く

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに置いたり設置したりしないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

注意

ここを持つ。

コンピュータを運搬するときは、本体部分の下部を左右から持ち、安定した姿勢で運んでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。
また、本体を設置する際、指などを挟まないようにご注意ください。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

カバーの取り付けや取りはずしの際に、手や指を挟まない

注意

手や指をカバーの外周や角に挟むと、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

製品の設置や移動時に机の上でずらさない

注意

コンピュータを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

液晶画面に衝撃を与えない

禁止

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

禁止

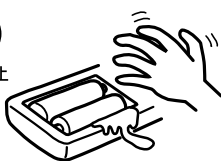
故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

接触禁止

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

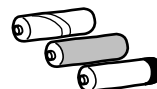
禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

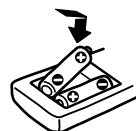
⚠注意

次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあります。

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋とーの向きを正しく入れる

指示

＋とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

VAIOでできる

手軽に楽しむ

ビデオ／BD・DVD

VAIOに搭載されたソフトウェアを使えば、簡単にショートムービーを作成したり、
書き出したりすることができます。

ショートムービーを作成する

「PMB（Picture Motion Browser）」や「VAIO Movie Story」を使えば、思い出の写真やビデオから、ドラマチックなショートムービーが簡単に作成できます。
詳しくは「写真・ビデオ」（68ページ）をご覧ください。

オリジナルBD・DVDを作成する

「PMB（Picture Motion Browser）」や「Click to Disc Editor」を使えば、撮影したビデオや写真、作成したショートムービーからオリジナルBD・DVDが作成できます。
詳しくは「写真・ビデオ」（68ページ）をご覧ください。

BD・DVDを見る

「WinDVD」を使えば、BDやDVDを再生することができます。
詳しくは「BD・DVD再生」（74ページ）をご覧ください。

こと

VAIOは、インターネットやメール、ワープロや表計算など基本的な機能に加え、まるでAV機器のように、手軽に映像や音楽を楽しめる、充実のパソコンです。

高画質な大画面で楽しむ

テレビ

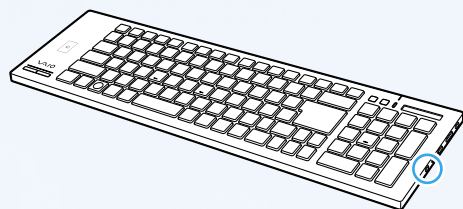
（テレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送ダブルチューナーとテレビ録画・視聴ソフトウェア「Giga Pocket Digital」で、テレビ番組を自在に録る・観る・残すことができます。

デジタル放送を見る・録画する

「Giga Pocket Digital」で、デジタル放送を視聴しながら録画することができます。
詳しくは「テレビ」（59ページ）をご覧ください。

キーボードのS1ボタンで簡単起動

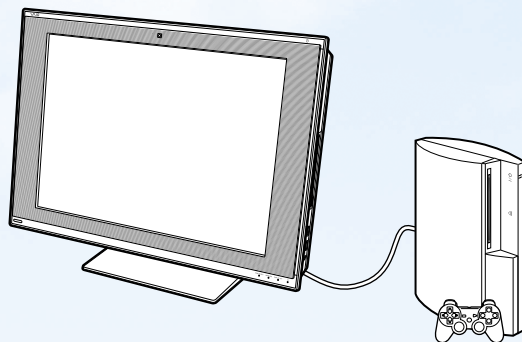
キーボードのS1ボタンを押すだけで、簡単に
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動できます。

つなげて広がる

HDMI入力機能

（HDMI入力機能搭載モデル）

HDDレコーダー、ビデオカメラ、ゲーム機など、
HDMI出力を持つ機器をつなげると、
本機でHDMI機器の映像や音声を楽しむことができます。

HDMI機器を楽しむ

本機右側面のHDMI SELECTボタンを押すと、パソコン本体（PC）表示とHDMI表示を切り換えることができます。
詳しくは「HDMI入力機能」の章（75ページ）をご覧ください。

VAIOを使うための8つの

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

20ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

22ページ

準備3 接続する

▶ ネットワークケーブル、電源コードなどの接続

25ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた
▶ キーボードとマウスのコネクト

39ページ

準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定
42ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
基本設定を行う
▶ VAIO をはじめる前の準備
48ページ

準備7
カスタマー登録する
▶ カスタマー登録について
52ページ

準備8
重要情報を自動的に入手する
54ページ

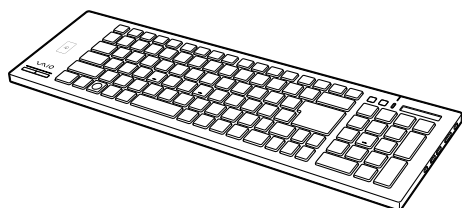
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。
本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❑ ワイヤレスキーボード

以下「キーボード」と略します。

❑ ワイヤレスマウス

以下「マウス」と略します。

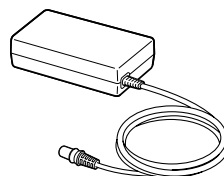
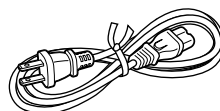
❑ リモコン

（テレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ 単3形乾電池

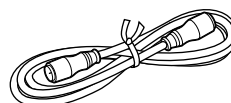
- キーボード・マウス用アルカリ乾電池（4）
- リモコン用マンガン乾電池（2）
（テレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ 8cmディスクアダプター

❑ ACアダプタ

❑ 電源コード

！ご注意

付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ アンテナ接続ケーブル

（テレビチューナー搭載モデルに付属）

説明書・その他

❑ **取扱説明書(本書)**

❑ **主な仕様と付属ソフトウェア**

❑ **B-CASカード**
(テレビチューナー搭載モデルに付属)
台紙に貼付されています。
テレビを視聴するためには、B-CASカードを本機に挿入する必要があります。(29ページ)

❑ **クイックセットアップガイド**

❑ **保証書**
修理の際に必要になります。

❑ **VAIOカルテ**
修理の際に必要になります。

❑ **「Microsoft® Office Personal 2007[*1]」プレインストールパッケージ**
(「Office Personal 2007」または
「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ **「Microsoft® Office PowerPoint® 2007[*2]」プレインストールパッケージ**
(「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ **「Microsoft® Office Professional 2007[*3]」プレインストールパッケージ**
(「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属)

*1　この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2　この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3　この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

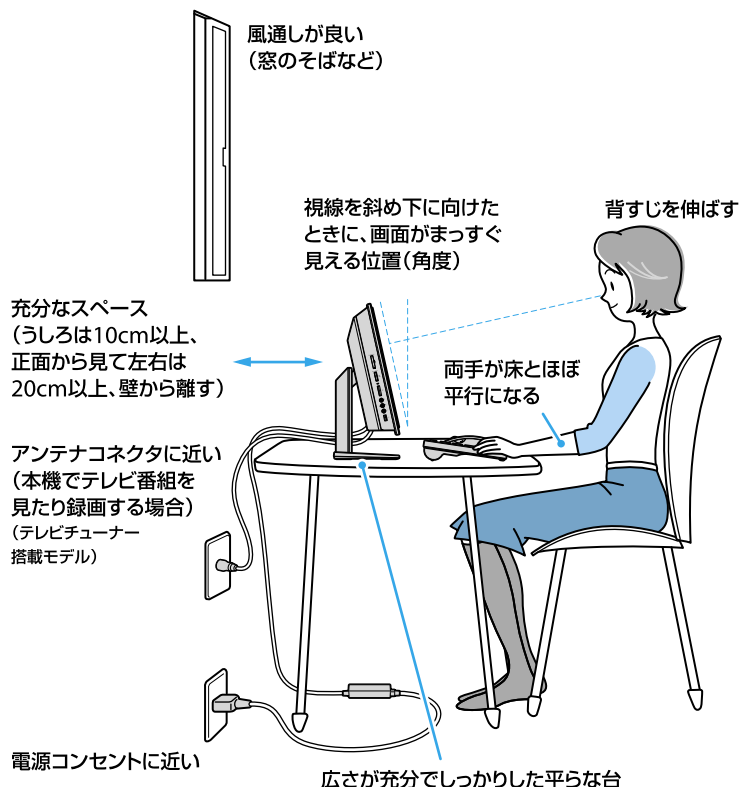
❑ **その他・パンフレット類**
大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、別紙の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは、「リカバリする」(100ページ)をご覧ください。

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

!ご注意

- 本機使用中は本体上部の排気口が熱くなる場合があります。これらの部分に触れるときは充分ご注意ください。
- 排気口に物を置いたり、ふさいだりしないでください。

設置に適さない場所

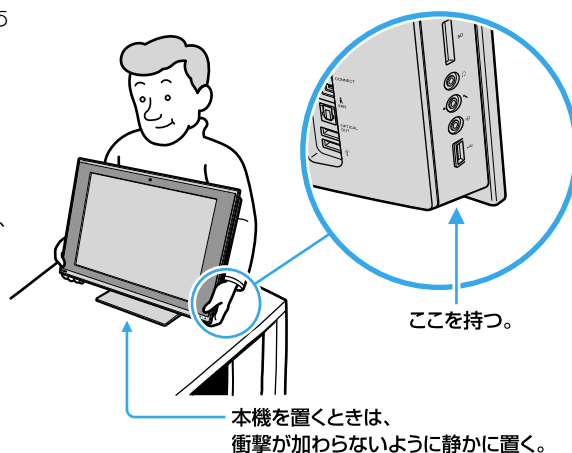
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

設置時のご注意

- スタンド部を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 本機を持ち上げるとき、液晶ディスプレイのパネル部分へ衝撃を加えないようにご注意ください。
- 持ち運ぶときは、衣類やベルト等で液晶ディスプレイ等にキズがつかないようにご注意ください。
- 持ちかたによっては、転倒するおそれがありますので、本機を持つときには、イラストと同じように持って設置してください。

ここを持つ。

本機を置くときは、
衝撃が加わらないように静かに置く。

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
移動するときは、接続ケーブルをすべて取りはずしてください。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

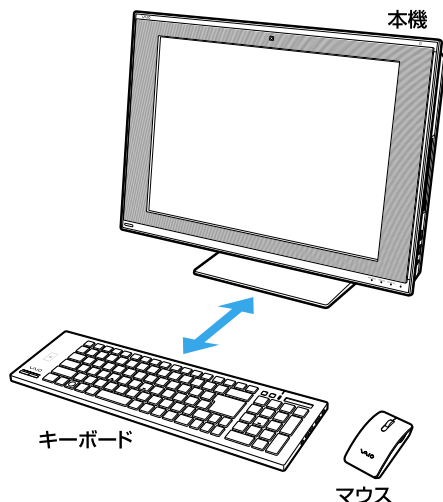
設置の際の安全上の注意事項もご覧ください(11ページ)。

ご使用になる環境について

本機とキーボードやマウスの距離は、最長10m離して使うことができます。

本機

キーボード

マウス

!ご注意

- キーボードやマウスの上に水などをこぼさないでください。キーボードやマウスが使用できなくなる場合があります。
- 金属製の机など、キーボードやマウスの近くに金属があると、近距離(10cm以内)での通信に影響を及ぼし、キーボードのキー入力やFeliCa通信、マウスの操作が不安定になる場合があります。キーボードを金属から離すか、本体との距離を離す(15cm以上)ことをおすすめいたします。

本機を壁に取り付けるには

本機は壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。壁に取り付ける場合には、必ず壁掛け金具を使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。
デジホームサポートでは、本機を設置するサービス（有料）を行っています。各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
電話番号：（0570）073-111（一般および携帯電話）
（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間：10:00 ～ 18:00
ホームページ：http://www.sony.co.jp/css/

!ご注意
専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下して、打撲や骨折など大怪我の原因となることがあります。

壁掛け金具を取り付けるには

1 本機の電源を切る。

本機と周辺機器の電源を切り、本機後面右下に接続しているケーブルを取りはずします。

2 カバーを取りはずす。

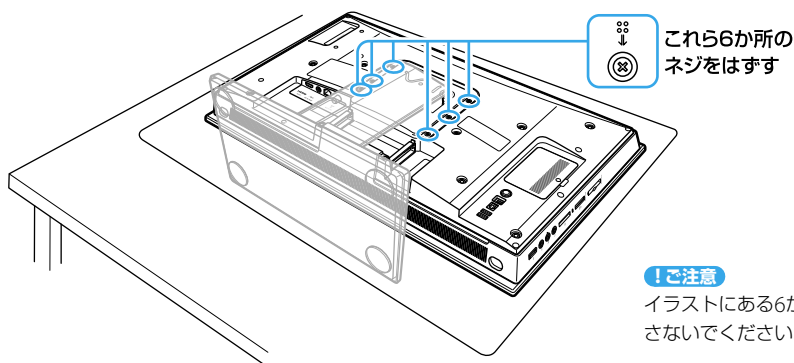
本機前面を下にして置き、本機後面の本体カバーとスタンドカバーを取りはずします。詳しくは「カバーを取りはずす」（26ページ）をご覧ください。

!ご注意
本機に傷がつかないように布などをしいてください。

3 ケーブルを取りはずす。

本機に接続しているすべてのケーブルを取りはずします。

4 ネジをはずす。

これら6か所の
ネジをはずす

!ご注意
イラストにある6か所のネジ以外のネジをはずさないでください。

5 壁掛け金具の取扱説明書に従って、本機を取り付ける。

!ご注意
取り付けは必ず専門業者に依頼してください。

接続する

本機の接続の流れ

本機の接続の流れは下記のとおりです。このあとの詳しい接続手順に従って、本機の接続を行ってください。

*1 テレビチューナー搭載モデル
*2 HDMI入力機能搭載モデル

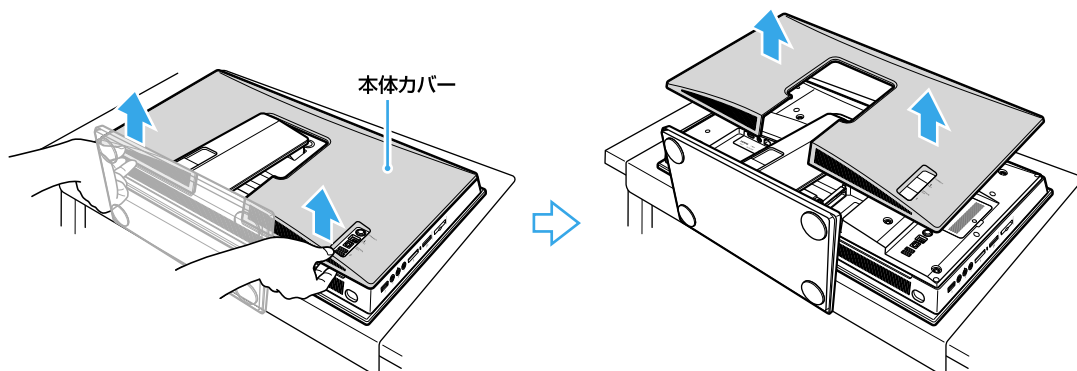
1 カバーを取りはずす

本機後面のコネクタに、アンテナ(テレビチューナー搭載モデル)やLANケーブル、ACアダプタなどを接続する場合は、本体カバーとスタンドカバーを取りはずし、コード掛けを使ってケーブル類をまとめます。

本体カバーを取りはずす

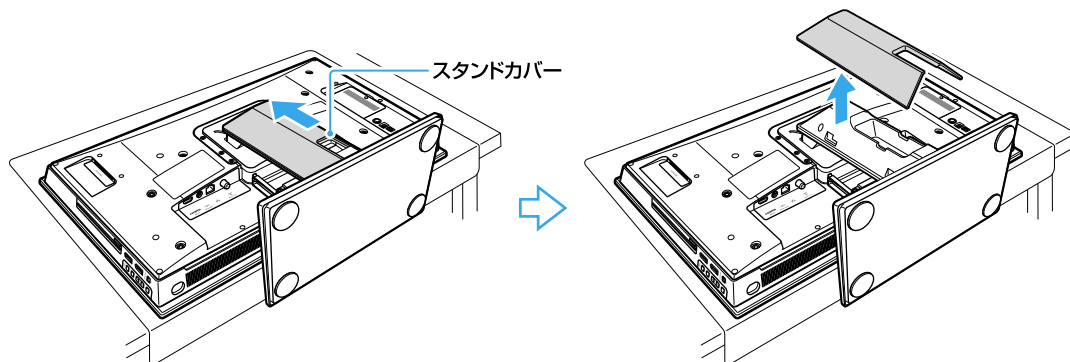
本機前面を下にして置き、図のように本体カバー底面の切り欠き部分に指をかけて持ち上げ、本体カバーを取りはずします。

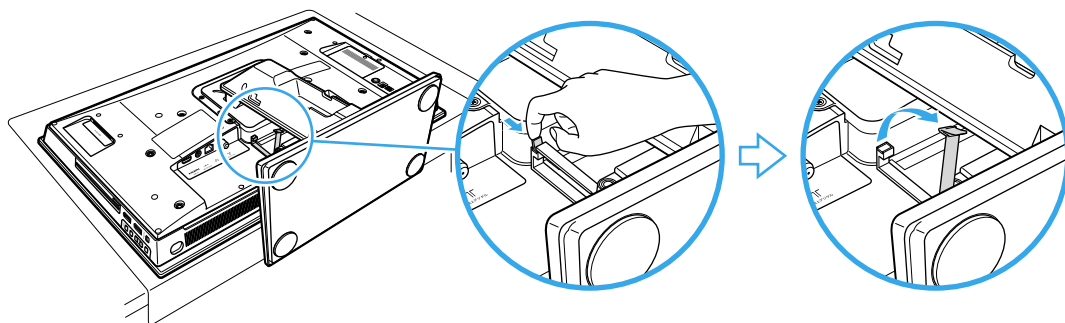
本体カバー

!ご注意

- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。
- 本体カバーを取りはずす際に、本体カバーの外周や角で手や指をけがしないようにしてください。

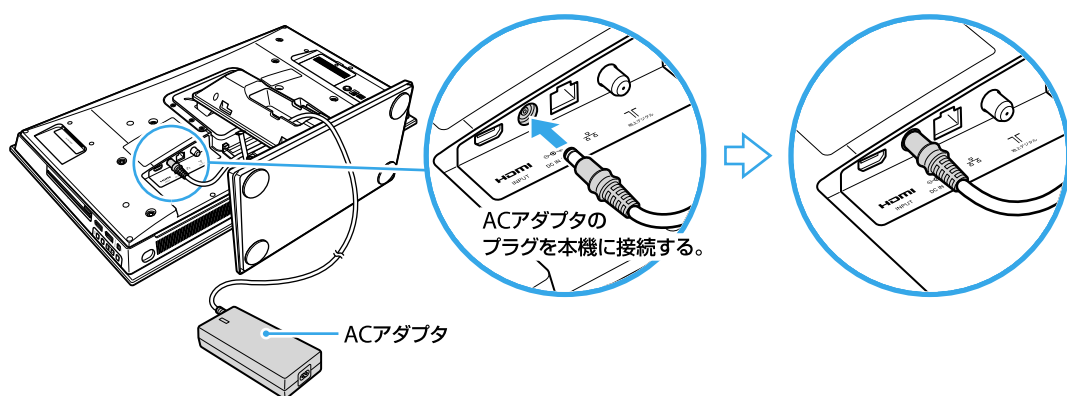
スタンドカバーを取りはずす

図のように本機上部側へずらしながらスタンドカバーを取りはずします。

スタンドカバー

コード掛けのフックを開く

本機後面のスタンドのケーブル穴とコード掛けを使うと、ケーブル類をまとめることができます。

2 ACアダプタを接続する

スタンドのケーブル穴からケーブルを通して、本機にACアダプタを接続します。

ACアダプタのプラグを本機に接続する。

ACアダプタ

!ご注意

- ACアダプタは確実に奥まで挿入してください。
- 電源コードは、本機を立ててから壁の電源コンセントにつないでください。

ヒント

ケーブルを通しにくい場合は、スタンドを持ち上げて本機との隙間を大きくすると、通しやすくなります。

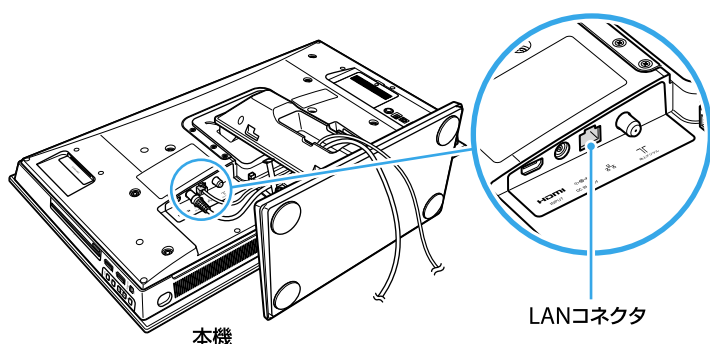
3 インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、ISDN回線を利用する方法があります。
インターネットについて詳しくは、「インターネットを始める」（79ページ）をご覧ください。

！ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ヒント
ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合は、「準備5 Windowsを準備する」のあとにワイヤレスLANの設定を行ってください。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [LAN ／ワイヤレスLAN]をクリックする。）

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

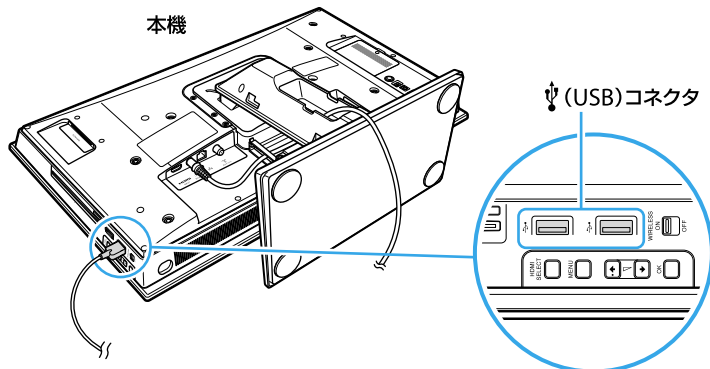
ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは、スタンドのケーブル穴からケーブルを通して、ネットワーク（LAN）ケーブルをLANコネクタに接続します。

LANコネクタ
本機

！ご注意
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ヒント
ケーブルを通しにくい場合は、スタンドを持ち上げて本機との隙間を大きくすると、通しやすくなります。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。

本機
(USB)コネクタ

ヒント
本機後面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

4 B-CASカードを入れる（テレビチューナー搭載モデル）

本機は地上デジタル放送に対応しています。
地上デジタル放送ではB-CAS*カード（デジタル放送用ICカード）を利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
本機でテレビを楽しむには、本機に付属されているB-CASカード（デジタル放送用ICカード）を本機に挿入する必要があります。
B-CASカードを挿入していないと、スクランブルが解除できないため、デジタル放送を視聴することができません。
また、B-CASカードのユーザー登録を行なうと各種サービスが利用できるようになります。

＊ B-CASは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

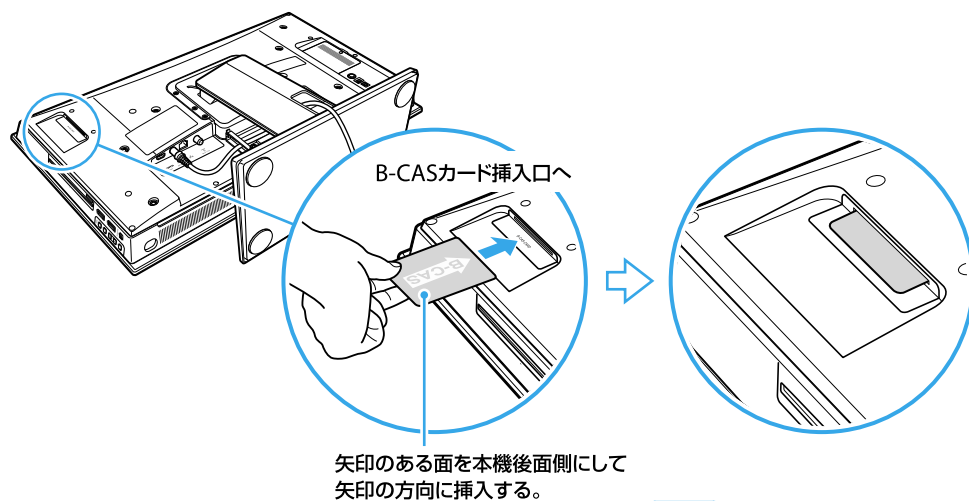
！ご注意

- ユーザー登録をしないと、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。
- 台紙は大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されています。

1 同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。

2 B-CASカードを挿入する。

本機後面のB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入します。

！ご注意

B-CASカードは確実に奥まで挿入してください。

5 アンテナに接続する（テレビチューナー搭載モデル）

テレビを見たり、録画するときは、あらかじめケーブル類などを接続しておく必要があります。

アンテナコネクタの接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

以下のようにスタンドのケーブル穴からケーブルを通し、アンテナを接続します。
アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

本機

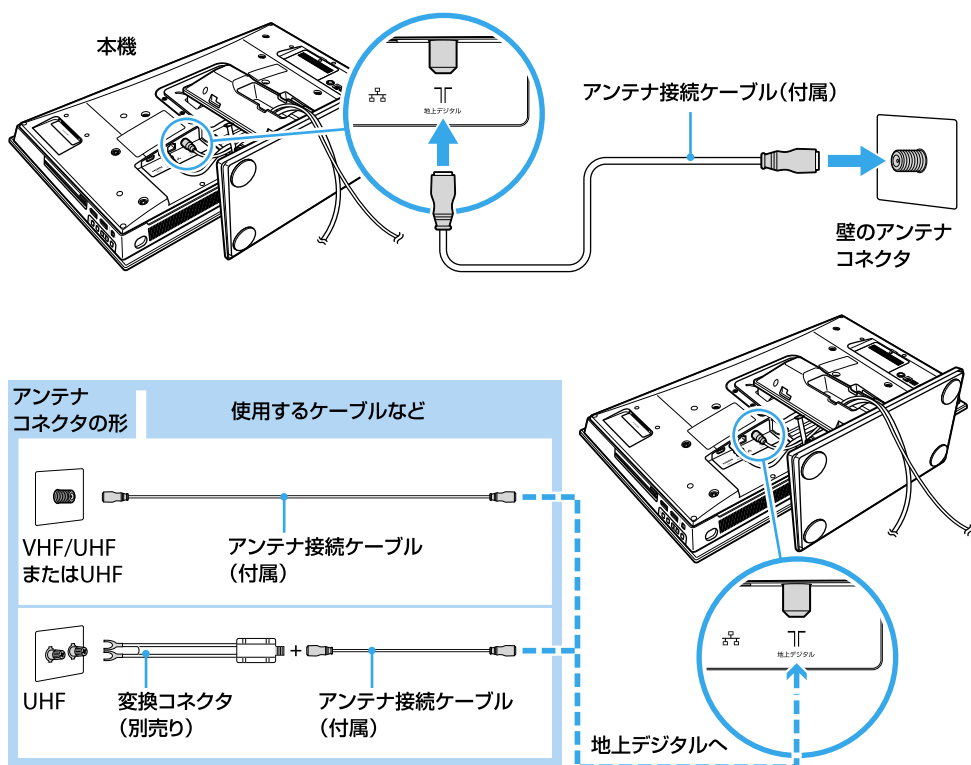
地上デジタル

アンテナ接続ケーブル（付属）

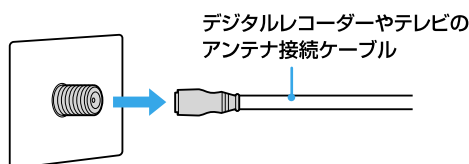
壁のアンテナ
コネクタ

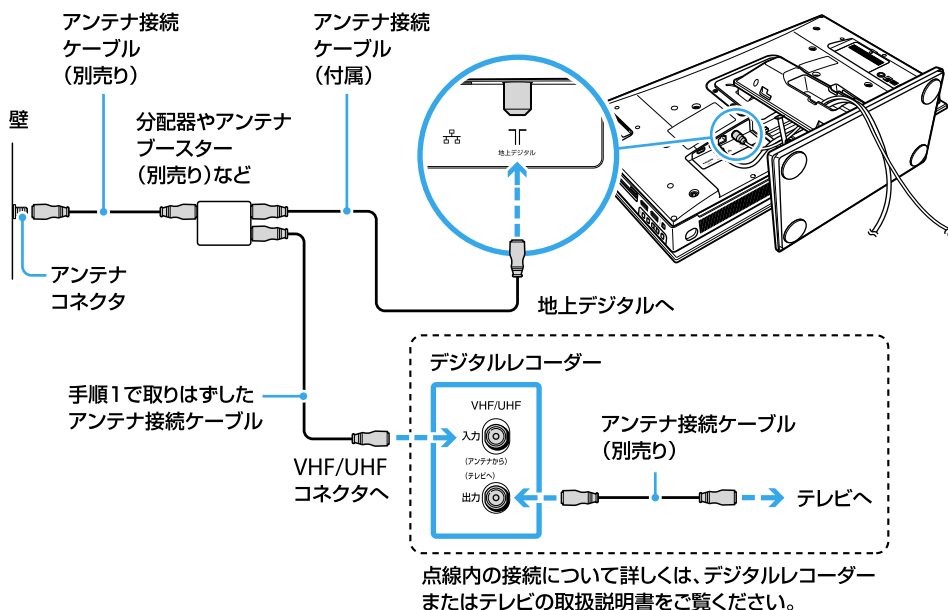
アンテナコネクタの形	使用するケーブルなど
VHF/UHF またはUHF	アンテナ接続ケーブル （付属）
UHF	変換コネクタ （別売り）＋アンテナ接続ケーブル （付属）

地上デジタルへ

ヒント

ケーブルを通しにくい場合は、スタンドを持ち上げて本機との隙間を大きくすると、通しやすくなります。

すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

① 壁のアンテナコネクタに接続されているデジタルレコーダーやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。

② スタンドのケーブル穴からケーブルを通し、アンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」(30ページ)に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。

ヒント

- デジタルレコーダーをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。
- ケーブルを通しにくい場合は、スタンドを持ち上げて本機との隙間を大きくすると、通しやすくなります。

!ご注意

双方向サービスやコンテンツ解析(51ページ)を利用する場合には、インターネットに接続している必要があります。詳しくは「インターネット接続用機器につなぐ」(28ページ)をご覧ください。

地上デジタル放送受信機をはじめてご使用になる方へ

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかご確認ください。
詳しくは、アンテナの販売店や社団法人デジタル放送推進協会のホームページ(http://www.dpa.or.jp)、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(ナビダイヤル 0570-07-0101)などにお問い合わせください。
受信障害がある環境など、放送エリア内でも受信できない場合がありますのでご注意ください。

個人住宅など、アンテナで直接受信する場合

地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。VHFアンテナでは受信できません。
現在お使いのUHFアンテナでも、地上デジタル放送に対応していればそのまま使えます。ただし、対応していない場合はUHFアンテナの交換が必要です。
また、地域によっては、地上デジタル放送の送信所にあわせてアンテナの向きを変える必要がある場合があります。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。
なお、ケーブルテレビで受信・視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

!ご注意
BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送は受信できません。

マンションやアパートなど、集合住宅の場合

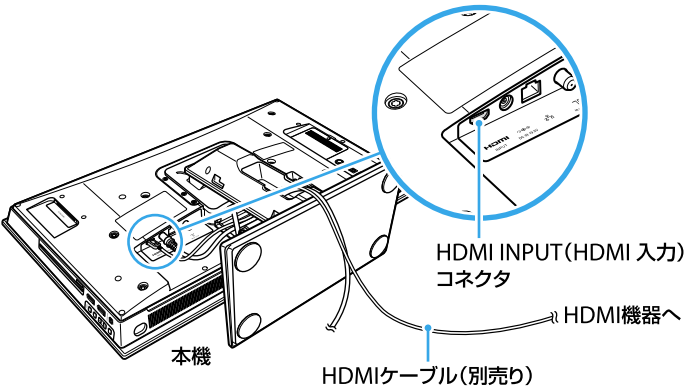
現在の設備で地上デジタル放送が見られるか、確認が必要です。
お住まいの管理組合または管理会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ(CATV)について

地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機は同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しています(トランスモジュレーション方式には対応していません)。

送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。変換後の周波数がUHF帯以外の帯域の場合は、UHF帯以外の帯域まで受信範囲が拡大されている地上デジタル放送対応テレビまたは、外付けの地上デジタル放送対応チューナーが必要です。
周波数変換パススルー方式	受信した電波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。

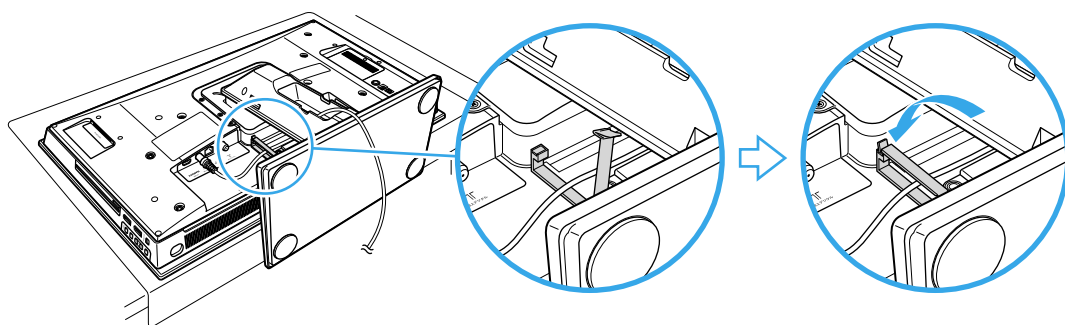
6 HDMI機器を接続する(HDMI入力機能搭載モデル)

HDDレコーダーなどのHDMI出力を持つ機器を、本機のHDMI INPUTコネクタにつなぐことで、HDMI機器の映像や音声を本機で楽しむことができます。

!ご注意
HDMIケーブルは、HDMIロゴが入っているものをお使いください。

ヒント
- ケーブルを通しにくい場合は、スタンドを持ち上げて本機との隙間を大きくすると、通しやすくなります。
- HDMI入力機能について、詳しくは「HDMI入力機能」の章(75ページ)をご覧ください。

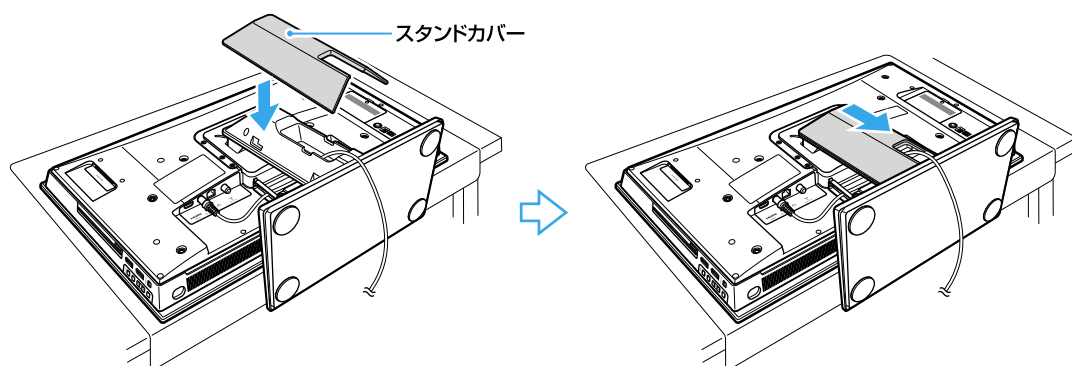
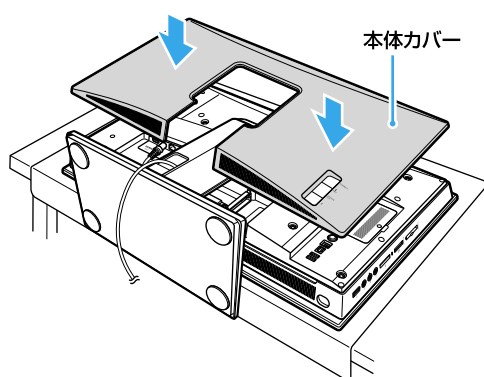
7 カバーを取り付ける

接続したケーブル類をコード掛けでまとめ、スタンドカバーと本体カバーを取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

コード掛けのフックを閉じる

ヒント

ケーブル類が重なってフックが閉じにくい場合は、ケーブルを平らに並べてからフックを閉じてください。

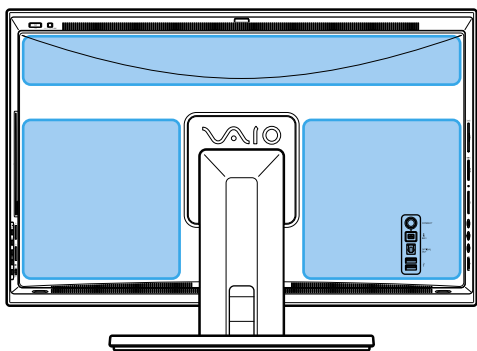
スタンドカバーを取り付ける

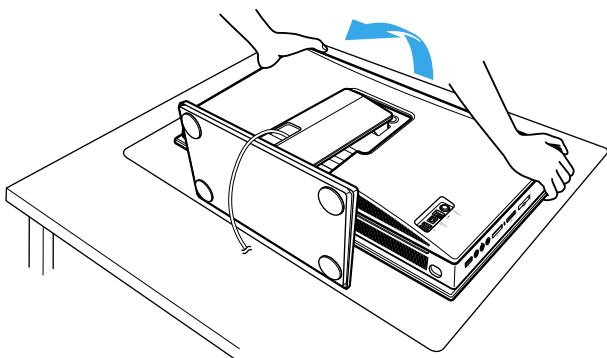
スタンドカバー

本体カバーを取り付ける

本体カバー

!ご注意

本体カバーを取り付ける際に、手や指を挟まないようにしてください。

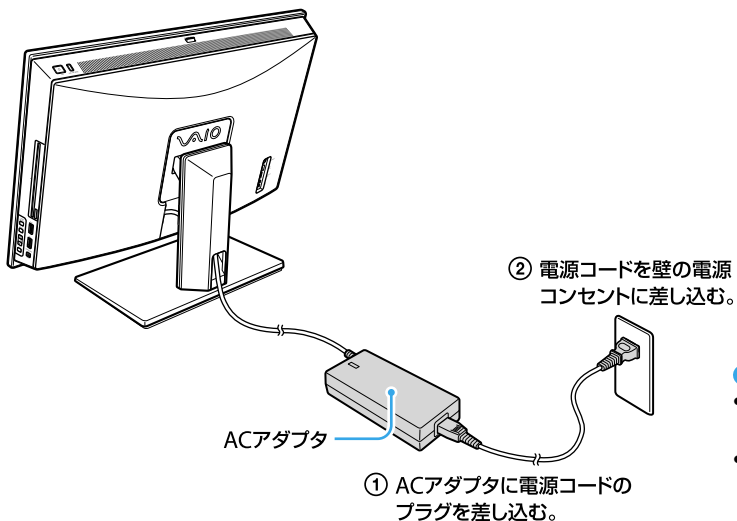
ヒント
本体カバーを取り付ける際は、下図のように枠で囲まれた場所を押してください。

本体を立てる

ケーブルの接続が完了したら、図のような部分を持って立たせます。

8 電源コンセントに接続する

電源コードを壁の電源コンセントに接続します。

② 電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。

ACアダプタ

① ACアダプタに電源コードのプラグを差し込む。

!ご注意

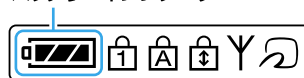
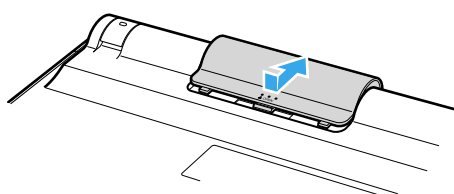
- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は国内専用です。交流100Vでお使いください。

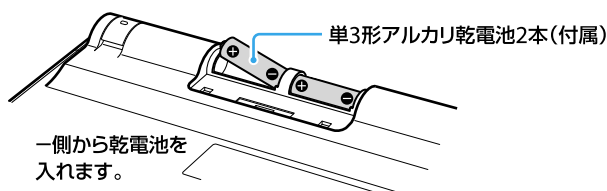
9 キーボードを準備する

キーボードに単3形アルカリ乾電池を入れます。
キーボードを利用するには、キーボードを準備したあとに、キーボードのコネクトを行う必要があります。詳しくは「キーボードとマウスを使えるようにする」(40ページ)をご覧ください。

ヒント

- キーボード右上にあるバッテリーインジケーターで、キーボードの乾電池の容量が充分かどうか確認できます。バッテリーインジケーターの場所について詳しくは、「キーボードの各部名称」(166ページ)をご覧ください。
- キーボードを長時間使わないときは、電源スイッチを「OFF」にすると電池寿命が延びます。

バッテリーインジケーター

1 キーボードを裏返し、乾電池入れのふたの「OPEN」を上から押しながら、矢印の方向に引く。

2 ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形アルカリ乾電池を2本入れる。

単3形アルカリ乾電池2本(付属)

－側から乾電池を入れます。

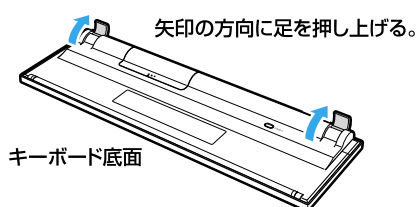
3 乾電池入れのふたを閉める。

！ご注意

- しばらくキーボードを使わないときは電源スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間キーボードを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- キーボードの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」(15ページ)をご覧ください。

キーボードの足を立てるには

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

矢印の方向に足を押し上げる。

キーボード底面

！ご注意

キーボードの足を開閉するときに爪を折らないように気をつけてください。

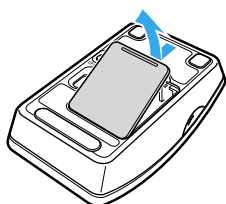
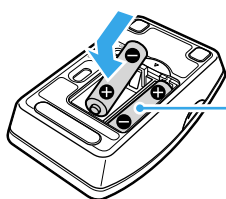
10 マウスを準備する

マウスに単3形アルカリ乾電池を入れます。
マウスを利用するには、マウスを準備したあとに、マウスのコネクトを行う必要があります。詳しくは「キーボードとマウスを使えるようにする」(40ページ)をご覧ください。

ヒント

- マウスの乾電池の容量が充分でない場合には、マウスの表面にあるローバッテリーランプが点滅します。ローバッテリーランプの場所について詳しくは、「マウスの各部名称」(168ページ)をご覧ください。
- マウスを長時間使用しないときは、電源スイッチを「OFF」にすると、乾電池の寿命が延びます。

ローバッテリーランプ

1 マウスを裏返し、乾電池入れのふたを開ける。

2 ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形アルカリ乾電池を2本入れる。

単3形アルカリ乾電池2本(付属)

3 乾電池入れのふたを閉める。

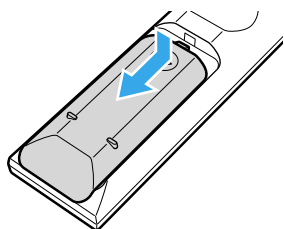
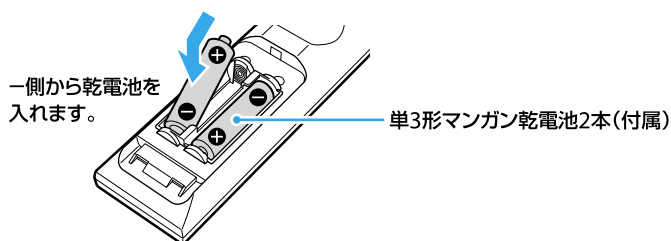
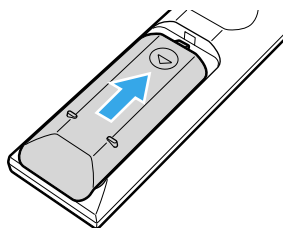
!ご注意

- しばらくマウスを使わないときは電源スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間マウスを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- マウスの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」(15ページ)をご覧ください。

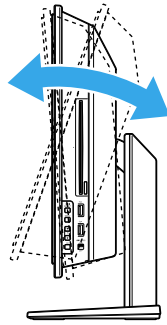
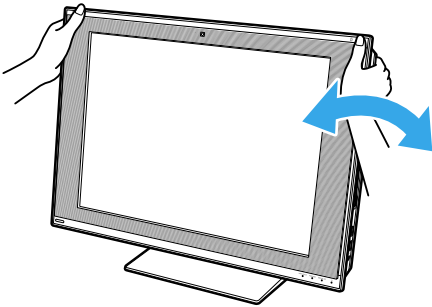
11 リモコンを準備する（テレビチューナー搭載モデル）

リモコンに単3形マンガン乾電池を入れます。

ヒント
- 本機のリモコン受光部とリモコンの発光部との間に、障害物を置かないでください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[リモコン]をクリックする。）

1 リモコンを裏返し、乾電池入れのふたを開ける。

2 ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形マンガン乾電池を2本入れる。

3 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

!ご注意
- 長い間リモコンを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」（15ページ）をご覧ください。

ディスプレイの角度を調節する

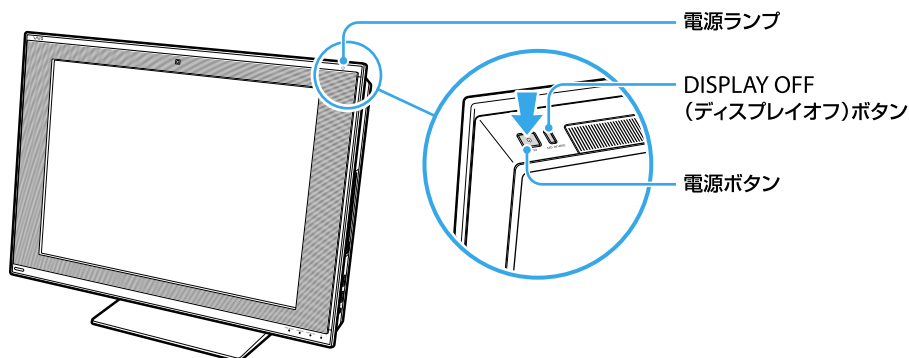
ディスプレイの上部を持ち、画面の角度を調整します。

！ご注意

角度を調整する際は、本体に強い圧力をかけすぎないようにご注意ください。強い圧力をかけすぎると破損することがあります。

電源を入れる

1 本機の電源ボタンを押す。

電源ランプ

DISPLAY OFF
(ディスプレイオフ)ボタン

電源ボタン

本機の電源が入り、電源ランプが緑色に点灯し、Windowsが起動します。

!ご注意
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源が入りません。電源ボタンは軽く押し、すぐに離してください。

ヒント
DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンがオレンジ色に点灯している場合は、画面が表示されません。画面を表示するには、DISPLAY OFFボタンを押してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「キーボードとマウスを使えるようにする」(40ページ)の手順に従ってキーボードとマウスのコネクトを行ったあと、「Windowsを準備する」(42ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ~ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

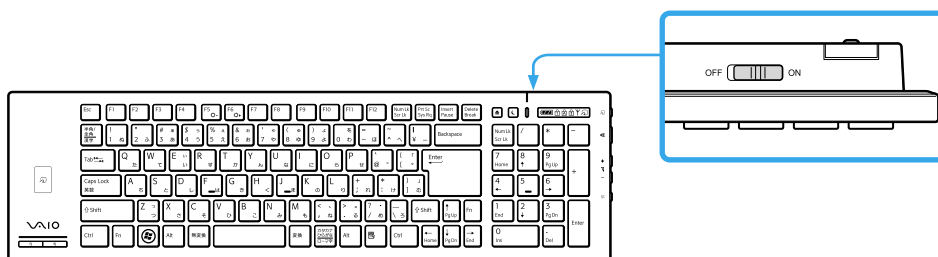
ヒント
電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプがオレンジ色で点灯します。

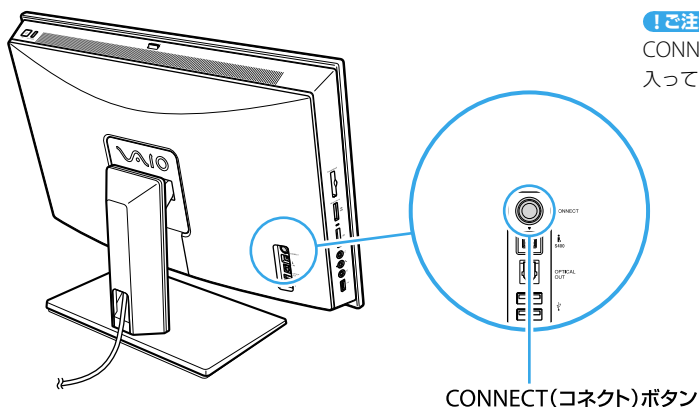
キーボードとマウスを使えるようにする

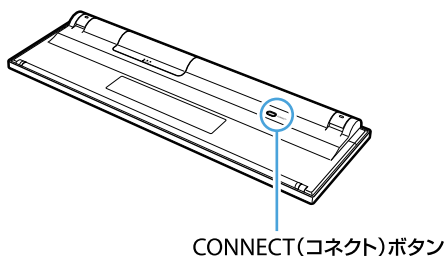
キーボードとマウスを使えるようにするには、セットアップの際にキーボードとマウスをコネクトする必要があります。

!ご注意
- キーボードやマウスのコネクトは本体の電源が入った状態で行ってください。
- 乾電池を交換したあとにキーボードやマウスがコネクトできなくなった場合は、再度コネクトを行ってください。

キーボードのコネクトをする

1 キーボード背面の電源スイッチをONにする。

2 本体後面のCONNECT(コネクト)ボタンを1回押す。

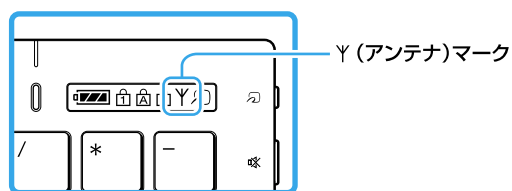
!ご注意
CONNECT(コネクト)ボタンは、本機の電源が入っている状態で押してください。

CONNECT(コネクト)ボタン

3 手順2から10秒以内に、キーボード裏面のCONNECT(コネクト)ボタンを1回押す。

ヒント
本機とキーボードの距離は30cm ～ 1mにしてください。

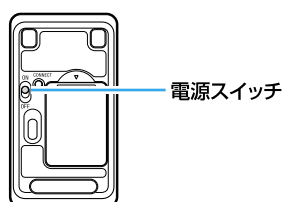
!ご注意
キーボード裏面のCONNECT(コネクト)ボタンを押すときは、その他のキーやボタンに触れないようにご注意ください。

CONNECT(コネクト)ボタン

4 キーボード右上のインジケーターにΨ(アンテナ)マークが点灯していることを確認する。

Ψ(アンテナ)マーク

点灯していない場合はコネクトが失敗しているので、もう一度手順1 ～ 3の操作を行ってください。

マウスのコネクトをする

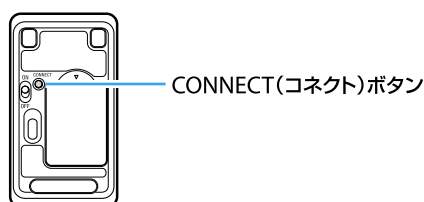
1 マウス裏面の電源スイッチをONにする。

電源スイッチ

2 本体後面のCONNECT(コネクト)ボタンを1回押す。

!ご注意
CONNECT(コネクト)ボタンは、本機の電源が入っている状態で押してください。

CONNECT(コネクト)ボタン

3 手順2から10秒以内に、マウス裏面のCONNECT(コネクト)ボタンを1回押す。

CONNECT(コネクト)ボタン

ヒント
本機とマウスの距離は30cm ～ 1mにしてください。

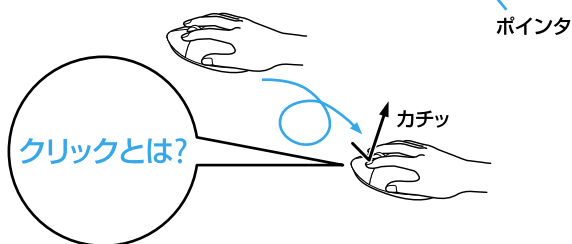
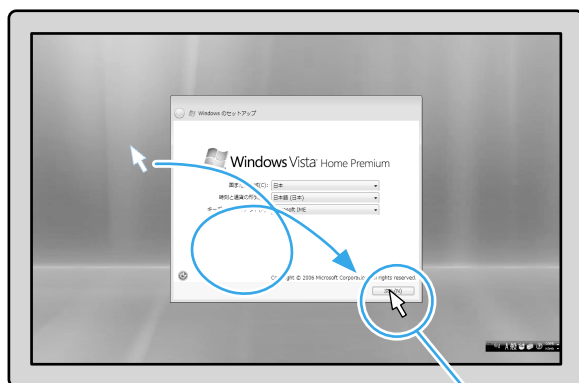
Windowsを準備する

電源を初めて入れたら、まずWindowsの準備をしましょう。Windowsの準備が完了すると、付属のソフトウェアやいろいろな機能が使えるようになります。

ヒント
Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。

ポインタ

クリックとは?

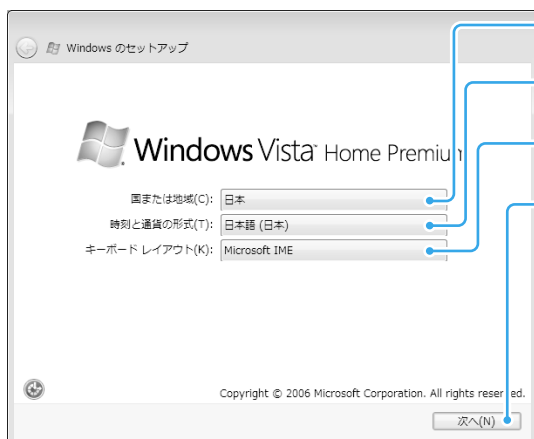
カチッ

ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

マウスを動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

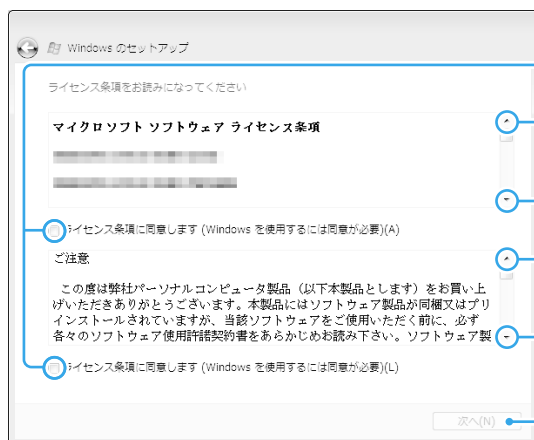
1 電源を入れ、キーボードとマウスのコネクトをする。

電源ボタンを押してからキーボードとマウスのコネクトを行い(40ページ)、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ~ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント
ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

① 2 か所の[ライセンス条項に同意します]の□をクリックして☑にする。

ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

！ご注意
どちらか一方でも□を☑にしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント
画面左上の◯ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。

Windows のセットアップ

ユーザー名と画像の選択

このユーザー名と画像はユーザー アカウントを表します。ここで作成するアカウントは、コンピュータの管理者アカウントです。

ユーザー名を入力してください (例: John)(U):

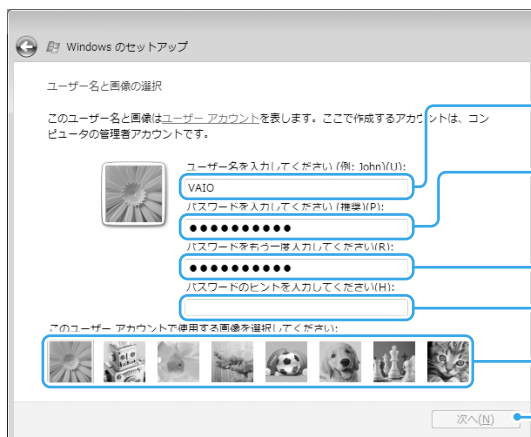
VAIO

パスワードを入力してください (推奨)(P):

パスワードをもう一度入力してください(R):

パスワードのヒントを入力してください(H):

このユーザー アカウントで使用する画像を選択してください:

次へ(N)

① お使いになる方の名前などをユーザー名として入力する。

② パスワードを入力する。
パスワードを入力すると、確認用にもう1度パスワードを入力する欄が表示されます。

③ 上で入力したものと同じパスワードを入力する。

④ パスワードのヒントを入力する。

⑤ このユーザーアカウントで使用する画像をクリックする。

⑥ [次へ]をクリックする。

メモ

!ご注意

- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- 入力したパスワードを忘れてしまった場合、リカバリが必要になります。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

ヒント

- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(85ページ)をご覧ください。
- ユーザー名には、半角英数字を使用してください。

5 コンピュータの名前を確認する。

Windows のセットアップ

コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。

コンピュータ名を入力してください (例: Office-PC)(_):

VAIO-PC

デスクトップの背景を選択してください (後で、コントロール パネルで変更可能です):

Windows の背景　VAIO 背景

次へ(N)

① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。クリックすると背景が変更されます。
③ [次へ]をクリックする。

ヒント
コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。

Windows のセットアップ

Windows を自動的に保護するよう設定してください

推奨設定を使用します(R)
重要な更新プログラムや推奨の更新プログラムをインストールしたり、インターネットの閲覧をより安全にしたり、オンラインで問題の解決策を確認したりします。

重要な更新プログラムのみインストールします(I)
Windows 用のセキュリティの更新プログラムおよびその他の重要な更新プログラムのみインストールします。

後で確認します(A)
選択されるまで、このコンピュータにセキュリティの問題が残る可能性があります。

それぞれのオプションについての詳細情報を表示します
推奨設定を使用するとき、または更新プログラムをインストールするときに、一部の情報が Microsoft に送信されます。送信された情報が、お客様を識別したり、お客様に連絡を取ったりするために使用されることはありません。プライバシーに関する声明をお読みください

[推奨設定を使用します]をクリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

Windows のセットアップ

時刻と日付の設定の確認

タイム ゾーン(Z)

(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

日付(D):

時刻(T):

次へ(N)

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。

② [次へ]をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。

Windows のセットアップ

お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください

コンピュータがネットワークに接続されていることが検出されました。自動的にこの場所に正しいネットワーク設定が適用されます。

家庭(H)
家庭や同様の場所にいる場合に選択します。自分のコンピュータは探索可能で、他のコンピュータやデバイスを参照できます。

職場(W)
職場や同様の場所にいる場合に選択します。自分のコンピュータは探索可能で、他のコンピュータやデバイスを参照できます。

公共の場所(P)
空港、コーヒー ショップ、その他の公共の場所にいる場合か、インターネットに直接に接続している場合に選択します。他のコンピュータやデバイスを探索することは制限されます。

不明な場合は、公共の場所を選択してください。

コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

9 設定を完了する。

［いいえ、後で設定します］を選択して、［開始］をクリックする。

ヒント

- Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。
- ［いいえ、後で設定します］の項目は、「VAIOをご使用になる前に」の内容をスクロールバーで下にスクロールすると現れます。

セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。

ヒント

「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。
引き続き、準備6 ～準備8を行ってください。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(56ページ)をご覧ください。

！ご注意

本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

基本設定を行う

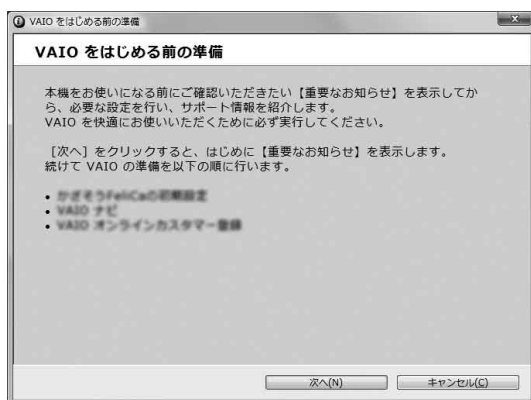
バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

ここから先の設定(セットアップ)は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット／メール」の章(79ページ)をご覧ください。

VAIOをはじめる前の準備を行う

「VAIO をはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[VAIO をはじめる前の準備]をダブルクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO をはじめる前の準備」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO をはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

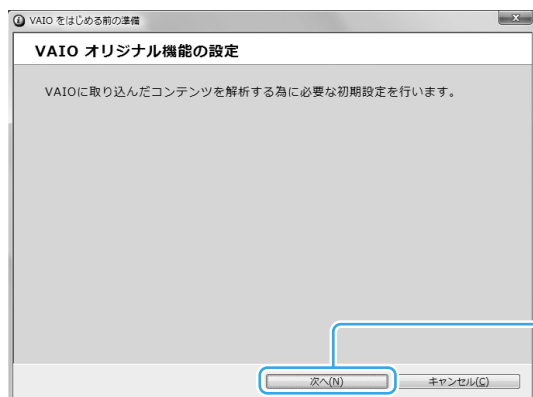
2 画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオ内のコンテンツ(取り込んだ音楽、写真やビデオなど)を解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「VAIO をはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 [次へ]をクリックする。

VAIO をはじめる前の準備
VAIO オリジナル機能の設定
VAIOに取り込んだコンテンツを解析する為に必要な初期設定を行います。
次へ(N)　キャンセル(C)

ここをクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

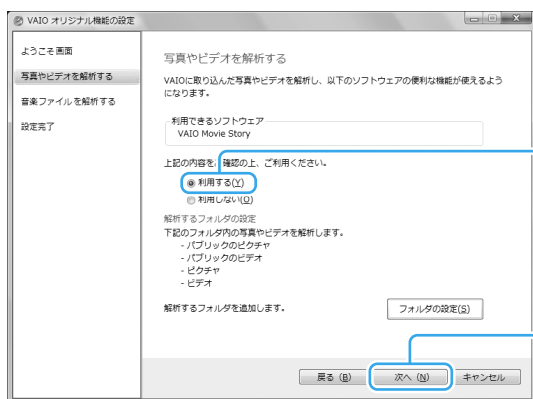
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定
ようこそ画面
写真やビデオを解析する
音楽ファイルを解析する
設定完了

写真やビデオを解析する
VAIOに取り込んだ写真やビデオを解析し、以下のソフトウェアの便利な機能が使えるようになります。
利用できるソフトウェア
VAIO Movie Story
上記の内容を: 確認の上、ご利用ください。
利用する(Y)
利用しない(O)
解析するフォルダの設定
下記のフォルダ内の写真やビデオを解析します。
- パブリックのピクチャ
- パブリックのビデオ
- ピクチャ
- ビデオ
解析するフォルダを追加します。　フォルダの設定(S)
戻る (B)　次へ (N)　キャンセル

① ここをクリックする。

② ここをクリックする。

ヒント
設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

4 [終了]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

地上デジタル放送の設定を行う（テレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送を楽しむには、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使用します。
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアをはじめてお使いになるときは、チャンネル設定など初期設定をする必要があります。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Giga Pocket Digital テレビを見る］をクリックする。

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの初期設定画面が表示されます。

ヒント
デジタル放送の双方向サービスは、インターネットを経由して利用できます。
双方向サービスを利用しない場合は、ネットワーク（LAN）ケーブルの接続は不要です。

2 アンテナ接続やB-CASカードの挿入を確認し、［次へ］をクリックする。

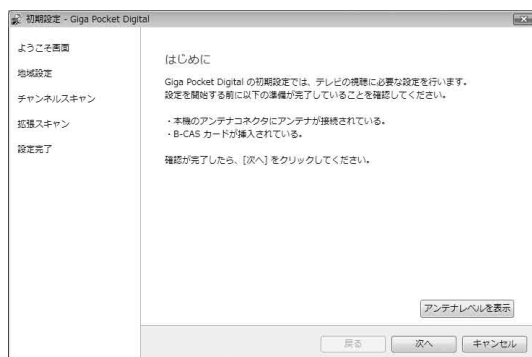
初期設定 - Giga Pocket Digital

ようこそ画面
地域設定
チャンネルスキャン
拡張スキャン
設定完了

はじめに
Giga Pocket Digital の初期設定では、テレビの視聴に必要な設定を行います。
設定を開始する前に以下の準備が完了していることを確認してください。

・本機のアンテナコネクタにアンテナが接続されている。
・B-CAS カードが挿入されている。

確認が完了したら、[次へ] をクリックしてください。

アンテナレベルを表示
戻る 次へ キャンセル

ヒント
［アンテナレベルを表示］をクリックすると、テレビ信号の受信強度についての画面が表示されます。

3 画面の指示に従って、以下の設定を行う。

- 「地域設定」画面
  お住まいの地域を選択し、郵便番号を7桁で入力してから、［次へ］をクリックします。
- 「チャンネルスキャン」画面
  ［開始］をクリックします。

ヒント
郵便番号は、データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

4 チャンネルスキャンの結果を確認し、[次へ]をクリックする。

表示されたチャンネルが少ない場合は、[戻る]をクリックして前の画面に戻り、アンテナの接続を確認したうえで再度[開始]をクリックしてください。
それでも少ない場合は、拡張スキャンを行ってください。

ヒント

- CATVのチャンネルをスキャンする場合は、[拡張スキャンを行う]にチェックを付けてから[次へ]をクリックします。
CATVのスキャンが開始され、結果が表示されたら[次へ]をクリックしてください。
- 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアでは、CATV事業者側で受信した地上デジタル放送の変調方式を変更せずに再送信するパススルー方式に対応しています。パススルー方式には、周波数を変換するものとそのままのものがありますが、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアはどちらの方式にも対応しています。

5 設定完了画面が表示されたら、[終了]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。
表示されない場合は、すでにVAIO オリジナル機能の設定が完了しています。

ヒント

- VAIO オリジナル機能の設定を行うと、ダイジェスト再生をしたり、CMや店舗／商品情報を表示したりして、デジタル放送を楽しむことができます。
- VAIO オリジナル機能の設定を変更するときは、ビデオ一覧画面または番組表画面を表示し、ツールバーの 右にある▼をクリックして表示されたメニューから[VAIO コンテンツ解析マネージャの設定]を選択して設定を変更してください。設定について詳しくは、VAIO コンテンツ解析マネージャのヘルプをご覧ください。

コンテンツ解析について

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、録画した番組コンテンツに対して、VAIO コンテンツ解析マネージャを使って録画したコンテンツの解析を行います。(コンテンツ解析)
解析されたコンテンツは、ダイジェスト再生やカタログビュー再生を可能にしたり、付加された情報を使ってコンテンツを管理しやすくしたり、CMや店舗／商品情報の表示をしたりすることができます。
VAIO コンテンツ解析マネージャについては、「VAIO コンテンツ解析マネージャ」のヘルプをご覧ください。

!ご注意

コンテンツ解析を行うには、インターネットに接続しておく必要があります。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「VAIO」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、より充実したご登録者限定のサービス・サポートをご利用いただけます。

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供
② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供
 * 各サービス・サポートについて詳しくは、138ページ以降をご覧ください。

- **使い方相談サポート（電話・メール）のご利用1年間無料**
  VAIOご購入日から1年間、使いかたや技術的なお問い合わせのサポート（電話・メール）を無料でご利用いただけます。
- **使い方相談窓口のフリーダイヤル**
  VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。24時間ご利用可能。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら操作方法などをご案内します。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **テクニカルWebサポート**
  使いかたや技術的な質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でVAIOに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

③ 特典情報やキャンペーンなど、VAIOに関するさまざまな情報を提供

！ご注意

VAIOカスタマー登録の特典などは、2009年1月時点での情報（予定を含む）です。内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

ヒント

- VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（142ページ）までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
  My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録での個人情報取り扱いについて

ソニーでは、カスタマー登録時にご提供いただくお客様の個人情報について、適切な取り扱いに取り組んでおります。
個人情報の取り扱いについて詳しくは、下記をご参照ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/agreement.html

VAIOカスタマー登録の方法

！ご注意

- ご登録いただくVAIOをインターネットに接続してから、VAIOカスタマー登録を行ってください。
- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録を行っていただいてから、登録完了までに1 ～ 2時間程度お時間がかかります。ご了承ください。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

！ご注意

機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。
この場合は「My VAIO」（http://sony.jp/vaio/myvaio/）の「My VAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

！ご注意

- 表示されたIDは、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。
- VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」をご利用になるには、ご登録された電話番号を入力していただく場合があります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

重要情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

VAIOを常に最新の状態にしておくためのサービスです。お客様のVAIOの機能改善などに必要なアップデートプログラムをインターネット経由で自動的に判別し、不足しているプログラムをダウンロードしてインストールします。
ソニーが提供する「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」などの最新情報をバルーンで通知するサービス機能も備えています。

ヒント
- VAIO Updateは、無料でご利用いただけます。(インターネットの通信費はお客様負担となります。)
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。
- VAIO Updateでは、お客様がお使いのVAIOのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しませんので安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のVAIOのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」を設定する

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO Update 4]ー[VAIO Updateの設定]をクリックする。

「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックしても表示されます。

2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読み、「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

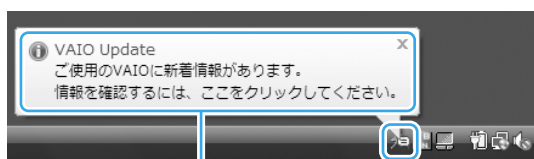
ヒント
「重要な新着情報のみ通知する」のチェックボックスにチェックをすると、セキュリティ対策など、より重要度の高いお知らせやアップデートプログラムの新着情報のみバルーンでお知らせします。

「VAIO Update」を利用する

1

情報が更新されると、タスクバーの通知領域にお知らせのアイコンが表示されるので、アイコンをクリックする。（バルーンが表示されている場合は、バルーンをクリックする。）

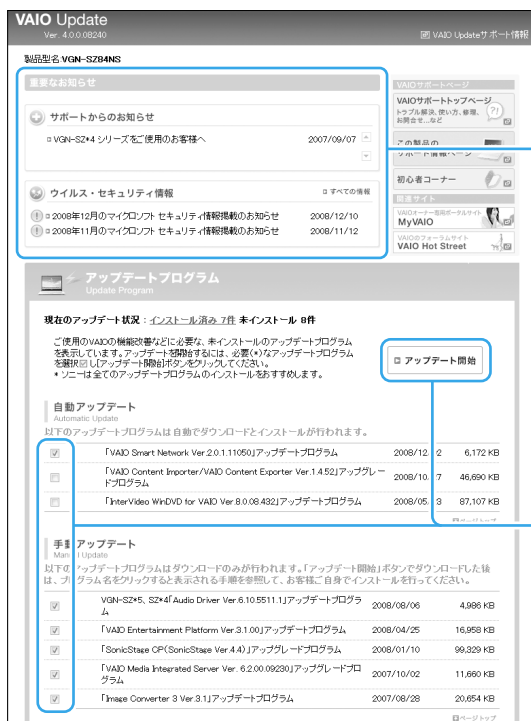
VAIO Update
ご使用のVAIOに新着情報があります。
情報を確認するには、ここをクリックしてください。

バルーン　　アイコン

「VAIO Update画面」が表示されます。

ヒント

- 実際の画面とは異なる場合があります。
- 下記の方法でも、VAIO Updateを利用できます。
  （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO Update 4］－［VAIO Update ページを開く］をクリックする。

2

「重要なお知らせ」の確認とアップデートを行う。

重要なお知らせを確認する
セキュリティ関連情報など、ソニーがお客様に提供する「重要なお知らせ」を確認できます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

アップデートを行う（VAIOを最新の状態にする）
［アップデート開始］ボタンをクリックする
チェックボックスにチェックがついているプログラムのアップデートが開始されます。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。

自動アップデート：ダウンロードとインストールを自動で行います。
手動アップデート：ダウンロードまで自動で行います。ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし表示される内容に従ってインストールしてください。

ヒント

- アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- あとでアップデートしたいプログラムはチェックボックスのチェックをはずしてください。
- セキュリティ対策など重要度の高いアップデートプログラムの場合、プログラム名の横に のアイコンが表示されます。これらのプログラムについては、アップデートすることを強くおすすめします。
- 実際の画面とは異なる場合があります。

セットアップが終わったら

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクを作成してください。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用したり、お買い上げ時以外のOSをインストールしたりすると、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。そのような場合に備え、リカバリディスクを作成してください。リカバリディスクの作成について詳しくは、「リカバリディスクを作成する」(91ページ)をご覧ください。

❑ Windows Updateを実行してください。

- より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
  ((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。)

❑ 電子メールをやりとりしたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(57ページ)
  ([インターネット]－[ホームページ/電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。)

❑ Microsoft Office(Word、Excel)を使いたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(57ページ)
  ([ソフトウェアの使いかた]－[Microsoft Office(Word / Excel)]をクリックする。)

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 (スタート)ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 ボタン－[シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

!ご注意
本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、ボタンをクリックするとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま(ハイブリッドスリープ、お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理/起動]－[スリープモードにする]をクリックする。)

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

VAIO 電子マニュアルの基本操作

1 大項目を選ぶ
「パソコン本体の使いかた」や「Q&A 集」など、調べたい項目を選びます。

2 目的の情報を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3 表示された説明を読む
画面の右側に情報が表示されます。

ヒント
VAIO 電子マニュアルに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。

「VAIO ナビ」が表示されます。

VAIO ナビの基本操作

1 大項目を選ぶ

「写真」や「音楽」など、やりたいことのジャンルを選びます。

2 目的の内容を選ぶ

表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。

3 ソフトウェアを利用する

ソフトウェアを起動することや、解説を読むことができます。

ヒント

VAIO ナビに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

テレビ
（テレビチューナー搭載モデル）

テレビを見る

本機を操作して、現在放送中のテレビを見ます。
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、リモコンでもマウス／タッチパッドでも操作できます。
ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント
デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを起動する。

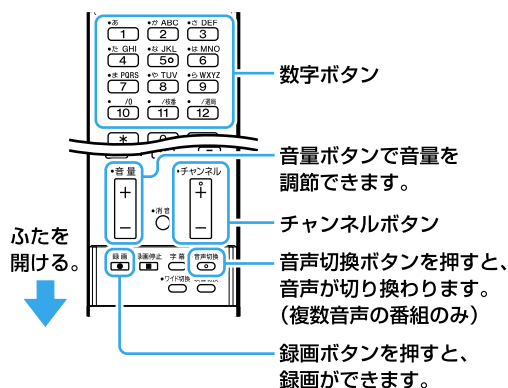
リモコンのテレビボタンを押します。

テレビボタン

ヒント
- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。（50ページ）
- （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Giga Pocket Digital テレビを見る］をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 チャンネルを切り換える。

リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネルボタンを押してチャンネルを切り換えます。

数字ボタン
音量ボタンで音量を調節できます。
チャンネルボタン
ふたを開ける。
音声切換ボタンを押すと、音声が切り換わります。（複数音声の番組のみ）
録画ボタンを押すと、録画ができます。

ヒント
連動データボタンを押すと、データ放送（番組に関連した情報や地域密着の情報）が表示されます。

！ご注意
緊急警報放送による自動起動には対応しておりません。

録画予約する

番組表を使ってデジタル放送の番組の録画予約を行うことができます。
ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント
- デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 録画時のハードディスク使用量の目安は、地上デジタル放送(約17Mbps)の場合、「約7.5GB/1時間」(DRモード)です。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの番組表を起動する。

リモコンの番組表ボタンを押します。

番組表ボタン

ヒント
- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(50ページ)
- (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital 番組表を見る]をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 録画予約する番組を選択する。

リモコンの上下左右ボタンで番組を選択し、決定ボタンを押します。

上下左右ボタン
決定ボタン

番組の詳細情報画面が表示されます。

ヒント
他の日付の番組表を表示するには、リモコンのカラーボタンを押します。
赤ボタンで次の日の番組表に、青ボタンで前の日の番組表に切り換えます。

3 内容を確認し、予約を選ぶ。

番組詳細情報画面で内容を確認してからリモコンの上下左右ボタンで[予約]を選択し、決定ボタンを押します。

4 予約を確定する。

リモコンの上下左右ボタンで[OK]を選択し、決定ボタンを押します。

録画予約が登録されます。
もう一度決定ボタンを押すと、番組表画面に戻ります。

録画予約についてのご注意

録画開始時刻に本機が次の状態になっている場合、録画は行われません。

- 電源を切っている状態(シャットダウン)
- ログオフの状態(ログオン中にスリープや休止状態に移行した場合、録画は行われます。)

録画した番組を見る

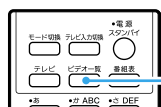
録画したデジタル放送の番組はビデオとして「ビデオ一覧」画面に登録されます。この一覧からビデオを選んで再生します。

ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント

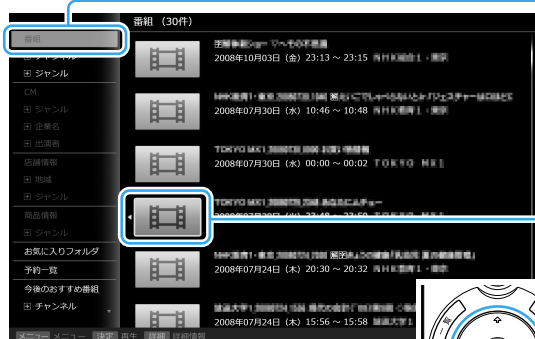
デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのビデオ一覧を起動する。

リモコンのビデオ一覧ボタンを押します。

ビデオ一覧ボタン

ヒント

- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(50ページ)
- (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital ビデオ一覧を見る]をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 再生する番組を選択する。

① リモコンの上下ボタンで[番組]を選択し、決定ボタンを押す。

② リモコンの上下ボタンで再生する番組を選択し、決定ボタンを押す。

上下左右ボタン

決定ボタン

番組の再生が始まります。

ヒント

[チャンネル]や[ジャンル]を選択して決定ボタンを押すと、画面右側のブラウズエリアの表示が、チャンネルごと、またはジャンルごとに切り換わります。

録画した番組を書き出す

録画した番組をメディアに書き出します。

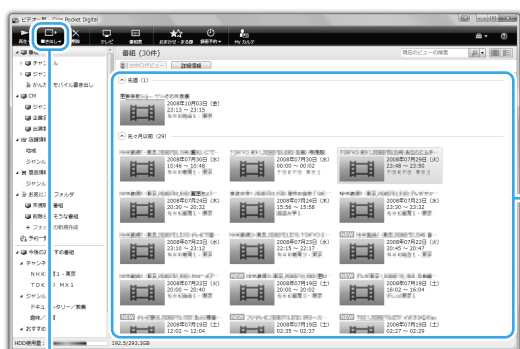
ヒント
- 書き出しはリモコンで操作できません。
- デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないBD、CPRM対応のDVDまたは“メモリースティック”)をドライブやスロットに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「地上デジタル放送について」(180ページ)をご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのビデオ一覧を起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital ビデオ一覧を見る]をクリックします。

ヒント
初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(50ページ)

2 書き出すビデオを選択する。

① 一覧から書き出したいビデオを選択する。

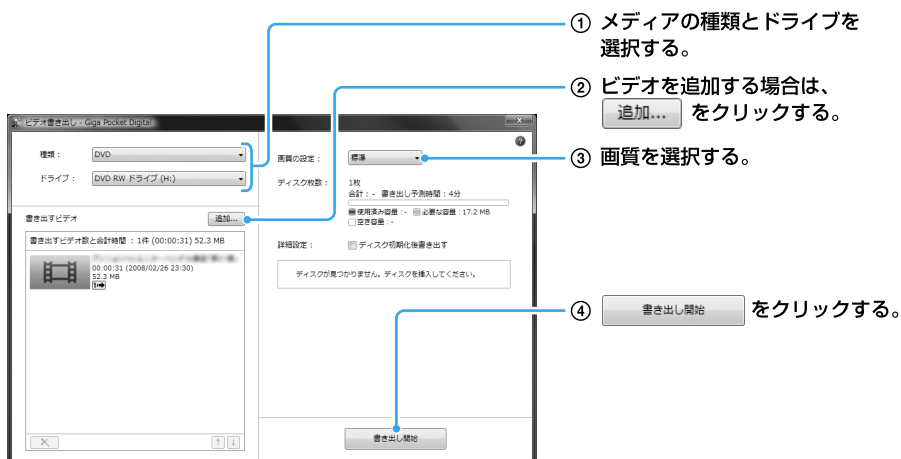
② (書き出し)をクリックする。

3 メディアに書き出す。

① メディアの種類とドライブを選択する。

② ビデオを追加する場合は、追加... をクリックする。

③ 画質を選択する。

④ 書き出し開始 をクリックする。

!ご注意

書き出し可能回数に制限があるビデオをメディアに書き出すと、書き出し可能回数が減少します。

1➡ の付いているビデオを書き出すと、移動(ムーブ)になり、ハードディスクから消去されます。

ダビング10について

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、新しいコピー制御方式「ダビング10」に対応しています。
ハードディスクに録画した「ダビング10」の番組は、Blu-ray DiscやCPRM対応のDVD、"メモリースティック"へ9回の書き出しと1回の移動(ムーブ)が可能です。
移動した場合は、本機のハードディスクから自動的に消去されます。
なお、デジタル放送のすべての番組が「ダビング10」に対応するわけではありません。

テレビをもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

音楽

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDの曲をVAIOに取り込みます。

1 「Windows Media Player」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Windows Media Player]をクリックします。

ヒント
はじめて起動するときは、ようこそ画面が表示されます。画面の指示に従って初期設定を行ってください。

2 音楽CDをドライブに入れる。

ヒント
「自動再生」画面が表示される場合は、をクリックして画面を閉じてください。

3 取り込みを開始する。

① [取り込み]をクリックする。

② 取り込みたい曲にチェックを付ける。

③ 取り込みの開始(S) をクリックする。

音楽CDの曲が取り込まれます。

！ご注意
「VAIO MusicBox」ソフトウェアでは、著作権保護機能(DRM)付きの曲は再生できない場合があります。
「Windows Media Player」ソフトウェアで取り込んだ曲を「VAIO MusicBox」ソフトウェアで再生するには、はじめて曲を取り込むときに表示される「取り込みオプション」画面で[取り込んだ音楽にコピー防止を追加しない]を選択します。
内容を確認したらチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックしてください。

ヒント
インターネットに接続している場合は、アルバム情報を検索・取得することができます。

音楽CDを作る

取り込んだ曲やアルバムを選んで、オリジナルの音楽CDを作成できます。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないCD-R、CD-RW)をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」(178ページ)をご覧ください。

1 「Windows Media Player」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]をクリックします。

2 音楽CDを作成する。

① [書き込み]をクリックする。

② 書き込みたい曲やアルバムを
ドラッグアンドドロップする。

③ 書き込みの開始(S) をクリックする。

書き込みが始まります。

音楽を楽しむ

取り込んだ曲の中から、その日の気分や雰囲気、時間帯にあった曲を自動選曲して再生します。

1 「VAIO MusicBox」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO MusicBox]をクリックします。

ヒント
初回起動時に「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(49ページ)

2 再生する。

① または をクリックして、好みにあわせたチャンネルを選択する。

② をクリックする。

雰囲気や気分にあわせた曲が再生されます。

他の再生方法で楽しむには

MIX機能
再生中の曲に関連した曲を再生できます。
3つのボタンで、アーティスト/年代/アルバムごとのシャッフル再生に切り替えることができます。

サビ再生
クリックすると、曲の盛り上がり部分のみを再生します。
もう1度クリックすると、通常再生に戻ります。

!ご注意
曲によっては、サビ情報を取得できない場合があります。

音楽をもっと楽しむには?

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには
(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO ナビ]をクリック!

写真・ビデオ

やってみよう！

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込もう

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込んで管理しましょう。取り込んだ写真やビデオは、カレンダー形式で楽しむことができます。

STEP 1
PMB（Picture Motion Browser）で
画像を取り込む
⇨ 69ページ

STEP 2
PMB（Picture Motion Browser）で
写真やビデオを見る
⇨ 70ページ

ショートムービーを作成してBD・DVDを作ろう

撮影した写真やビデオからショートムービーを作成してみましょう。作成したショートムービーは、BDやDVDに書き出すことができます。

＊ BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルのみです。

STEP 1
PMB（Picture Motion Browser）で
画像を取り込む
⇨ 69ページ

STEP 2
VAIO Movie Story で
ショートムービーを作成する
⇨ 71ページ

STEP 3
VAIO Content Exporter で
ショートムービーを書き出す
⇨ 72ページ

撮影した写真やビデオから、こだわりのBD・DVDを作ろう

撮影した写真やビデオからこだわりのBDやDVDを作成してみましょう。

＊ BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルのみです。

STEP 1
PMB（Picture Motion Browser）で
画像を取り込む
⇨ 69ページ

STEP 2
Click to Disc Editor で
オリジナルBD・DVDを作成する
⇨ 73ページ

写真やビデオを取り込む

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込みます。

1 デジタルスチルカメラやハンディカムの電源を入れ、本機の(USB)コネクタやi.LINKコネクタに接続する。

取り込み画面が表示された場合は、手順5に進んでください。

ヒント
接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

2 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

3 [ファイル]メニュー－[画像の取り込み]をクリックする。

4 取り込む対象を選択する。

画像の取り込み
取り込む対象を選択してください。
ハンディカム/コンピュータ(ディスク)
ディスクに記録された写真やビデオ、ハンディカムでディスクに撮影した写真やビデオを取り込む場合は、こちらを選択してください。
OK キャンセル

① 取り込む対象を選択する。

② OK をクリックする。

5 画像を取り込む。

取り込み画面が表示されます。
画面の指示に従って取り込んでください。

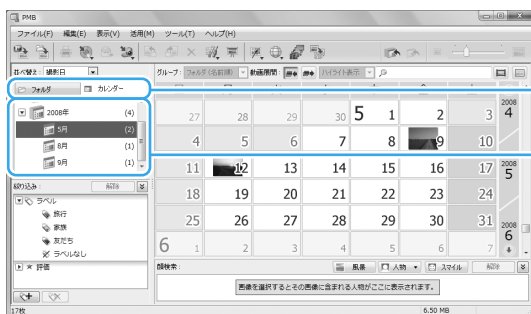
ヒント
接続するハンディカムの種類によって、取り込み方法が異なります。
詳しくは、「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

写真やビデオを見る

取り込んだ写真やビデオを表示して楽しみます。

1 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

2 見たい画像を選択する。

① タブをクリックして、表示方法を切り替える。

② フォルダや年月アイコンをクリックして、見たい画像を表示する。

サムネイルが表示されます。

ヒント
画像を大きく表示して見るには、サムネイルをダブルクリックします。

写真の向きを変えたいときは

写真を選択して、 や (回転アイコン)をクリックしてください。

ショートムービーを作成する

取り込んだ写真やビデオから、ショートムービーを作成できます。

1 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

2 ショートムービーに使用する画像を選択し、「VAIO Movie Story」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、(外部プログラムから開く)－[VAIO Movie Story]をクリックします。

3 ショートムービーを作成する。

① テンプレートを選択する。

② 作成開始 をクリックする。

4 書き出す。

[書き出し]をクリックして、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動します。
書き出しについては、次のページの手順3をご覧ください。

写真やビデオを書き出す

取り込んだ写真やビデオ、「VAIO Movie Story」ソフトウェアで作成したショートムービーをディスクに書き出すことができます。

ヒント
「ショートムービーを作成する」の手順4で、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動している場合は、手順3に進んでください。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないBDまたはDVD)をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」(178ページ)をご覧ください。

1 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

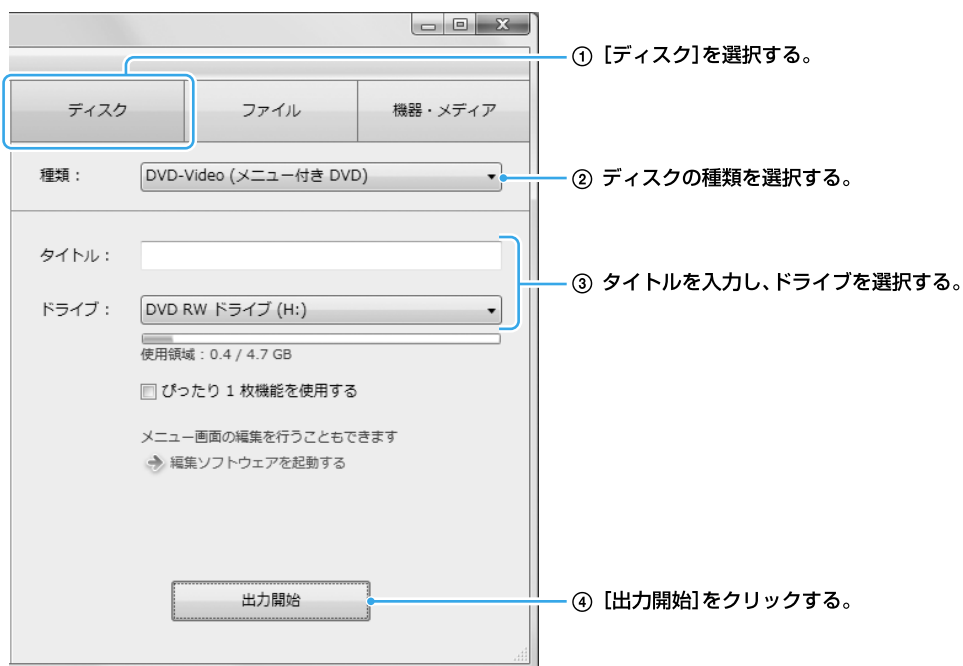
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

2 ディスクに書き出す画像を選択し、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、 (外部プログラムから開く)－[VAIO Content Exporter]をクリックします。

3 ディスクに書き出す。

ディスク
ファイル
機器・メディア
種類：
DVD-Video (メニュー付き DVD)
タイトル：
ドライブ：
DVD RW ドライブ (H:)
使用領域：0.4 / 4.7 GB
ぴったり 1 枚機能を使用する
メニュー画面の編集を行うこともできます
編集ソフトウェアを起動する
出力開始

① [ディスク]を選択する。
② ディスクの種類を選択する。
③ タイトルを入力し、ドライブを選択する。
④ [出力開始]をクリックする。

ディスクへの書き込みが始まります。

ヒント
ディスクの種類で選択したディスクによっては、タイトルが入力できない場合があります。この場合は、ドライブを選択して[出力開始]をクリックしてください。

オリジナルBD・DVDを作成する

取り込んだ写真やビデオを編集して、ディスクに書き出すことができます。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないBDまたはDVD)をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」(178ページ)をご覧ください。

!ご注意
BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルのみです。

1 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

2 ディスクに書き出す画像を選択し、「Click to Disc Editor」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、 (外部プログラムから開く)－[Click to Disc Editor]をクリックします。
ディスクの種類を選択する画面が表示されるので、ディスクの種類を選択してください。

3 編集する。

① ディスクタイトルを入力する。
② メニューデザインを選択... をクリックして表示された画面で、メニューデザインを選択する。

4 ディスクに書き出す。

[ディスク作成開始]をクリックすると、ディスクへの書き出しが始まります。

写真・ビデオをもっと楽しむには?
VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
見るには
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック!

BD・DVD再生

BD・DVDを見る

「WinDVD」ソフトウェアでBDやDVDを再生します。

!ご注意

- 本機でBDやDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- ブルーレイディスクドライブ搭載モデル以外をお使いの場合は、BDを再生できません。
- ブルーレイディスクのタイトルによっては、再生できなかったり、パソコン本体が正常に動作しなくなったりする場合があります。より安定した状態でお使いいただくために、VAIO Update(54ページ)を実行してからブルーレイディスクの再生をお楽しみください。
- CPRM(著作権保護機能)対応のDVDを再生するには、CPRM Packをインストールする必要があります。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]－[WinDVD]－[DVDなどのディスクを見る]をクリックする。)

1 「WinDVD」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[InterVideo WinDVD]－[InterVideo WinDVD for VAIO]または[InterVideo WinDVD BD for VAIO]をクリックする。

2 再生したいBDまたはDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

BD・DVD再生をもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

HDMI入力機能でできること

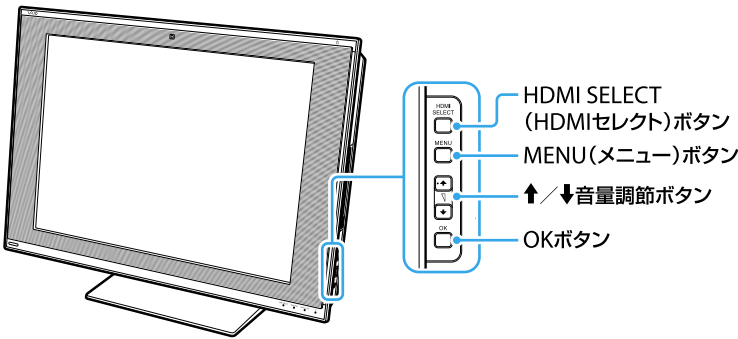
HDMI入力機能とは

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは、デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像や音声が楽しめます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCPにも対応しています。
HDMI入力機能とは、HDMI出力を持つHDDレコーダーなどの機器を本機のHDMI INPUTコネクタにつなぎ、本機で映像や音声を楽しむ機能です。
この機能を使うと、パソコン本体（PC）を起動させることなくHDMI機器の映像や音声を楽しむことができます。本体右側面には音量を上下させるなどのHDMI入力機能専用の操作ボタンも装備しています。

ヒント
HDMI機器との接続について詳しくは、「HDMI機器を接続する（HDMI入力機能搭載モデル）」（32ページ）をご覧ください。

HDMI入力機能で使うボタン

HDMI入力機能で使うボタンは下図のとおりです。

HDMI SELECT（HDMIセレクト）ボタン
MENU（メニュー）ボタン
↑／↓音量調節ボタン
OKボタン

ボタン名	機能
HDMI SELECTボタン	パソコン本体（PC）表示とHDMI入力を切り換えます。 ヒント HDMI入力時はHDMI SELECTボタンとHDMI SELECTランプが点灯します。
MENU（メニュー）ボタン	メニュー画面が表示されます。
↑／↓音量調節ボタン	HDMI入力時に押すと、接続しているHDMI機器の音量を調節できます。メニュー画面表示中に押すと、項目を選べます。 ！ご注意 パソコン本体（PC）の音量は調節できません。
OKボタン	メニュー画面で項目を決定するときに使用します。

HDMI機器からの入力に切り換える

HDMI機器の画面を表示するには

1 本機のHDMI INPUTコネクタにHDMI機器を接続する（32ページ）。

（32ページ）

2 本機のHDMI INPUTコネクタに接続したHDMI機器の電源を入れる。

HDMI SELECTボタンとHDMI SELECTランプが緑色に点灯します。
点灯しない場合は、HDMI SELECTボタンを押して、HDMI機器の画面に切り換えてください。

ヒント
HDMI入力機能を利用するときは、本機の電源ボタンを押す必要はありません。

HDMI機器の音量を調節するには

1 HDMI SELECTボタンを押して、本機のディスプレイにHDMI機器の画面を表示させる。

パソコン本体（PC）の画面が表示されたときは、もう一度HDMI SELECTボタンを押すとHDMI機器の画面が表示されます。

2 本機右側面の⬆／⬇音量調節ボタンで音量を調節する。

！ご注意
- パソコン本体（PC）の音量は調節できません。
- リモコンやキーボードの音量調節ボタンではHDMI機器の音量を調節できません。

ヒント
パソコン本体（PC）表示時の音量調節について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［音声］－［音量を調節する］をクリックする。）

HDMI入力機能のディスプレイ設定を変更する

MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー画面ではディスプレイ設定を変更できます。

ディスプレイメニューの言語を日本語に変更するには

ディスプレイ設定のメニュー画面は、初期設定では英語で表示されます。次の手順でディスプレイ設定のメニュー画面の言語を日本語に変更します。

1 **MENU（メニュー）ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

2 **↑／↓音量調節ボタンで「OPTION」を選択して、OKボタンを押す。**

項目を選ぶ画面が表示されます。

3 **↑／↓音量調節ボタンで「LANGUAGE」を選択して、OKボタンを押す。**

言語を選ぶ画面が表示されます。

4 **↑／↓音量調節ボタンで「日本語」を選択して、OKボタンを押す。**

その他のメニュー項目を変更するには

自動入力切り換えの設定、ロゴランプの設定、設定のリセットなどを行うときは、次の手順で操作してください。
HDMI入力時にのみ設定が変更できる項目は、HDMI入力時にのみ設定が反映されます。パソコン本体(PC)表示時には反映されません。

1 MENU(メニュー)ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。
HDMI入力時にのみ設定が変更できる項目の場合は、MENU(メニュー)ボタンを押す前に、HDMI SELECTボタンでHDMI入力の画面に切り換えてください。

2 ↑/↓音量調節ボタンで項目を選択して、OKボタンを押す。

項目を選ぶ画面、または設定を選ぶ画面が表示されます。
項目を選ぶ画面が表示されたときは、↑/↓音量調節ボタンで項目を選択して、OKボタンを押してください。

メニュー画面に表示される主な項目と設定は、以下のとおりです。

項目	設定
オプション － 自動入力切替え	自動ON(入):HDMI入力画面とパソコン本体(PC)表示画面を自動的に切り換える。 自動OFF(切):HDMI入力画面とパソコン本体(PC)表示画面を手動で切り換える。 ヒント [自動OFF(切) 省エネ]の設定を選ぶと、[自動OFF(切) ノーマル]の設定を選んだときに比べ、消費電力をさらに減らすことができます。ただし、画面表示に多少時間がかかります。
オプション － ロゴ表示	ON(入):HDMI入力時に本機前面のロゴランプを点灯させる。 OFF(切):HDMI入力時に本機前面のロゴランプを点灯させない。 ヒント パソコン本体(PC)表示時のロゴランプの設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[画面/ディスプレイ]－[ロゴランプを設定する]をクリックする。)
オプション － オールリセット	すべての項目を初期設定に戻す。

3 ↑/↓音量調節ボタンで設定を選択して、OKボタンを押す。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピュータ同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。

電子メールについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。）

インターネットに接続するまでの流れ

手順1
接続する回線の種類を決める

「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（80ページ）。

手順2
プロバイダと契約する

手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

手順3
回線装置などを接続・設定する

プロバイダから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意

接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

手順4（ワイヤレスLANを使用しない場合）
本機を接続する

「インターネット接続用機器につなぐ」をご覧になり、本機を接続します（28ページ）。

手順4（ワイヤレスLANを使用する場合）
本機を設定する

「ワイヤレスLANで通信する」をご覧になり、ワイヤレスLANに必要な設定をします（81ページ）。

!ご注意

- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

FTTH(光)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH(光)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH(光)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダ接続情報 (アカウント名、パスワード、DNSサーバなど)	プロバイダ
メール設定情報 (メールアドレス、メールアカウントなど)	プロバイダ
パソコン側の設定	VAIOカスタマーリンク

ワイヤレスLANで通信する

「インターネットに接続するまでの流れ」の手順3まで終了し（79ページ）、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の［パソコン本体の使いかた］－［LAN ／ワイヤレスLAN］と、Windowsのヘルプをご覧ください。

1 WIRELESSスイッチを「ON」に合わせる（162ページ）。

ワイヤレス機能がオンになり、WIRELESSランプが緑色に点灯します。
デスクトップ画面右下の通知領域にある（VAIO Smart Networkアイコン）をクリックして「VAIO Smart Network」ソフトウェアを表示し、「WLAN」の状態表示が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、クリックして点灯させます。

2 （スタート）ボタン－［接続先］をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 画面のリストから接続先のワイヤレスLANアクセスポイントを選び、［接続］をクリックする。

接続されると、選択したワイヤレスLANアクセスポイントの欄に「接続済み」と表示されます。
リストに接続先のワイヤレスLANアクセスポイントが見つからない場合は、（更新）をクリックしてください。
セキュリティ キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じて「セキュリティ キー」を入力し、［接続］をクリックしてください。
入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

4 ［このネットワークを保存します］、［この接続を自動的に開始します］にチェックを入れて、［閉じる］をクリックする。

上記項目にチェックをつけない場合、再起動やスリープから復帰した際に、再度手動で接続を行う必要があります。

5 （スタート）ボタン－［インターネット］をクリックする。

VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「VAIO 電子マニュアル」の［パソコン本体の使いかた］－［LAN ／ワイヤレスLAN］と、Windowsのヘルプをご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 (スタート)ボタンー[接続先]をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

2 [接続またはネットワークをセットアップします]をクリックする。

3 [ワイヤレスネットワークを手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

4 お使いになるアクセスポイントに合わせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし(オープン システム)」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- アクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]をクリックしてチェックします。
- アクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]をクリックしてチェックします。

ワイヤレスLANの通信を終了するには

WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせます。ワイヤレスLAN機能がオフになり、WIRELESSランプが消灯します。

!ご注意

Bluetooth機能など他のワイヤレス機能が搭載されている場合は、WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせると、他のワイヤレス機能もすべて終了します。

インターネットのセキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピュータウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[インターネットのセキュリティについて]をクリックする。)

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」(42ページ)の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル(お知らせ)
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティ専用窓口
電話番号:0120-70-8103(フリーダイヤル)
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
(0466)30-3016(通話料お客様負担)
受付時間
平日:9時～ 18時
土曜、日曜、祝日:9時～ 17時
(年中無休)
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

パスワードを設定する

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
パスワードを設定すると、電源を入れたり、スリープモードまたは休止状態から復帰したりするときにパスワードの入力が必要になり、他の人に本機を使用されることを防ぐことができます。

!ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [アカウントのパスワードの作成]をクリックする。

5 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

6 [パスワードの作成]をクリックする。

ヒント
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて[はい、個人用にします]または[いいえ]をクリックしてください。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

パスワードには、以下の文字を使うことができます。

文字(アルファベットの大文字)
A, B, C, D, E ...

文字(アルファベットの小文字)
a, b, c, d, e ...

数字
0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

記号(文字または数字として定義されないもの)
` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] ¥ | : ; " ' < > , . ? /

Windowsパスワードを変更する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの変更]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント

パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの削除]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 [パスワードの削除]をクリックする。

増設する

メモリを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
また、2か所以上のスロットにメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

ヒント

チップセット内蔵のグラフィックス搭載モデルでブルーレイディスクを再生する場合には、最大のパフォーマンスが得られる同容量2枚のメモリモジュールの装着をおすすめします。
お使いの機種のグラフィックスについては、別紙「主な仕様と付属フトウェア」をご覧ください。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いて本体カバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

メモリモジュールを1枚だけ取り付けるお客様へ

本機後面のメモリカバーを取りはずすと、メモリモジュールを取り付けるスロットが上下2段に配置されています。
1枚だけメモリを取り付ける場合は、下側のスロットに取り付けてください。

メモリを取り付けるには

！ご注意

- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機の電源を切る。

本機と周辺機器の電源を切り、本機後面右下に接続しているケーブルを取りはずします。

2 カバーを取りはずす。

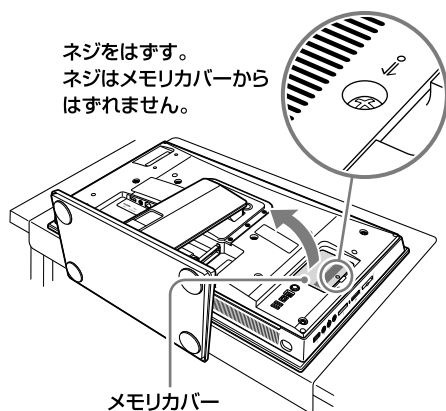
本機前面を下にして置き、本機後面の本体カバーとスタンドカバーを取りはずします。カバーの取りはずしかたについては「カバーを取りはずす」（26ページ）をご覧ください。

3 ACアダプタおよび接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

！ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

4 メモリカバーを取りはずす。

ネジをはずして、メモリカバーを取りはずします。ネジはメモリカバーからはずれません。

ネジをはずす。
ネジはメモリカバーからはずれません。

メモリカバー

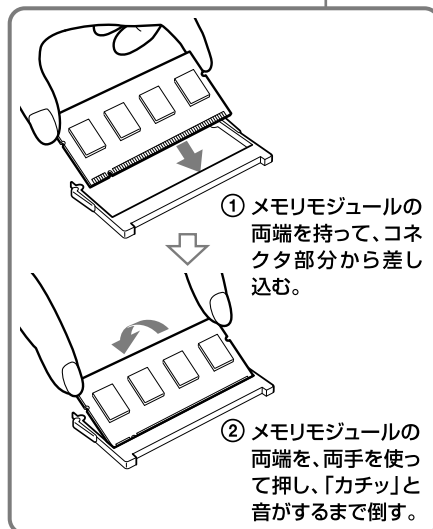
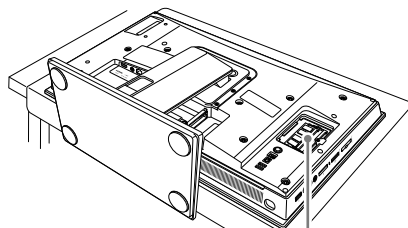
5 メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールにはエッジコネクタ部分に切り欠きがあります。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝に合わせて、奥までしっかりと差し込む。

！ご注意

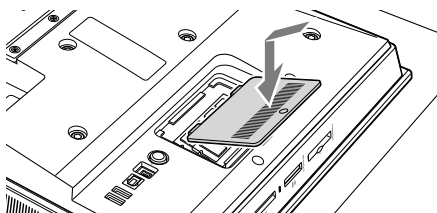
エッジコネクタ部分を傷つけないようにご注意ください。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

① メモリモジュールの両端を持って、コネクタ部分から差し込む。

② メモリモジュールの両端を、両手を使って押し、「カチッ」と音がするまで倒す。

！ご注意

- メモリモジュールを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。
- メモリモジュールを1枚だけ取り付ける場合は、必ず下側に取り付けてください。

6 メモリカバーを元に戻し、ネジで留める。

7 ACアダプタなどのケーブルを接続する。

スタンドのケーブル穴からケーブルを通して、ACアダプタなどのケーブルを接続します。

8 カバーを取り付ける。

スタンドカバーと本体カバーを取り付けます。
カバーの取り付けかたについては「カバーを取り付ける」(33ページ)をご覧ください。

9 本機の電源を入れる。

手順1で取りはずしたケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]をクリックする。

3 [システム情報]をクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

4 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

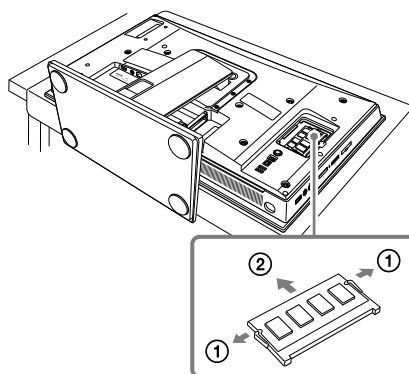
メモリを取りはずすには

次の手順でメモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

！ご注意
本機に傷がつかないように布などをしいてください。

1 「メモリを取り付けるには」の手順1 ～ 4を行う。

2 メモリモジュールを取りはずす。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。
② メモリモジュールを矢印の方向にゆっくり引き抜く。

3 「メモリを取り付けるには」の手順6 ～ 9を行う。

！ご注意

- メモリモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取りはずすと、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
  - メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。(93ページ)
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」(93ページ)をご覧ください。
- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」(94ページ)をご覧ください。

ヒント

CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。(108ページ)

!ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。
  本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
  リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」(91ページ)をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」（100ページ）をご覧ください。

！ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリできなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。（52ページ）

！ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスク作成についてのご注意

- リカバリディスクの作成中は、ディスクドライブのイジェクトボタンを押さないでください。
  ディスクの作成に失敗することがあります。
- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。

！ご注意

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（178ページ）をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。
- ディスクの記録面に触れたり、汚したりしないようにしてください。書き込みや読み取りエラーの原因になります。

ヒント

リカバリディスクを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
VAIO Updateについて詳しくは、「本機をセットアップする」内「重要情報を自動的に入手する」（54ページ）をご覧ください。
VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
また、本機をリカバリした際には再びVAIO Updateを実行してください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ヒント
画面下部のチェックボックスにチェックを付けると、リカバリディスクの作成完了後に、ディスクが正しく作成されたかどうかの確認を行います。チェックを付けることをおすすめします。(チェックを付けない場合に比べて処理に時間がかかります。)

5 [次へ]をクリックする。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- リカバリディスクの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

!ご注意
ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

(Windows Vista Home Premium搭載モデルをお使いの場合)

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント
- 管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。
- 「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。
- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(108ページ)
ただし、万一ハードディスクが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 ［設定を保存しバックアップを開始］をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント
スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま［設定を保存しバックアップを開始］をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある［設定の変更］をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある［無効にする］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で［ファイルのバックアップ］をクリックするだけでバックアップすることができます。

！ご注意
- 本機に搭載されている一部のソフトウェアで管理している曲や画像・情報などのデータは、「バックアップと復元センター」ではバックアップできない場合があります。ソフトウェアに専用のバックアップツールが用意されている場合は、ヘルプを参照してご使用ください。
- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 ［ファイルの復元］をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 ［最新バックアップにあるファイル］または［古いバックアップにあるファイル］を選択し、［次へ］をクリックする。

［古いバックアップにあるファイル］を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、［次へ］をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、［次へ］をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、［ファイルの追加］や［フォルダの追加］をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、［追加］をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、［復元の開始］をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、［完了］をクリックする。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 **「バックアップと復元センター」を起動する。**

2 **画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 **[システムの保護]タブをクリックする。**

4 **「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。**

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 **復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。**

6 **「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK]をクリックする。**

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

!ご注意
「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Windowsが起動する場合は

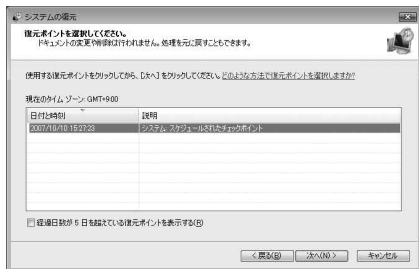
1 **「バックアップと復元センター」を起動する。**

2 **画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 **[次へ]をクリックする。**

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。
④ 手順3に進む。

2 矢印キーで「Windows 回復環境(Windows RE)」を選択し、Enterキーを押す。

3 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順5へ進んでください。

4 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント
ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。(105ページ)

5 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3 ～ 8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

!ご注意

- ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
- お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。
- 復元する前にプログラムの削除を行ってください。正常に復元できない場合があります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ（再セットアップ）

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。
- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。（99ページ）

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。（91ページ）

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。（93ページ）

手順3
以下のいずれかを実行してみる。
- システムの復元をする。（95ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。（97ページ）

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、「Windowsからリカバリするには」（101ページ）の手順に従ってリカバリする。

！ご注意
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1
システムの復元をする。（95ページ）
本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2
データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。（105ページ）
本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3
「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。
「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスク）の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4
「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」**（102ページ）****の手順に従って、リカバリする。**

！ご注意
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合、CDやDVDを使用するには別売りの外付けドライブが必要となります。接続のしかたや使いかたについて詳しくは、外付けドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

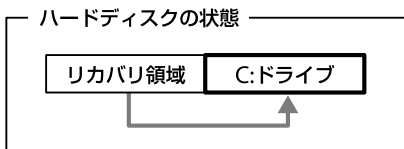
リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

リカバリの種類

リカバリ方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「C ドライブのリカバリ」をおすすめします。

❑ C ドライブのリカバリ

C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

ハードディスクの状態

リカバリ領域 | C:ドライブ

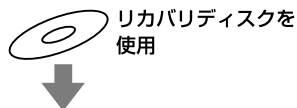
C:ドライブのみデータが削除され、リカバリ領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリ

ハードディスク上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。

リカバリディスクを使用

ハードディスクの状態

リカバリ領域 | C:ドライブ

ハードディスク上にあるすべてのデータが削除されます。

!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。(91ページ)

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてリカバリできなくなったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

著作権保護されている音楽データなどをバックアップする際のご注意

著作権保護されているデータ(「SonicStage」ソフトウェアなどで取り込んだ音楽データや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど)をバックアップするために、これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合があります。(例:「SonicStage バックアップツール」など)
本機をリカバリする場合、これらのデータはあらかじめ専用バックアップツールを使ってバックアップしてください。
専用バックアップツールをお使いにならずに、本機をリカバリし、データを復元しても、著作権保護されているデータは復元できない場合がありますのでご注意ください。

Windowsからリカバリするには

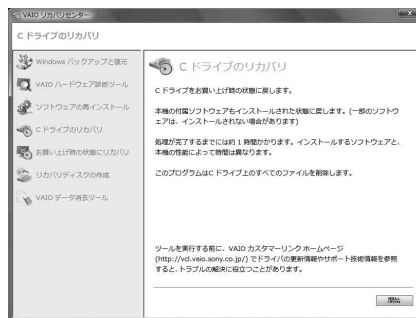
Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。
Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(102ページ)をご覧ください。

!ご注意
ドライブにディスクが入っている場合は、すべて取り出してから以下の手順で操作してください。

1 (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[VAIO リカバリセンター]-[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント
- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。(108ページ)
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクのデータをすべて消去し、本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻します。パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
警告画面が表示されます。

ヒント
- 管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、リカバリディスクの作成を警告する画面が表示されます。リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って、事前にリカバリディスクを作成してください。
  すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。
  その後、画面の指示に従ってパーティションの設定を行ってください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら［完了］をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」（42ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

ソフトウェアのインストール

リカバリを完了するために、同梱のディスクから以下のソフトウェアをインストールします。

［次へ］をクリックしてインストールを開始してください。
インストールを行わない場合は［キャンセル］をクリックしてください。

＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

！ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で［SETUP.EXEの実行］をクリックする。
　「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、［ユーザー設定］をクリックする。
　「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから［マイ コンピュータからすべて実行］をクリックする。
⑤ ［今すぐインストール］をクリックする。
　インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする。
⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の［OK］をクリックする。
　引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」（94ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが起動しない状態でリカバリするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリディスクを使ってリカバリする
  リカバリ領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリディスクを使ってリカバリすることができます。ただし、リカバリ領域からリカバリするよりも時間がかかります。
- リカバリ領域からリカバリする
  ハードディスクのリカバリ領域からリカバリするため、リカバリディスクを使うよりも速くリカバリすることができます。

リカバリディスクを使ってリカバリするには

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

2 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[C ドライブのリカバリ]または[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(105ページ)
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックする。)

Windowsのリカバリが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」(42ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

ソフトウェアのインストール

リカバリを完了するために、同梱のディスクから以下のソフトウェアをインストールします。

[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。
インストールを行わない場合は[キャンセル]をクリックしてください。

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

!ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。
⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。（106ページ）

リカバリ領域からリカバリするには

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。**

ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリディスクを使ったリカバリの手順3からの操作と同様です。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。（106ページ）

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー(バックアップ)するには

!ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
ブートオプション(Boot Options)を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から3の操作を行い、[中断した作業を再開する]チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- "メモリースティック"やSDメモリーカード、フラッシュメモリーなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意
「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。（105ページ）

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント
データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO（ユーザー名）]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックして表示された画面で、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[フォルダの選択]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとは、ハードディスク内の分割された領域のことです。1台のハードディスクの領域を複数に分割することで、ファイルやソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。
本機はリカバリを行わずに、Windows上からの操作で新しくパーティションを作成することができます。

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリ時に作成する

!ご注意

- リカバリ時にパーティションを作成する場合は、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- C:ドライブのパーティションサイズを変更して小さくすると、ドライブの空き容量が足りず、リカバリディスクの作成やリカバリなどの操作が正常に行われない場合があります。

❑ Windows上の操作で作成する

1 （スタート）ボタン－[コントロールパネル]－[システムとメンテナンス]－「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3 圧縮する領域のサイズを設定する。

C:ドライブのパーティションを圧縮することで得られる空き領域を、新しく作成するパーティションに割り当てます。

- 圧縮前の合計サイズ：
  現在のC:ドライブのサイズです。
- 圧縮可能な領域のサイズ：
  C:ドライブのサイズのうち、圧縮して新しいパーティションに割り当てることのできる最大サイズです。
- 圧縮する領域のサイズ：
  新しく作成するパーティションのサイズを入力してください。ただし、「圧縮可能な領域のサイズ」を超えることはできません。
- 圧縮後の合計サイズ：
  圧縮後のC:ドライブのサイズです。

ヒント
本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスク上のデータが分散しているため圧縮可能な領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。（（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［システム ツール］－［ディスク デフラグ ツール］をクリックする。）
ただし、圧縮可能な領域の最大サイズはシステムで決められているため、表示されているサイズよりC:ドライブをさらに小さく圧縮することはできません。

4 ［圧縮］をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

5 「未割り当て」を右クリックし、［新しいシンプル ボリューム］をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

6 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリ時にパーティションを作成する

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。
リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行うこともできます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の［お買い上げ時の状態にリカバリ］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

4 ［スキップ］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と聞かれた場合は、［パーティション設定を変更］を選んでください。

5 ドロップダウンリストから、［数値入力（C ドライブとD ドライブに分割する）］を選択する。

6 C:ドライブのサイズを設定して、［次へ］を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクのデータを完全に消去することができます。

！ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスク上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（91ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（93ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（105ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

3 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

4 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

5 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

6 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、［次へ］をクリックする。

7 データの消去方式を選択し、［次へ］をクリックする。

8 データ消去するハードディスクを確認し［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックする。

［消去開始］ボタンが有効になります。

9 ［消去開始］をクリックする。

確認画面が表示されます。

10 ［はい］をクリックする。

ハードディスクのデータの消去が開始されます。

11 消去終了の確認画面が表示されたら、［OK］をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

！ご注意
本マニュアルの「サービス・サポート」の記載内容は、2009年1月時点での情報（予定を含む）です。
内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（114ページ）

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」からも調べられます。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（136ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windowsのヘルプとサポート」をご覧ください。（137ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（137ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（137ページ）

3 VAIOサポートページで調べる

「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。(138ページ)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、VAIOサポートページで、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1～3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。(142ページ)

❑ VAIOの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOに関する使いかたなどのお問い合わせは、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」で承ります。
電話番号や受付時間など詳しくは、「電話で問い合わせる」(142ページ)をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、**「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」**(153ページ)をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

CD ／ DVD ／ BD（127ページ）

- ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない

インターネット（127ページ）

- インターネットに接続できない
- ワイヤレスLANが使えない

地上デジタル放送（テレビチューナー搭載モデル）（128ページ）

- 地上デジタルのアンテナ受信設定ができない／放送を受信できない
- 地上デジタルが映らない／画像が乱れている
- デジタル放送の映像が映らない
- ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる
- チャンネルボタンで選局できない
- デジタル放送のチャンネルが切り替わらない
- 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない
- 検索をしたときに表示される番組数が少ない
- 音声が出ない／音声がおかしい
- 録画予約した番組が録画されない
- メニューで選べない項目がある
- 「B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。」と表示される
- 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される
- 録画が途中で終わっている
- 予約したのに録画されていない
- 以前録画した番組コンテンツがなくなっている
- 番組の詳細情報が表示されない
- CM情報が表示されない
- 店舗／商品情報が表示されない
- 正常に再生できない
- 再生画面に映像が表示されない
- ダイジェスト再生やカタログビューができない
- CM、店舗、商品の詳細情報をインターネットで検索できない
- 「競合する機能が起動されているため、表示を中止しています。」というメッセージが表示されてしまった

HDMI入力機能（HDMI入力機能搭載モデル）（132ページ）

- HDMI機器の画面が表示されない
- ディスプレイ設定メニューで選択できる項目が少ない
- ⬆ ／ ⬇音量調節ボタンで音量調節ができない
- キーボードやリモコンで音量が調節できない
- キーボードで輝度が調節できない
- パソコン本体（PC）を表示できない
- HDMI SELECTランプが消えない
- パソコン本体（PC）でHDMI機器の映像を取り込みたい
- ロゴランプの設定をオフにしているのに点灯する
- DISPLAY OFFボタンを押すと、音声が消えてしまう
- パソコン本体（PC）表示時にDISPLAY OFFボタンを押してディスプレイの表示を消しても、音声が消えない
- パソコン本体（PC）の電源を切っている状態、またはスリープの状態で、HDMI機器の映像が表示されてしまう

外部機器からの録画（134ページ）

- DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）（134ページ）

- FeliCa機能が使えない

内蔵カメラ（MOTION EYE）（135ページ）

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

エラーメッセージ（135ページ）

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「VAIO 電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」画面が表示されます。

2 ［Q&A集］をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）

次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「電源コンセントに接続する」（34ページ）をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（25ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A DISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯している場合は、DISPLAY OFFボタンを押して画面を表示させてください。
DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンが点灯している間は画面は表示されません。DISPLAY OFFボタンを押し、DISPLAY OFFランプが消えていることを確認して、画面を表示させてください。
DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンの場所について、詳しくは「各部の説明」（160ページ）をご覧ください。

A HDMI SELECTランプが点灯していないか確認してください。（HDMI入力機能搭載モデル）
HDMI SELECTランプが点灯している間はHDMI入力を表示します。パソコン本体（PC）表示をする場合は、HDMI SELECTボタンを押してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

1. 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
2. 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルなどをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A （スタート）ボタン－ （矢印）ボタン－［シャットダウン］をクリックしても電源が切れない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させ、リストから［シャットダウン］を選択して［OK］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって、ポインタやウィンドウなどすべてのものが動かない」（121ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。
ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。
- 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにする。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A Windowsの準備をしようとすると「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される場合、「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」（102ページ）に従って、リカバリを行ってください。

A 「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合、フロッピーディスクやCD/DVDなどのディスク、ハードディスクやフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されていないか確認してください。
起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください(108ページ)。

A 「Checking file system on C:」と表示される場合、起動するまでしばらくお待ちください。

A 「Windowsエラー回復処理」と表示された場合、「Windowsを通常起動する」が選択されていることを確認し、Enterキーを押してください。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe(セーフ)モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

1. 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。
2. 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／Pg Upキーまたは↓／Pg Dnキーを押して[セーフモード]を選択し、Enterキーを押す。
3. Windowsが起動したら、(スタート)ボタン－[コントロールパネル]－[システムとメンテナンス]－[デバイスマネージャ]をクリックする。
4. 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの[プロパティ]をクリックしてプロパティ画面を表示し、[ドライバ]タブをクリックする。
5. [ドライバを元に戻す]をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。
6. 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q Windowsが起動しない

A 「Windowsが起動しない場合」(99ページ)の手順に従って操作してください。

Q スリープモードに移行できない

A プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。

A スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスリープモードに移行できないことがあります。「Windowsロゴ」など、Windows標準のスクリーンセーバーに変更してください。

パスワード

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーが作成されていない場合、パスワード設定を解除することはできません。「リカバリする」(100ページ)の手順に従って、リカバリを行ってください。

Q パワーオン・パスワード(BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード)を忘れてしまった

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。
- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを設定、変更、または、削除したい

A 詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(85ページ)をご覧ください。

画面/ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。
- 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。接続について詳しくは「電源コンセントに接続する」(34ページ)をご覧ください。
- 本機の電源スイッチが入っているか確認してください。
- DISPLAY OFFランプが点灯していないか確認してください。
  DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンが点灯している間は画面は表示されません。
  DISPLAY OFFボタンを押し、DISPLAY OFFランプが消えていることを確認して、画面を表示させてください。
  DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンの場所について、詳しくは「各部の説明」(160ページ)をご覧ください。
- HDMI SELECTランプが点灯していないか確認してください。(HDMI入力機能搭載モデル)
  HDMI SELECTランプが点灯している間はHDMI入力を表示します。パソコン本体(PC)表示をする場合は、HDMI SELECTボタンを押してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A 画面の色数の設定が[最高(32ビット)]になっているか確認してください。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の解像度／色数を変更する]をクリックする。)

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
(スタート)ボタン－ (矢印)ボタン－[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。画面の色モード設定を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の色補正を設定する]をクリックする。)

Q 画面が固まって、ポインタやウィンドウなどすべてのものが動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスクマネージャの起動]をクリックする。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプがオレンジ色に点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面の輝度(明るさ)を調整したい

A キーボードのFnキーを押しながらF5キーまたはF6キーを押して調節してください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q 画面にドット欠損(輝点・滅点)がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力/キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「VAIO 電子マニュアル」画面左上の[目次]をクリックし、最も下に表示される[できる Windows for VAIO]内の「文字を入力しよう」をご覧ください。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A キーボード右上の「Num Lock」インジケーターが表示されているか確認してください。
表示されていないときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをするため、数字を入力することができません。Num Lkキーを押して、インジケーターを表示させてから数字を入力してください。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

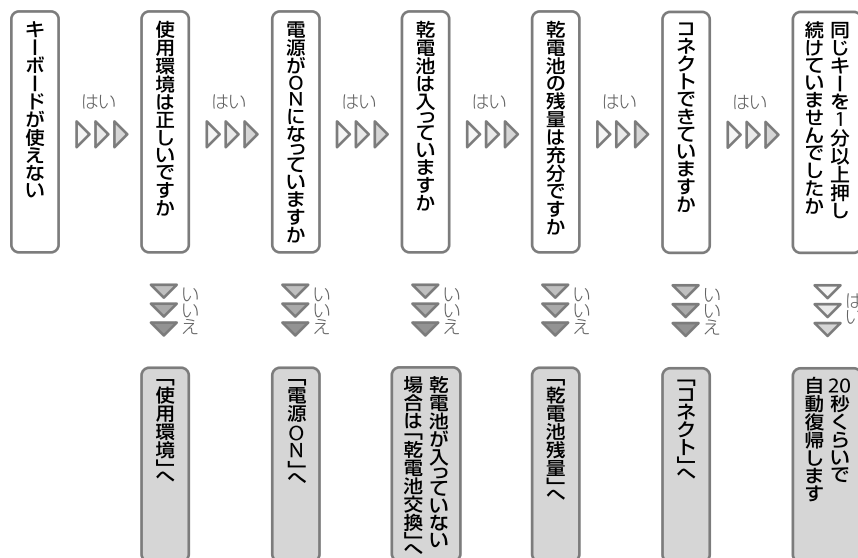
日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A キーボード右上の「Caps Lock」インジケーターが表示されていないか確認してください。
「Caps Lock」インジケーターが表示されていると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」インジケーターが表示されていないことを確認してください。

Q キーボードが使えない

A キーボードが使えないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上、それぞれの操作をしてください。

キーボードが使えない ▷▷▷（はい） 使用環境は正しいですか ▷▷▷（はい） 電源がONになっていますか ▷▷▷（はい） 乾電池は入っていますか ▷▷▷（はい） 乾電池の残量は充分ですか ▷▷▷（はい） コネクトできていますか ▷▷▷（はい） 同じキーを1分以上押し続けていませんでしたか

- 使用環境は正しいですか → いいえ →「使用環境」へ
- 電源がONになっていますか → いいえ →「電源ON」へ
- 乾電池は入っていますか → いいえ → 乾電池が入っていない場合は「乾電池交換」へ
- 乾電池の残量は充分ですか → いいえ →「乾電池残量」へ
- コネクトできていますか → いいえ →「コネクト」へ
- 同じキーを1分以上押し続けていませんでしたか → はい → 20秒くらいで自動復帰します

- **使用環境**

  本機とキーボードの距離は約10m以内でご使用ください。キーボードの近くに金属があると、FeliCaカードとの通信に影響を与えることがあります。

  キーボードは2.4GHz帯の電波を使用しています。無線LANなど同じ2.4GHz帯の電波を使用する無線機器を近くでお使いになると、正常に動作しないことがあります。

!ご注意

本体とキーボードを近距離（10cm以内）で使用すると、通信に影響を及ぼし、キー入力やFeliCa通信が不安定になることがあります。キーボードを金属から離し、本体との距離を離す（15cm以上）ことをおすすめします。

- **電源ON**

  本機に付属のキーボードは、乾電池の消耗を抑えるために電源スイッチが付いています。

  本機を長時間使用しない場合は、電源をオフにすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ずオンになっていることをご確認ください。

- **乾電池交換**

  「キーボードを準備する」（35ページ）をご覧ください。

!ご注意

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。

- **乾電池残量**

  キーボードの乾電池の残量が充分かどうかは、キーボードの右上にあるバッテリーインジケーターで確認できます。

- **コネクト**

  コネクトインジケーターに Ψ（コネクト）が表示されていれば、コネクトできています。Ψ（コネクト）が表示されていない場合はコネクトができていないので、キーボードを本体に近づけてみてください。それでも Ψ（コネクト）が表示されない場合は、再度コネクトをし直してください。（40ページ）

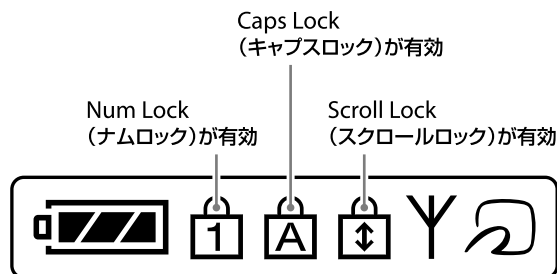
  （インジケーターが表示されていない場合は、Fnキーを1度押してください）

Q Caps Lock、Num Lkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

A キーボード右上の各種インジケーターで確認できます。

Caps Lock
（キャプスロック）が有効

Num Lock
（ナムロック）が有効

Scroll Lock
（スクロールロック）が有効

マウス

Q マウスを動かしてもポインタが動かない

A 「マウスが使えない」（125ページ）を確認してください。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① （Windows）キーを押してスタートメニューを表示させ、→キーを押して （矢印）ボタン－［シャットダウン］を選んでEnterキーを押す。

② 電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、↓キーや→キーを押して （シャットダウン）ボタンを選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。

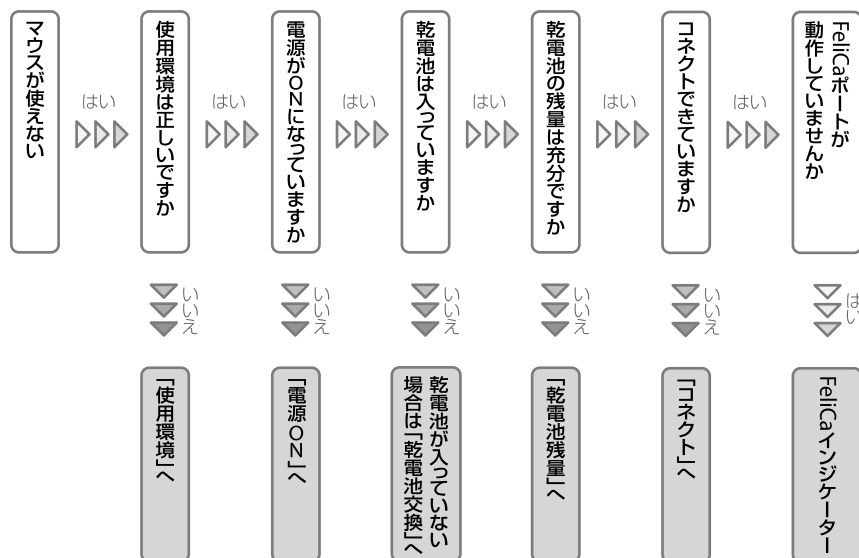
CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって、ポインタやウィンドウなどすべてのものが動かない」（121ページ）をご覧ください。

Q マウスが使えない

A マウスが使えないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

マウスが使えない
はい ▷▷▷ 使用環境は正しいですか
はい ▷▷▷ 電源がONになっていますか
はい ▷▷▷ 乾電池は入っていますか
はい ▷▷▷ 乾電池の残量は充分ですか
はい ▷▷▷ コネクトできていますか
はい ▷▷▷ FeliCaポートが動作していませんか

使用環境は正しいですか → いいえ → 「使用環境」へ
電源がONになっていますか → いいえ → 「電源ON」へ
乾電池は入っていますか → いいえ → 乾電池が入っていない場合は「乾電池交換」へ
乾電池の残量は充分ですか → いいえ → 「乾電池残量」へ
コネクトできていますか → いいえ → 「コネクト」へ
FeliCaポートが動作していませんか → はい → FeliCaインジケーター

- **使用環境**
  本機とマウスの距離は約10m以内でご使用ください。
- **電源ON**
  本機に付属のマウスは、乾電池の消耗を抑えるために電源スイッチが付いています。
  本機を長時間使用しない場合は、電源をオフにすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ずオンになっていることをご確認ください。
- **乾電池交換**
  「マウスを準備する」(36ページ)をご覧ください。

！ご注意

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。

- **乾電池残量**
  マウスの乾電池の残量が充分かどうかは、マウスの表面にあるローバッテリーランプで確認できます。マウスの乾電池の残量が充分でない場合は、ローバッテリーランプが点滅します。
- **コネクト**
  本機とマウスのコネクトができていない可能性があります。再度コネクトをし直してください。(41ページ)
- **FeliCaインジケーター**
  キーボード側のFeliCaポート動作中にマウスがスムーズに動作しない場合は、Fnキー＋FeliCaボタンを押すことでFeliCaポートの動作が停止し、マウスがスムーズに動作するようになります。

！ご注意

FeliCaカードアクセス中はこのキーは使用しないでください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります（100ページ）。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります（100ページ）。

Q ハードディスクの空き容量を知りたい

A （スタート）ボタンー［コンピュータ］をクリックしてください。
「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［システムツール］ー［ディスクデフラグツール］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［今すぐ最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい

A 次の手順で確認してください。

① （スタート）ボタンをクリックし、［コンピュータ］を右クリックして［管理］をクリックする。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② ［記憶域］の［ディスクの管理］をクリックする。
ディスク 0にリカバリ領域とC ドライブのサイズが表示されます。

ヒント
表示される数値は、1GBを10億バイトで計算した場合のものです。Windowsのシステムでは1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVD ／ BD

Q ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない

A 本機で使用可能なディスクか確認してください(178ページ)。

A ディスクが正しくドライブに入っているか確認してください。
ディスクは文字が書いてある面を手前に向けて入れてください。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[CD ／ DVD ／ BD]－[ディスクを入れる／取り出す]をクリックする。)

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブかどうか確認してください。
本機での動作を保証しているドライブは、以下になります。
- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

A 後からインストールしたディスクの再生・書き込みソフトウェアを削除してください。
お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。
この場合は、追加したソフトウェアを一度削除(アンインストール)してご確認ください。削除の方法は、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

インターネット

Q インターネットに接続できない

A プロバイダとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります(79ページ)。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」(28ページ)をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ／電子メール]をクリックする。)

Q ワイヤレスLANが使えない

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[パソコン本体]－[LAN ／ワイヤレスLAN]をクリックする。)

地上デジタル放送（テレビチューナー搭載モデル）

Q 地上デジタルのアンテナ受信設定ができない／放送を受信できない

A 地上デジタルに対応したUHFアンテナにつないでください。

A アンテナ線をしっかりつないでください。

A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。
以下を確認してください。

- 一般のテレビに接続して受信できるか？
- 分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうか？

アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。

A アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
アッテネーターの設定を変更してから、再度チャンネルスキャンを行ってください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側の[地上アッテネーターの設定]のチェックボックスをクリックし、アッテネーターの設定を変更後、[適用]をクリックしてください。
その後、同じ画面上の[初期スキャン]をクリックしてください。

Q 地上デジタルが映らない／画像が乱れている

A アンテナ線をしっかりつないでください。

A 地上波アンテナの位置・方向・角度を調整してください。

A 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。

A 地上デジタルのチャンネルスキャンを行ってください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、右側に表示された[初期スキャン]をクリックしてください。

Q デジタル放送の映像が映らない

A B-CASカードが正しい向きで挿入されているか確認してください。

A 放送日や時間を確認してください。

A 地上デジタルのチャンネルスキャンを行ってください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、右側に表示された[初期スキャン]をクリックしてください。

Q ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる

A アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
アッテネーターの設定を変更してから、再度チャンネルスキャンを行ってください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［受信設定］をクリックし、画面右側の［地上アッテネーターの設定］のチェックボックスをクリックし、アッテネーターの設定を変更後、［適用］をクリックしてください。
その後、同じ画面上の［初期スキャン］をクリックしてください。

A よく映らないチャンネルを映したまま、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの設定画面に表示されるアンテナレベルの数値を確認し、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。
アンテナレベルの表示を確認するには、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［受信設定］をクリックし、画面右側に表示された［アンテナレベルを表示］をクリックしてください。

Q チャンネルボタンで選局できない

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを起動してください。
それでも選局できない場合は、チャンネルスキャンを行ってください。

A リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルを設定してください。
チャンネル設定は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［視聴］－［チャンネル一覧］をクリックし、画面右側に表示された設定エリアで行ってください。

Q デジタル放送のチャンネルが切り替わらない

A 録画実行中はチャンネルを切り換えられないことがあります。

Q 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない

A 地上デジタルでは、視聴中の放送局以外の番組情報を取得できないことがあります。
「番組情報自動取得」を設定しておけば、自動的に番組情報を取得します。
番組情報自動取得は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［視聴］をクリックし、画面右側に表示された「番組情報自動取得」で設定してください。

A 番組表を表示しているときに、［更新］を選択してください。
番組情報を取得し直します。

Q 検索をしたときに表示される番組数が少ない

A お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れたあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。
休止状態、電源オフ状態では、放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

Q 音声が出ない／音声がおかしい

A 消音の設定になっていないか確認してください。

A 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていないか確認してください。

A 音量を確認してください。

A BluetoothヘッドホンおよびスピーカーやUSBオーディオ機器から音声は出力されません。

Q 録画予約した番組が録画されない

A 著作権が保護されている番組では、録画できない場合があります。

A ハードディスクの残量がなくなると、録画されない場合があります。

Q メニューで選べない項目がある

A 灰色表示されている項目は選べません。
お使いの状態によっては、選べない場合があります。

Q 「B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。」と表示される

A B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください。

A B-CASカードが破損している可能性があります。
B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

Q 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される

A 録画できない番組です。

Q 録画が途中で終わっている

A ハードディスクの残量がなくなると、録画が途中で停止します。
不要なコンテンツを削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。

Q 予約したのに録画されていない

A 次の場合は、予約録画は正常に行われないことがあります。
- 録画中に停電があった
- 録画開始時刻にコンピュータの電源が切れていた
- 録画中にコンピュータの電源を切るか、スリープまたは休止状態にしてしまった
- 予約を削除してしまった
- 予約時間の間近にコンピュータの時計を操作した
- コピー禁止番組を録画した
- コンピュータの日付や時刻が正しく設定されていない
- B-CASカードが挿入されていなかった

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアやiCommandで正常に録画予約が行われても、ハードディスクの残量が少ない場合は録画が行われないことがあります。

Q 以前録画した番組コンテンツがなくなっている

A 録画を予約した際に設定した自動削除禁止期間を過ぎたコンテンツは、保存先に指定されたドライブの空き容量が不足した場合に自動的に削除されます。

Q 番組の詳細情報が表示されない

A 録画状況などにより、放送波から番組の詳細情報が取得できなかった場合などは表示されないことがあります。

Q CM情報が表示されない

A 新しいCMなどは、すぐに情報が提供されていないことがあります。

Q 店舗／商品情報が表示されない

A 新しい店舗や商品などは、すぐに情報が提供されていないことがあります。

A お住まいの地域によっては、店舗／商品情報が提供されない場合があります。

Q 正常に再生できない

A ビデオ録画時に負荷が高くなりすぎたなど、録画時に問題があった可能性があります。

Q 再生画面に映像が表示されない

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使用中にコンピュータをスリープ状態にすると、スリープから復帰させた後は再生画面に映像が表示されないことがあります。
その場合は、再生画面を一度終了させ、再度起動してから再生し直してください。

Q ダイジェスト再生やカタログビューができない

A ダイジェスト再生、カタログビューは、VAIO コンテンツ解析マネージャでコンテンツ解析が完了しないと利用することができません。
VAIO コンテンツ解析マネージャでのコンテンツ解析について詳しくは、VAIO コンテンツ解析マネージャのヘルプをご覧ください。

A ダイジェスト再生は、VAIO コンテンツ解析マネージャで設定されている番組に対応しています。
詳しくは、VAIO コンテンツ解析マネージャのヘルプをご覧ください。

Q CM、店舗、商品の詳細情報をインターネットで検索できない

A インターネットの接続設定を確認してください。

Q 「競合する機能が起動されているため、表示を中止しています。」というメッセージが表示されてしまった

A 編集中、書き出し中、およびチャンネルスキャン中は、テレビの視聴やビデオの再生はできません。

HDMI入力機能（HDMI入力機能搭載モデル）

Q HDMI機器の画面が表示されない

A HDMI SELECTボタンやHDMI SELECTランプが緑色に点灯しているか確認してください。
HDMI SELECTボタンやHDMI SELECTランプが緑色に点灯していない場合は、HDMI SELECTボタンを押してください。

A HDMI機器の電源が入っているか確認してください。

A HDMIケーブルが本機とHDMI機器にしっかり接続されているか確認してください。

A DISPLAY OFFランプが点灯していないか確認してください。
DISPLAY OFFランプが点灯している間は画面は表示されません。
DISPLAY OFFランプが点灯している場合は、DISPLAY OFFボタンを押して、DISPLAY OFFランプを消灯させてください。

Q ディスプレイ設定メニューで選択できる項目が少ない

A パソコン本体（PC）表示時は、設定できる項目が限定されます。HDMI入力に切り換えて、再度MENU（メニュー）ボタンを押してください。

Q ⬆／⬇音量調節ボタンで音量調節ができない

A パソコン本体（PC）表示時は⬆／⬇音量調節ボタンで音量を調節できません。HDMI入力に切り換えてください。

Q キーボードやリモコンで音量が調節できない

A HDMI入力時は、キーボードやリモコンでHDMI機器の音量を調節することはできません。
本機右側面の⬆／⬇音量調節ボタンで音量を調節してください。

Q キーボードで輝度が調節できない

A HDMI入力時は、キーボードでディスプレイの輝度を調節することはできません。
HDMI入力時にMENU（メニュー）ボタンを押して表示されるメニュー画面から設定してください。

Q パソコン本体（PC）を表示できない

A HDMI SELECTボタンを押してください。

A パソコン本体（PC）が起動しているか確認してください。

Q HDMI SELECTランプが消えない

A HDMI SELECTボタンを押してください。
HDMI機器の電源が入っている場合は、HDMI機器の電源を切ってください。

Q パソコン本体（PC）でHDMI機器の映像を取り込みたい

A HDMI機器の映像を取り込むことはできません。

Q ロゴランプの設定をオフにしているのに点灯する

A パソコン本体（PC）表示時とHDMI入力時では、ロゴランプの点灯設定は連動していません。
設定を変更したい場合は「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [画面／ディスプレイ] – [ロゴランプを設定する]をクリックする。）

Q DISPLAY OFFボタンを押すと、音声が消えてしまう

A HDMI入力時にDISPLAY OFFボタンでディスプレイの表示を消すと音声も消えます。

Q パソコン本体（PC）表示時にDISPLAY OFFボタンを押してディスプレイの表示を消しても、音声が消えない

A パソコン本体（PC）表示時は、DISPLAY OFFボタンでディスプレイの表示を消しても、音声は消えません。
HDMI入力時はディスプレイ表示と音声の両方が消えます。

Q パソコン本体（PC）の電源を切っている状態、またはスリープの状態で、HDMI機器の映像が表示されてしまう

A HDMI入力機能は、パソコン本体（PC）の電源状態とは関係なく動作させることができます。
HDMI機器の表示を消すには、HDMI INPUTコネクタに接続したHDMI機器の電源を切るか、DISPLAY OFFボタンを押します。

外部機器からの録画

Q DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「Click to Disc」ソフトウェアを使ってハードディスクへ映像を取り込むことができます。また、DV機器の映像から直接DVDを作成することができます。

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCaカード／携帯電話の位置を確認してください。
キーボードの （FeliCaプラットフォームマーク）に合わせて置いてください。
それでも反応しない場合は、カードを数ミリ移動させるか、数ミリ浮かせてください。

!ご注意

携帯電話の形状によっては、FeliCa通信できないことがあります。

A FeliCaカードを置いたあとに、FeliCaボタンを押してください。
FeliCaボタンを押すと、FeliCa機能を利用することができます。

A キーボード周辺の環境を確認してください。
金属製の机などキーボードの近くに金属があると、FeliCaカードとの通信に影響を与えることがあります。

A キーボードのバッテリーインジケーターを確認してください。
乾電池の残量が少ないとキーボードのバッテリーインジケーターにが表示されます。が表示されたときは、FeliCaの動作が不安定になることがあるので、乾電池を交換してください。
乾電池の交換方法について詳しくは、「キーボードを準備する」(35ページ)をご覧ください。

!ご注意
新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池を混ぜて使用すると、残量の表示が正しく行われず、表示が でない場合でもFeliCaの動作が不安定になることがあります。

A キーボード側のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)の準備が完了しているか確認してください。
インジケーターにFeliCaマークがあるか確認してください。なければFeliCaボタンを押してください。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
FeliCaカードを置いて、FeliCaボタンを押してください。
② 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。
診断が開始され、結果が表示されます。

FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

内蔵カメラ(MOTION EYE)

Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

A 内蔵カメラ(MOTION EYE)または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードに移行させないでください。

A 自動的にスリープモードに移行してしまう場合は、設定を変更してください。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[電源オプションを変更する]をクリックする。)

エラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない」(118ページ)を確認してください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」で検索する

「VAIO 電子マニュアル」では、取扱説明書(本書)より詳しい情報を掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「VAIO 電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はVAIOサポートページからも情報を検索できます。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたいキーワード(単語)を入力し、[検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が表示されます。

入力欄に複数のキーワード(単語)をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
(例:CD　再生)

入力したキーワード

ホームページの検索結果は
ここをクリックする

コンピュータ内の検索結果は
ここをクリックする

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」やヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
VAIOサポートページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

（スタート）ボタン－［ヘルプとサポート］をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「VAIO 電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

本機をインターネットに接続してご覧ください。
VAIOサポートページでは、VAIOに関するトラブル解決方法や活用方法、VAIOを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

!ご注意
VAIOサポートページの構成やデザインなどの内容は、2009年1月現在のものです。内容は随時更新されます。

修理・その他サービス
調べる・トラブル解決
学ぶ・楽しむ・使い方
お問い合わせ
おすすめサポート情報
初心者コーナー
Mobile（モバイル）
VAIO Hot Street
（バイオホットストリート）
サポートからの
お知らせ
ウイルス・セキュリティ
情報

各項目について、詳しくは139ページ～ 141ページをご覧ください。

VAIOサポートページを見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入りセンター）から［VAIOサポートページ］－［1 トップページ（トラブル解決・使い方情報）］をクリックして表示します。

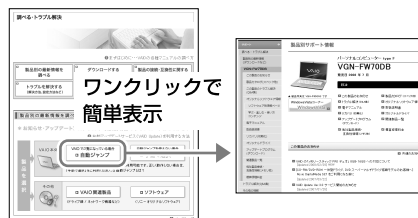
＜調べる・トラブル解決＞

VAIOに関する疑問やトラブルを解決したいかたはこちらをご利用ください。

製品別サポート情報、Q&A検索、VAIOにつながる製品の接続情報、付属ソフトウェアのお問い合わせ先、OS（Windows）に関する情報など、お困りの問題を解決するさまざまな情報を提供しています。

❑ 製品別サポート情報（お客様のVAIOの専用サポートページ）

VAIOの製品ごとに専用ページを用意しています。
お客様のVAIOに関する「お知らせ」「Q&A検索」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」など最新サポート情報を確認できます。

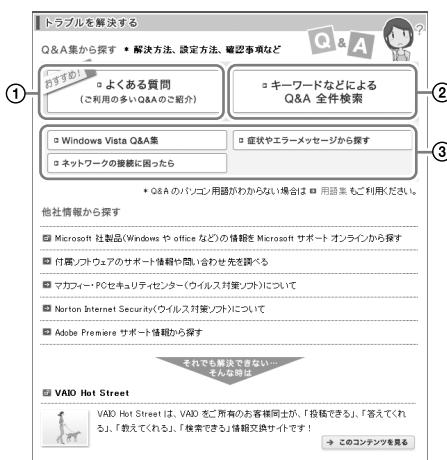
ワンクリックで簡単表示

❑ Q&A検索

VAIOに関するトラブル解決方法や操作・設定方法など、知りたい情報を以下の方法で検索できます。

① よくある質問から探す
カテゴリ別に分類されています。

② キーワードや文章を入力して検索する。

DVD 再生　検索

③ その他
Windows Vista Q&A集　など

＜学ぶ・楽しむ・使い方＞

VAIOをより活用したり楽しみたい、使いかたを知りたいというかたはこちらをご利用ください。

VAIOならではの活用方法や知っておきたいお役立ち情報など、VAIOをさらに快適に楽しむための情報を提供しています。

❑ 目的から探す

目的別に活用方法をわかりやすくご紹介しています。

例）

- Windows（OS）の基本操作や活用方法
- 動画・映像編集を楽しむ
- テレビを楽しむ
- ネットワークを楽しむ
- ディスクを作る
- 音楽を楽しむ
- 写真を楽しむ
- 年賀状（はがき）をつくる

など

＜修理／その他サービス＞

❑ 修理関連のご案内

故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗状況の確認など、修理関連の情報を提供しています。

❑ その他サービスメニュー

VAIOの設置・設定サービスや点検サービスなど、各種有料サービスをご案内しています。
有料サービスの内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（151ページ）をご覧ください。

＜お問い合わせ＞

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
「VAIOコールバック予約サービス」（144ページ）や「VAIOリモートサービス」（144ページ）もこちらからご利用いただけます。

＜初心者コーナー＞

初心者・初級者のかたが知りたい情報をイラストを交え、わかりやすくご紹介しています。
「パソコン入門講座」や「知っ得情報」など、基本操作や設定から活用方法まで、動画や会話形式などで丁寧にご説明しています。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入りセンター）から［VAIOサポートページ］－［2 初心者コーナー］をクリックして表示することもできます。

＜おすすめサポート情報＞

特におすすめのサポートコンテンツをご紹介しています。（掲載コンテンツは随時変更します。）

例）バックアップ講座

VAIOに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。大切なデータの保護にお役立てください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）

携帯電話用のVAIOサポートサイトで最新のサポート情報を提供しています。特にウイルス情報などを調べたいときや、VAIOの修理状況を確認したいときなどに便利です。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
  詳しくは、「「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について」（149ページ）をご覧ください。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - What's New!
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - 新着Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
  - Q&A・用語集検索
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - VAIO Hot Street モバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

VAIO Hot Street（VAIOユーザーの情報交換サイト）

VAIOをお持ちのお客様同士で、よりVAIOを活用するための情報を交換できるサイトです。
皆に教えてあげたい情報を投稿したり、わからないことを質問したり、質問に回答したりすることができます。
見たい投稿を閲覧するだけのご利用も可能です。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入りセンター）から［VAIOサポートページ］－［3 VAIO Hot Street（情報投稿サイト）］をクリックして表示することもできます。

投稿を見る
VAIOの製品型名やキーワードなど、お好きな方法で投稿を簡単に探せます。

投稿・質問する
質問や投稿はこちらからお気軽に。

人気投稿ランキング

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：平日　9時～ 20時
土曜、日曜、祝日　9時～ 17時
（年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。）

！ご注意
VAIOの使いかたのお問い合わせや修理の受付については、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」「修理相談窓口」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、VAIOに関する技術的なお問い合わせを電話で承っております。

「使い方相談窓口」のサポート体制について

VAIOカスタマー登録がお済みのお客様に、VAIOご購入日から1年間は、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートを無料でご提供しております。
また、それ以外のお客様（登録がお済みでないお客様や、ご登録がお済みでVAIOご購入日から2年目以降のお客様）には、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートをご利用いただける「VAIOサポートチケット」（有料）をご用意しております。
なお、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。

！ご注意
- VAIOご購入日とは、VAIO本体に付属の保証書に記載されている「お買上げ日」となります。VAIOカスタマー登録の際にご入力ください。
- VAIOコールバック予約サービスも上記のサポート体制に含まれます。
- サポート対象製品は、VAIO本体、VAIO本体に付属のOSおよびソニー製ソフトウェア、一部のVAIOアクセサリーです。
- 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからは、フリーダイヤルはご利用いただけません。

		「使い方相談窓口」フリーダイヤルご利用	「使い方相談窓口」無料サポート
VAIO購入後1年間	カスタマー登録あり	○	○
	カスタマー登録なし	×	×
VAIO購入後2年目以降	カスタマー登録あり	○	×
	カスタマー登録なし	×	×

❑ VAIOサポートチケットについて

チケット料金
- 1回チケット　2,100円（税込）
- 3回チケット　5,250円（税込）
  ※チケット有効期間は、チケット購入日から1年間です。
  ※使い方相談の1案件につき、1回とカウントさせていただきます。1度のお電話のお問い合わせでも、異なる複数のご質問をいただいた場合は、ご質問数のチケットが必要となります。

チケット購入方法
- クレジットカードでのお支払いとなります。
  お電話でお問い合わせいただいた際に、音声ガイダンスに従って、クレジットカード番号と有効期限を入力していただきます。
  ※ご利用いただけるカード会社は、VISA ／ MasterCard ／ JCB ／ AMERICAN EXPRESS ／ダイナースです。
  なお、JCBカードにつきましては、3回チケットのご購入にはご利用いただけません。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。
VAIOサポートページ「使い方相談」サポートご利用規約　http://vcl.vaio.sony.co.jp/supinfo/terms.html

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「VAIO 電子マニュアル」やVAIOサポートページで、VAIOの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。
詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」(136ページ)、「VAIOサポートページで調べる」(138ページ)をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて

付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(153ページ)をご覧ください。
それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ VAIOカスタマー登録をご確認ください

VAIOカスタマー登録がお済みのお客様に、VAIOご購入日から1年間は、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートを無料でご提供しております。また、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
VAIOカスタマー登録の際にご登録いただいた電話番号で、発信者番号通知にてお電話をいただくと、自動的にご登録を確認できます。
非通知設定でおかけいただく場合などは、音声ガイダンスに従って、ご登録の電話番号の入力をお願いいたします。
VAIOカスタマー登録について、詳しくは「カスタマー登録する」(52ページ)をご覧ください。

❑ 以下の内容をご用意ください(② ~ ④は該当する場合のみ)

① 本機の型名(保証書または、本機IDラベルに記載されています。)
② 本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)
③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ
④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

ヒント
IDラベルについて詳しくは、「各部の説明」のIDラベル(160ページ)をご確認ください。

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号:(0120) 60-3399 (フリーダイヤル)
(ロクゼロ　サンサンキュウキュウ)

※VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間 平日:9時~ 18時　土曜、日曜、祝日:9時~ 17時　(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。**
- **VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**

!ご注意
- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。電話番号や受付時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント
音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（使い方相談）

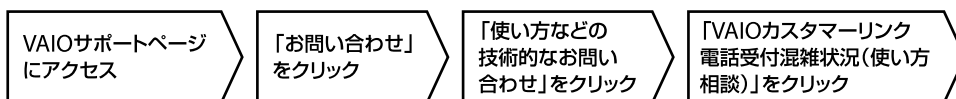
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

電話受付の混雑状況を、VAIOサポートページで公開しています。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

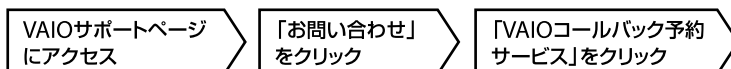
VAIOサポートページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「使い方などの技術的なお問い合わせ」をクリック → 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（使い方相談）」をクリック

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

VAIOサポートページから電話サポートのご予約をお申し込みいただくと、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

予約受付：VAIOサポートページからご予約可能

回答時間：365日24時間

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOコールバック予約サービス」をクリック

！ご注意

- 本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日から1年間、本サービスを無料でご利用いただけます。詳しくは「「使い方相談窓口」のサポート体制について」（142ページ）をご覧ください。
- 本サービスは、VAIO本体やVAIOアクセサリーの使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（138ページ）をご覧ください。

VAIOリモートサービス

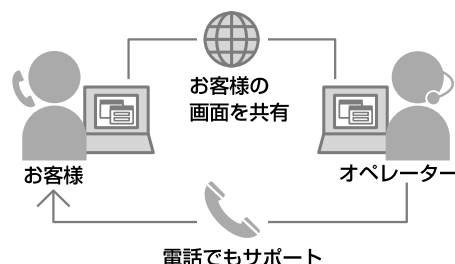
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。

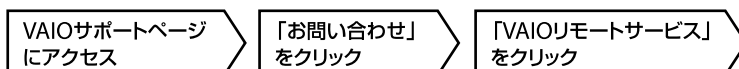
「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」というかたは、ぜひお試しください。

お客様の
画面を共有
お客様
オペレーター
電話でもサポート

！ご注意

本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。なお、お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOリモートサービス」をクリック

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（138ページ）をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる（テクニカルWEBサポート）

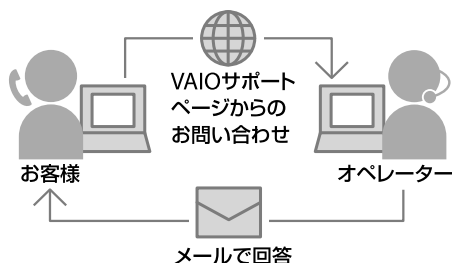
（http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html）

VAIOに関する使いかたなどの技術的な質問をVAIOサポートページ内の問い合わせフォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです。

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。

VAIOご購入日から1年間は、無料でご利用いただけます。2年目以降のお客様には、「VAIOサポートチケット（有料）」をご購入いただくことで、本サービスをご利用いただけます。

「VAIOサポートチケット」について詳しくは、「電話で問い合わせる」の「VAIOサポートチケットについて」（142ページ）をご確認ください。

※なお、当面の間、VAIOご購入日から2年目以降のお客様にも本サービスを無料でご利用いただけます。無料でご利用可能な期間の終了につきましては、後日、VAIOサポートページなどでお知らせいたします。

！ご注意

- 本サービスをご利用の際、該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日とは、VAIO本体に付属の保証書に記載されている「お買上げ日」となります。VAIOカスタマー登録の際にご入力ください。
- サポート対象製品は、VAIO本体、VAIO本体に付属のOSおよびソニー製ソフトウェア、一部のVAIOアクセサリーです。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「メールで相談」をクリック

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（138ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、VAIOに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。

なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号：(0466)30-3040

！ご注意

一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOサポートページ」などで、お使いのVAIOの症状に合うものがないかご確認ください。詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」(136ページ)、「VAIOサポートページで調べる」(138ページ)をご覧ください。
- VAIO Updateを利用して、お使いのVAIOが最新の状態かご確認ください。VAIOをアップデート(最新状態に)することにより、お客様のお困りの症状を解決できることがあります。VAIO Updateについて詳しくは、「重要情報を自動的に入手する」(54ページ)をご確認ください。

ヒント

VAIOサポートページの「故障かな？と思ったら」(http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/mistake.html)でも故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備をする ▶ 修理を申し込む ▶ お引取り ▶ 修理センターにて修理 ▶ お届け

修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOサポートページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/precall.html)またはFAX情報サービス(145ページ)より入手できます。筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

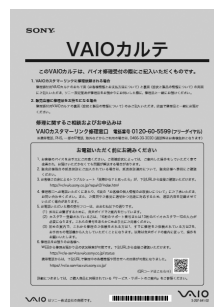
ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機はご用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様に返却しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- お買い求めいただいたVAIOの保証書規定は日本国内のみ有効です。

ヒント

VAIOサポートページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。

弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとる方法は、「バックアップについて」(90ページ)をご覧ください。

!ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 概算修理料金(VAIOサポートページ)

VAIOサポートページで、製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/

❑ VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(修理相談)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/konzatu.html

修理相談窓口の混雑状況をVAIOサポートページで公開しています。お電話の前にご確認ください。

❑ その他

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合があります。ご使用のVAIOをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

修理を申し込む

「VAIOカスタマーリンク修理相談窓口」

電話番号:(0120) 60-5599(フリーダイヤル)

(ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は (0466) 30-3030(通話料お客様負担)

受付時間: 平日:9時〜 20時

土曜、日曜、祝日:9時〜 17時

(365日年中無休)

※年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や受付時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。(一部機種・地域を除く。2009年1月現在)

法人向け修理相談窓口のご案内

「VAIOビジネスクライアントサポートデスク」(法人のお客様専用)

電話番号:(0120) 30-6065(フリーダイヤル)

(サンゼロ　ロクゼロロクゴー)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は(0466) 30-3035(通話料お客様負担)

受付時間:平日:10時〜 18時(土日祝日休み)

① 修理窓口に電話をかける

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時（④は平日のみ）

！ご注意

- 上記は2009年1月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業、修理後のお届けは、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」（149ページ）をご覧ください。

お届け／お支払い（有料の場合のみ）

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

！ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い（有料のみ）

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望されたかたは、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

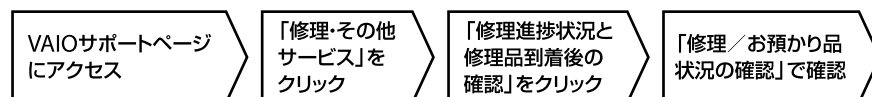
- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOサポートページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOサポートページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/index.html

VAIOサポートページにアクセス → 「修理･その他サービス」をクリック → 「修理進捗状況と修理品到着後の確認」をクリック → 「修理／お預かり品状況の確認」で確認

ヒント

VAIOサポートページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（138ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話向けサポートサイト）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

!ご注意

- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。
なお、修理内容に応じて弊社が必要と判断した場合には、お電話にてご連絡させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- メール受信制限を設定している場合は、@sony.co.jpからのメールが受信できるように設定してください。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルの「修理お預かり情報」にアクセスする。

- URLからアクセス
https://vcl.e-service.vaio.sony.co.jp/
- QRコードからアクセス
（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

② 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(146ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、マイブックマークやメモなど、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

（2009年1月現在）

❑ My VAIO Pass（無償）

VAIOカスタマー登録（52ページ）をしていただいたお客様に無料で提供する優待プログラムです。
お得な優待キャンペーンや、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5 ～ 10%）など、さまざまな特典を受けることができます。

優待メニューの一例

- VAIOアクセサリーのご購入で、5%分のソニーポイントをプレゼント

❑ My VAIO Passプレミアム（有償）

ワンランク上の優待プログラム「My VAIO Passプレミアム」なら、ソニーポイントのプレゼント率がさらにアップ。
また、プレミアムメンバー限定の無料コンテンツや優待販売、プレゼントキャンペーンなども随時ご提供します。

優待メニューの一例

- VAIOアクセサリーのご購入で、10%分のソニーポイントをプレゼント

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループ共通のポイントプログラムです。貯めたポイントは、ソニーグループの多彩な商品やサービスの購入などにご利用いただけます。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはVAIOオーナー向けサイトMy VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

！ご注意

2009年1月現在の情報になります。

❑ VAIO設置設定サービス

http://sony.jp/vaio/setting/
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

ソニーデジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
　　　　　　（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間　：10：00 ～ 18：00（年中無休　※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

❑ セミナー・個人レッスン

http://sony.jp/vaio/lesson/

セミナー

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

ITエンターテインメントセミナー事務局
電話番号　：（0570）075-111（一般及び携帯電話）
　　　　　　（03）5789-3493（PHS・IP電話）
受付時間　：10：00 ～ 18：00（年中無休　※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。
お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧いただくか、ソニーデジホームサポートデスクまでお問い合わせください。ソニーデジホームサポートについて詳しくは、「VAIO設置設定サービス」（151ページ）をご覧ください。

❑ 部品の販売について

http://sony.jp/vaio/parts/
VAIOをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）でのご注文（SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。）
- ホームページより部品をご注文（対象機種のみ）（部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込））

！ご注意

- ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。
- ホームページからご注文いただく場合は、VAIOカスタマー登録が必要です。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://sony.jp/vaio/customize/
VAIO本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。
1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。
メモリやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❑ アップデートディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/
ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートディスクを有料で送付するサービスです。

！ご注意

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ リカバリディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/purpose/repair/
VAIOを再セットアップするときに必要なディスクを有料で送付するサービスです。
ご提供するリカバリディスクは、VAIOにプリインストールされている「リカバリ作成ツール」からお客様ご自身で作成することができるディスクと同等のものです。

！ご注意

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/
お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお応えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型VAIOのみ）
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行います。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にVAIOサポートページをご確認ください。

❑ VAIOクリニック（点検サービス）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/clinic/
ソニー品質基準に基づいた各種点検に加え、普段手入れのできない内部のお掃除やキーボード交換など、お客さまのVAIOを専門のスタッフが1台1台丁寧にクリニックします。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「VAIO電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。付属のソフトウェアを確認するには、付属の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］の順にクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 「VAIO 電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。

!ご注意
- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ **Windows Vista(R) Home Premium with Service Pack 1 正規版**
VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ **Windows(R) Media Center**
VAIOカスタマーリンク

❑ **Windows Media(R) Player**
VAIOカスタマーリンク

❑ **WinDVD BD for VAIO**
VAIOカスタマーリンク

❑ **WinDVD for VAIO**
VAIOカスタマーリンク

テレビ

❑ **Giga Pocket Digital**
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集

❑ **VAIO Movie Story**
VAIOカスタマーリンク

❑ **Adobe(R) Premiere(R) Elements(R)**
このソフトウェアに関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/

❑ **VAIO Edit Components**
VAIOカスタマーリンク

❑ **DigiOnSound(R) L.E. for VAIO（HDV対応版）**

株式会社デジオン

電子メール：下記のURLのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

ホームページ：

https://www.digion.com/support/dgon_oemsupport_form.htm

※E-mailでのサポートサービスのご提供となります。

BD/DVD作成

❑ **Click to Disc**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO Content Exporter**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Click to Disc Editor**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Roxio Easy Media Creator**

Roxio サポートセンター

電話番号：（0570）00-6940（ナビダイヤル）

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

（祝祭日、ソニックソルーションズ株式会社特別休業日は除く）

※ Roxioサポートセンターに電話でお問い合わせ頂いた場合、お客様がご利用されている電話回線・端末の種類によって通話料のご負担額が異なります。

電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。

ホームページ：http://www.roxio.jp/support/

音楽

❑ **SonicStage V**

VAIOカスタマーリンク

❑ **SonicStage Mastering Studio**

VAIOカスタマーリンク

❑ **DSD Direct Player**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO MusicBox**

VAIOカスタマーリンク

❑ **LifeFLOW**

VAIOカスタマーリンク

写真

❑ **Windows(R) フォトギャラリー**

VAIOカスタマーリンク

❑ **PMB（Picture Motion Browser）**

VAIOカスタマーリンク

カメラ本体に関するお問い合わせ先：

ソニー使い方相談窓口

（AV製品の使い方相談・故障診断）

電話番号：フリーダイヤル：（0120）333-020

携帯・PHS・一部のIP電話：（0466）31-2511

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」＋「＃」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

受付時間：月曜～金曜：9時～ 20時、

土曜、日曜、祝日、年末年始：9時～ 17時

❑ **Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R)**

このソフトウェアに関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームページ：

http://www.adobe.com/jp/support/

ホームネットワーク

❑ **VAIO Media plus**

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ **WebCam Companion**

アークソフト　カスタマーサポートセンター

電話番号：（0570）060655（ナビダイヤル）

受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 18時

（年末年始、祝日除く）

電子メール：support@arcsoft.jp

ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ **Magic-i(TM) Visual Effects**

アークソフト　カスタマーサポートセンター

電話番号：（0570）060655（ナビダイヤル）

受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 18時

（年末年始、祝日除く）

電子メール：support@arcsoft.jp

ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ Skype

http://www.skype.co.jp/

インターネット・メール

❑ **Windows(R) メール**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Windows(R) Internet Explorer**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO リモコンブラウザー**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Yahoo!ツールバー**

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス

電子メール：

https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback

※上記ホームページから送信いただけます。

ホームページ：http://www.yahoo.co.jp/

http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html

（Yahoo!ツールバー・ヘルプページ）

セキュリティー

❑ **マカフィー・PCセキュリティセンター**

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター

- 製品のインストールに関するお問合せ
- マカフィー製品の使いかた、設定方法
- マカフィー製品に絡むパソコンの障害

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

- ユーザ登録方法
- 契約情報の確認、更新
- キャンペーンに関するご相談

電話番号：

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター

（0570）060-033

(03) 5428-2279（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

（0570）030-088

(03)5428-1792（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）

※いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

受付時間：

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター

年中無休　9時～ 21時

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

月曜～金曜　9時～ 17時（祝日、祭日は除く）

電子メール：

＜お問合せ専用Webフォーム＞

マカフィー・テクニカルサポートセンター

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp

ホームページ：

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

❑ **Spy Sweeper（60日期間限定版）**

ウェブルート•ソフトウェア　カスタマーサポートセンター

電話番号：（0570）055250

受付時間：月曜～日曜：10時～ 12時、13時～ 19時（年末年始を除く）

電子メール：JPcustomer@webroot.com

ホームページ：http://www.webroot.co.jp/

❑ **i-フィルター 5.0（30日期間限定版）**

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター

電話番号：月曜～金曜：（03）3580-5678

土曜、日曜、祝日：（0570）00-1334

（デジタルアーツ株式会社指定休業日を除く）

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

土曜、日曜、祝日：10時～ 20時

（デジタルアーツ株式会社指定休業日を除く）

ホームページ：

よくある質問：http://www.daj.jp/faq/

ユーザーサポートお問い合わせフォーム：

http://www.daj.jp/ask/

ISPサインアップ

❑ **So-netサービス紹介**

ソネットエンタテインメント株式会社

So-netインフォメーションデスク

電話番号：

（一般固定電話から）（0570）00-1414

※「0570」で始まる電話番号は、一部の電話回線から発信できません。電話がつながらない場合は、以下各都市のいずれかの電話番号におかけください。

（携帯PHS・IP電話から）　札幌（011）711-3765

（携帯PHS・IP電話から）　仙台（022）256-2221

（携帯PHS・IP電話から）　東京（03）3513-6200

（携帯PHS・IP電話から）　名古屋（052）819-1300

（携帯PHS・IP電話から）　大阪（06）6577-4000

（携帯PHS・IP電話から）　広島（082）286-1286

（携帯PHS・IP電話から）　福岡（092）624-3910

※お客さまのご要望に正確かつ迅速に対応するため、通話内容を録音させていただいております。対応終了後、消去いたします。

ファックス番号：（03）5228-1586
受付時間：
電話：9時～ 21時（年中無休）
※1月1日およびソネットエンタテインメント株式会社指定のメンテナンス日を除きます。
ファックス：24時間（年中無休）
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：

東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ 筆ぐるめ

富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター

電話番号：（03）5600-2551

受付時間：9時30分～ 12時、13時～ 17時

（月曜～金曜（祝祭日、および富士ソフト株式会社休業日を除く））

※ただし、11/1 ～ 12/30の間は無休サポート

ファックス番号：（03）3634-1322

電子メール：users@fsi.co.jp

ホームページ：http://info.fsi.co.jp/fgw/

❑ Adobe(R) Acrobat(R) Standard

このソフトウェアに関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームページ：

http://www.adobe.com/jp/support/

❑ ATOK for Windows［広辞苑 第六版 セット］

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、

土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

ホームページ：http://support.justsystems.com/

❑ ATOK for Windows

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、

土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

ホームページ：http://support.justsystems.com/

❑ ATOK for Windows（30日期間限定版）

ジャストシステム　期間限定版専用サポート

電話番号：（088）666-1523

受付時間：月曜～金曜　10時～ 17時

（土曜、日曜、祝日、株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

※ 30日期間終了後に製品をご購入いただいた場合、サポート連絡先が異なります。
ご購入製品のサポート電話番号は、ご購入時に、製品のシリアルナンバー、オンライン登録キーと一緒にお知らせします。
初回のお問い合わせより90日間、無償でサポートいたします。

ホームページ：http://support.justsystems.com/

❑ FLO:Q デスクトップウィジェット

ソニー株式会社　FLO:Qサービス事務局

ホームページ：https://floq.jp/inquiry/form

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームページ：

http://www.adobe.com/jp/support/

❑ 一太郎ビューア

一太郎ビューアのサポートサービスは行っておりません。一太郎ビューアの最新情報につきましては、下記URLをご確認ください。

ホームページ：

http://www.justsystems.com/jp/links/ichitaro/viewer/

❑ ジャストホームEX2（イーエックスツー）

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：平日：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystems.com/

FeliCa（フェリカ）

❑ かざそうFeliCa（フェリカ）

VAIOカスタマーリンク

❑ Edy（エディ） Viewer（ビューワー）

Edy救急ダイヤル
電話番号：（0570）081-999（ナビダイヤル）
（03）6420-5699
受付時間：平日：9時30分～ 19時
土曜、日曜、祝日：10時～ 18時
（1/1 ～ 1/3と毎年2月第1日曜日を除く）
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard（エスエフカード） Viewer（ビューア） 2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystems.com/

❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystems.com/

❑ かんたん登録 2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystems.com/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for（フォー） VAIO（バイオ）

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystems.com/

❑ NFRM PC（エヌエフアールエムピーシー） Viewer（ビューワー）

NFRM公式Webサイト
http://sony.nfrm.jp/

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystems.com/

設定・ユーティリティー

❑ VAIO の設定

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ランチャー

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Smart Network

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ VAIO ナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO 電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows Vista for VAIO

インプレスカスタマーセンター

電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリセンター

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ ノートン（TM）オンラインバックアップ（60日期間限定版）

ホームページ：Sonyユーザ様向けサービスページです。

ノートン オンライン バックップに関するお問い合わせはこちらから！

http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

その他

❑ VAIO オンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク

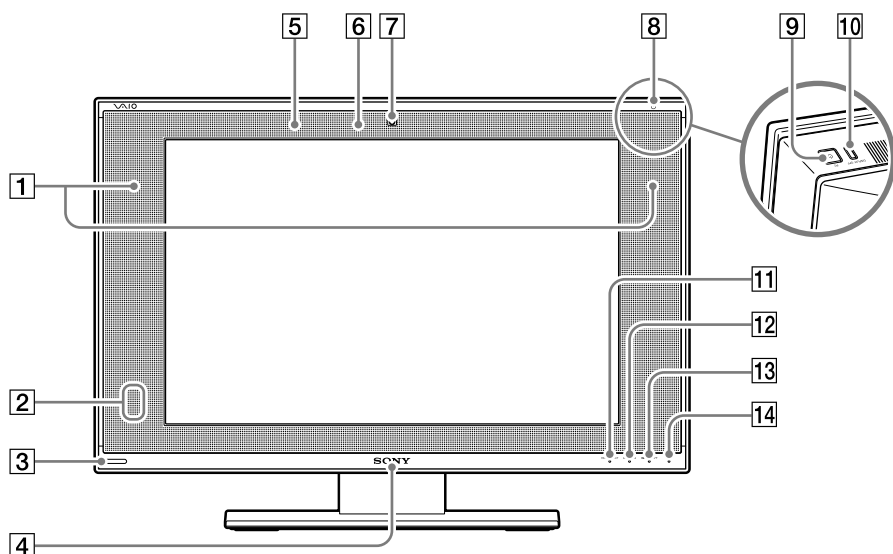
電話番号：（0466）38-1410

（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体前面

1 **内蔵スピーカー**
音楽CDやDVD再生時に音が出ます。

2 **リモコン受光部**（リモコン付属モデル）
リモコンの信号を受信します。

3 **IDラベル**
型名が記載されています。

4 **ロゴランプ**
本機の電源を入れると点灯します。
ロゴランプの点灯／消灯は、設定を変更することができます。お買い上げ時は、ロゴランプは自動的に点灯／消灯するように設定されています。

5 **内蔵マイク**
「Skype」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などを楽しむときに利用します。

6 **内蔵カメラ（MOTION EYE）ランプ**
内蔵カメラ（MOTION EYE）起動中に点灯します。

7 **内蔵カメラ（MOTION EYE）**
「Skype」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などを楽しむときに利用します。

8 **電源ランプ（39ページ）**
本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。
スリープモード時には、オレンジ色に点灯します。

9 **電源ボタン（39ページ）**
本機の電源を入れるときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すと、スリープモードに入ります（お買い上げ時の設定）。

10 **DISPLAY OFF（ディスプレイオフ）ボタン**
ディスプレイのバックライトを消したいときに押します。DISPLAY OFFボタンを押すと、DISPLAY OFFボタンとDISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯します。
就寝中にテレビ番組を録画するとき（テレビチューナー搭載モデル）や、ビデオコンテンツをDVDに書き込むときなどに使用します。

！ご注意

- DISPLAY OFFボタンを押した状態にするとディスプレイのバックライトは消えますが、画面表示自体は消えないので、明るいところではうっすらと画面が見えます。
- HDMI入力時は音声も消えます。

11 **HDMI SELECT（HDMI セレクト）ランプ**（HDMI入力機能搭載モデル）
HDMI入力時に緑色に点灯します。

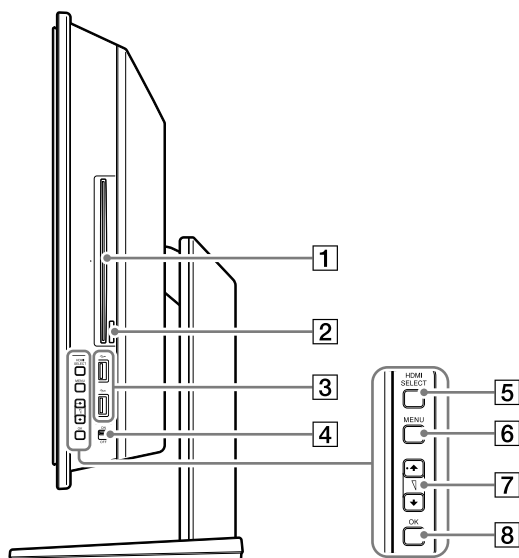
⑫ WIRELESS(ワイヤレス)ランプ
ワイヤレス機能(ワイヤレスLAN機能/ Bluetooth機能)が使える状態のときに、緑色に点灯します。

ヒント
複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、ひとつ以上のワイヤレス機能が使える状態のときに点灯します。なお、WIRELESS(ワイヤレス)スイッチがオンになっていても、「VAIO Smart Network」ソフトウェアでワイヤレス機能のデバイスが有効になっていない場合、WIRELESS(ワイヤレス)ランプは点灯しません。

⑬ DISPLAY OFF(ディスプレイオフ)ランプ
DISPLAY OFFボタンを押すと、オレンジ色に点灯します。

⑭ (ディスク)アクセスランプ
CD / DVDなどのディスクやハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

!ご注意
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本体右側面

1 **ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)、DVDスーパーマルチ/ BD-ROM一体型ドライブまたはDVDスーパーマルチドライブ**
Blu-ray DiscやCD、DVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(178ページ)。
以降、ドライブと略します。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[CD / DVD / BD]－[ディスクを入れる/取り出す]をクリックする。)

2 **イジェクトボタン**
ドライブからディスクを取り出すときに押します。

3 **(USB)コネクタ**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

4 **WIRELESS(ワイヤレス)スイッチ**
ワイヤレス機能(ワイヤレスLAN機能/ Bluetooth機能)のオン/オフを切り換えます。

ヒント
複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、WIRELESS(ワイヤレス)スイッチをオンにし、「VAIO Smart Network」ソフトウェアでワイヤレス機能のデバイスを有効にする必要があります。

5 **HDMI SELECT(HDMI セレクト)ボタン**(HDMI入力機能搭載モデル)
パソコン本体(PC)表示とHDMI入力を切り換えます。

ヒント
HDMI入力時はHDMI SELECTボタンとHDMI SELECTランプが点灯します。

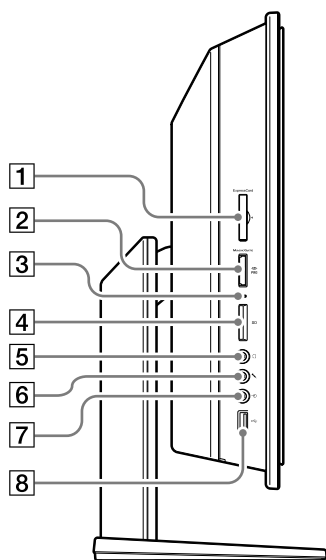
6 **MENU(メニュー)ボタン**(HDMI入力機能搭載モデル)
メニュー画面が表示されます。

7 **↑/↓音量調節ボタン**(HDMI入力機能搭載モデル)
HDMI入力時に押すと、接続しているHDMI機器の音量を調節できます。メニュー画面表示中に押すと、項目を選べます。

!ご注意
パソコン本体(PC)の音量は調節できません。

8 **OKボタン**(HDMI入力機能搭載モデル)
メニュー画面で項目を決定するときに使用します。

本体左側面

1
2
3
4
5
6
7
8

1 **ExpressCard（エクスプレスカード）スロット**
ExpressCardを取り付けます。

ヒント
- 本機は34mmサイズのExpressCardモジュールに対応しています。
- お買い上げ時は、ExpressCardスロット用ダミーカードが装着されています。ExpressCardモジュールが入っていないときは、スロットを保護するために必ずダミーカードを挿入してください。
- ダミーカードを取り出すには、ダミーカードを奥まで押し込み、ダミーカードの端を持ってスロットから引き抜いてください。

2 **メモリースティックスロット**
"メモリースティック"のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント
本機のメモリースティックスロットは、メモリースティックデュオ アダプターを使用せずに、"メモリースティック デュオ"をそのまま使えます。

3 **メモリーカードアクセスランプ**
"メモリースティック"やSDメモリーカードのデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

！ご注意
データ読み出し中やデータ書き込み中に"メモリースティック"やSDメモリーカードを取り出さないでください。

4 **SDメモリーカードスロット**
SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

5 **（ヘッドホン出力）コネクタ**
市販のヘッドホンをつなぎます。

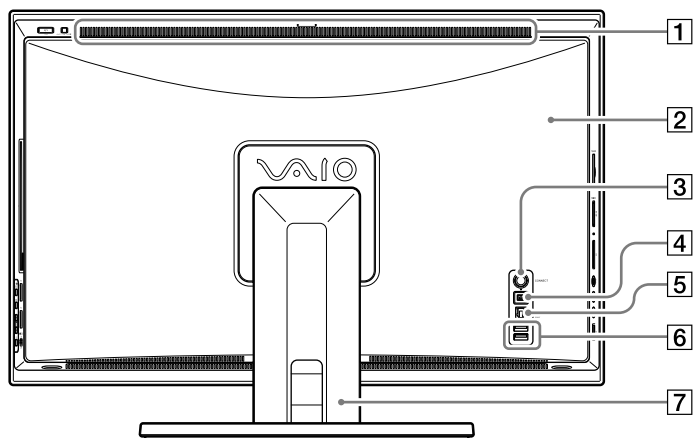
6 **（マイク入力）コネクタ**
市販のステレオマイクをつなぎます。

7 **（ライン入力）コネクタ**
オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

8 **（USB）コネクタ**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

本体後面

本体カバーを取り付けた状態

1 排気口
本体内部の熱が排気されます。

2 本体カバー
後面から配線されるケーブルなどを覆います。

3 CONNECT(コネクト)ボタン
付属のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを本体に認識させるために使用します。

4 i S400(i.LINK)コネクタ(4ピン)
i.LINK対応機器をつなぎます。

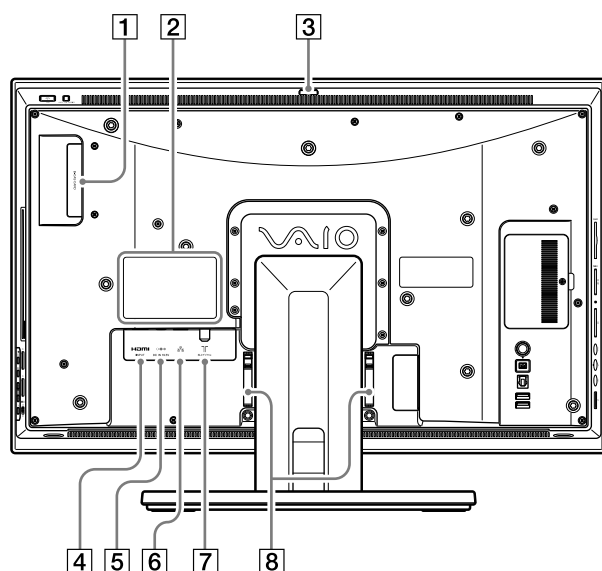
5 OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタ
AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。

6 (USB)コネクタ
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

7 スタンドカバー
スタンドのケーブル穴を隠します。ケーブルを配線する際はスタンドカバーをはずします。

!ご注意
本機使用中は排気口の温度が上ることがあります。これらの部分に触れるときには充分ご注意ください。

本体カバーを取りはずした状態

1 B-CASカード挿入口(テレビチューナー搭載モデル)
B-CASカードを抜き差しします。

2 機銘板ラベル
型名などが記載されています。

3 カメラレバー
内蔵カメラ(MOTION EYE)の向きを上下に動かします。

4 HDMI INPUT(HDMI 入力)コネクタ(HDMI入力機能搭載モデル)
HDDレコーダーなどのHDMI機器をつなぎます。

5 DC IN 19.5Vコネクタ
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

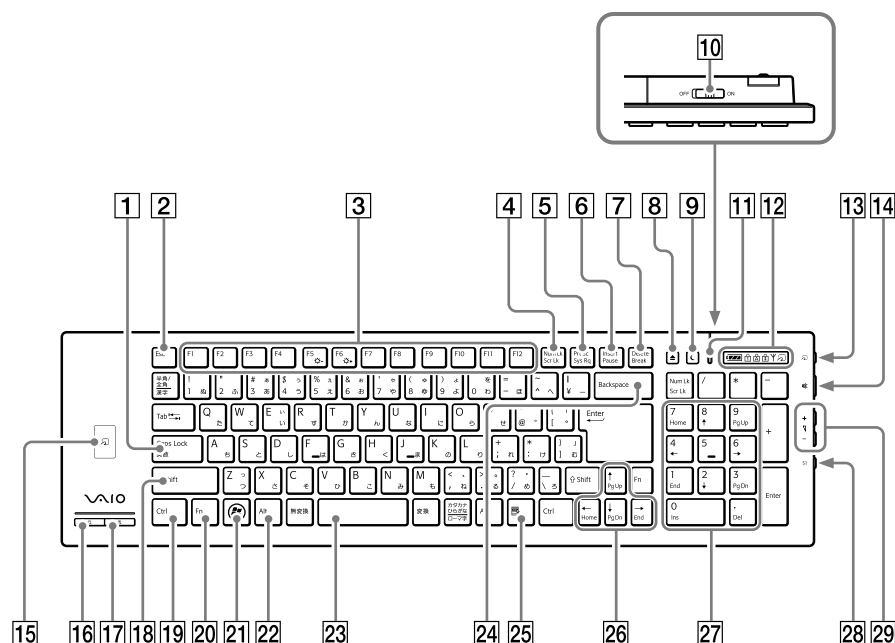
6 (LAN)コネクタ(28ページ)
ネットワーク(LAN)とつなぎます。

!ご注意
LANコネクタには指定以外のネットワーク(LAN)ケーブルや電話回線を接続しないでください。

7 地上デジタル(アンテナ)コネクタ(テレビチューナー搭載モデル)
アンテナをつなぎます。本機でデジタル放送を見るときに使います。

8 コード掛け
テレビアンテナやネットワーク(LAN)ケーブル、ACアダプタのケーブルなどを配線するときに使用します。

キーボードの各部名称

表面

1 **Caps Lock(キャプスロック)キー**
Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボード右上にある🄰(キャプスロック)インジケーターが表示されているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。
もう一度、Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押すと、🄰(キャプスロック)インジケーターが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

2 **Esc(エスケープ)キー**
設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 **ファンクションキー**
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

4 **Num Lk(ナムロック)キー／ Scr Lk(スクロールロック)キー**
- Num Lk(ナムロック)キーとして使用する
  テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lk(ナムロック)キーを押すと、キーボード右上にある🄰(ナムロック)インジケーターが表示されます。もう一度Num Lk(ナムロック)キーを押すと表示されなくなります。
- Scr Lk(スクロールロック)キーとして使用する
  使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーを押しながらScr Lk(スクロールロック)キーを押すと、キーボード右上にある🄰(スクロールロック)インジケーターが表示されます。もう一度Fnキーを押しながらScr Lk(スクロールロック)キーを押すと表示されなくなります。

5 **Prt Sc(プリントスクリーン)キー**
表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。

6 **Insert(インサート)キー**
文字入力モードを切り換えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り換えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

7 **Delete(デリート)キー**
カーソルの右側の文字を消します。

8 **⏏(イジェクト)ボタン**
ドライブからディスクを取り出すときに押します。

9 **☾(スリープ)ボタン**
本機の電源が入っているときに押すと、スリープモードに切り換わります。

10 **電源スイッチ**
キーボードの電源を入／切します。
長時間使用しないときは「OFF」にすることをおすすめします。

11 **電源表示窓**
キーボードの電源スイッチがONになっているときに緑色で表示されます。

⑫ **各種インジケーター**

- ▬(バッテリー)インジケーター
  キーボードの乾電池の残量が充分な場合は▬が、残り少ない場合は▭が表示されます。
  ▭が表示された状態でFeliCaを使用すると動作が不安定になることがあるので、FeliCaを使用する場合は乾電池を交換してください。(FeliCaを使用しない場合、▭が表示されてからも、キーボードはしばらく使用することができます。)
  乾電池の交換方法について、詳しくは「キーボードを準備する」(35ページ)をご覧ください。
- (ナムロック)インジケーター
  Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合に表示されます。
- (キャプスロック)インジケーター
  Caps Lock(キャプスロック)が有効になっている場合に表示されます。
- (スクロールロック)インジケーター
  Scroll Lock(スクロールロック)が有効になっている場合に表示されます。
- Y(コネクト)インジケーター
  キーボードはYが表示されているときに使用できます。Yが消えているときは、コネクトが切れている状態です。
- (FeliCa)インジケーター
  キーボード側のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)の準備が完了している場合に表示されます。
  (FeliCa)ボタンを押してから2分で(FeliCa)インジケーターは消えます。また、ポーリング中は点滅します。カードとの通信中は点滅が早くなります。

!ご注意

20分間以上キーボードで操作しないと、インジケーターの表示が消えます。この場合、キーボードと本体のコネクトが切れていることがあるので、Fn(エフエヌ)キーを押し、Y(コネクト)インジケーターが表示されていることを確認してから使用してください。

⑬ **(FeliCa)ボタン**

FeliCa対応のカードなどを使うときに押します。

⑭ **(消音)ボタン**

音を消すときに押します。

!ご注意

HDMI入力時にHDMI機器の音を消すことはできません。(HDMI入力機能搭載モデル)

⑮ **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)**

FeliCa対応のカードなどを読み取ります。
FeliCaについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]-[FeliCa]をクリックする。)

ヒント

FキーとJキーに突起がついています。

⑯ **(ズームアウト)ボタン**

画面に表示されている文章、画像、アイコン一覧などを縮小します。

⑰ **(ズームイン)ボタン**

画面に表示されている文章、画像、アイコン一覧などを拡大します。

⑱ **Shift(シフト)キー**

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

⑲ **Ctrl(コントロール)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

⑳ **Fn(エフエヌ)キー**

キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

㉑ **Windows(ウィンドウズ)キー**

Windowsのスタートメニューが表示されます。

㉒ **Alt(オルト)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

㉓ **スペースキー**

文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

㉔ **Backspace(バックスペース)キー**

カーソルの左側の文字を消します。

㉕ **アプリケーションキー**

マウスの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

㉖ **矢印キー**

画面上のカーソルを動かします。

㉗ **数字キー**

Num Lk(ナムロック)キー/Scr Lk(スクロールロック)キーを押し、Num Lock(ナムロック)が有効になっている状態のときは、数字を入力できます。
5キーに突起が付いています。

㉘ **S1ボタン**

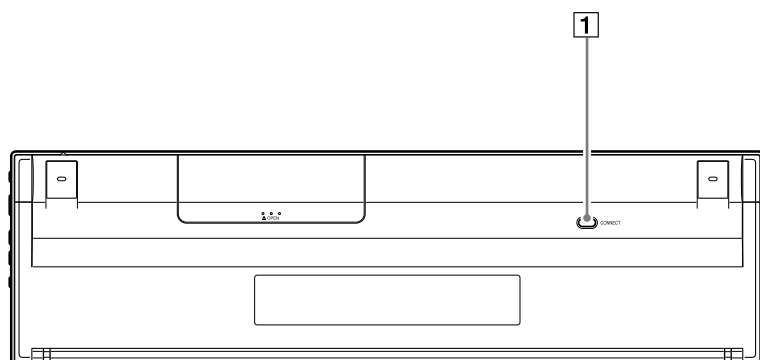
このボタンを押すだけで、好みのソフトウェアなどを起動します。

㉙ **(音量調節)ボタン**

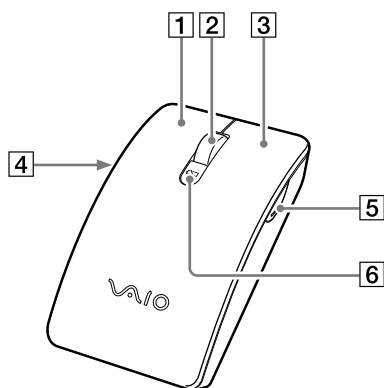
音量を調節するときに押します。
+側を押すと大きくなり、-側を押すと小さくなります。

!ご注意

HDMI入力時にHDMI機器の音量を調節することはできません。(HDMI入力機能搭載モデル)

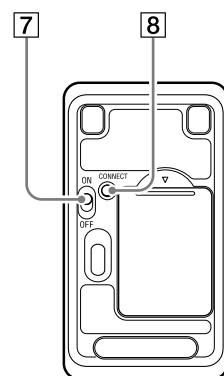
裏面

1 CONNECT(コネクト)ボタン
キーボードを本機に認識させるために使用します。

マウスの各部名称

表面

1 左ボタン(42ページ)
文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 ホイールボタン
ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。
また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 右ボタン
文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

4 左サイドボタン
Internet Explorerなどの「戻る」と同様の働きをします。ボタンの働きの設定は変更することができます。

5 右サイドボタン
Internet Explorerなどの「進む」と同様の働きをします。ボタンの働きの設定は変更することができます。

6 (ローバッテリー)ランプ
マウスの乾電池の残量が充分でない場合に点滅します。
乾電池の交換方法について、詳しくは「マウスを準備する」(36ページ)をご覧ください。

裏面

7 電源スイッチ(41ページ)
マウスの電源を入/切します。

8 CONNECT(コネクト)ボタン(41ページ)
マウスを本機に認識させるために使用します。

マウスのサイドボタンの設定について

左サイドボタンと右サイドボタンの機能は、設定を変更することができます。詳しくは、次の手順で表示されるヘルプをご覧ください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

② [一覧から選ぶ]をダブルクリックする。

③ [マウスのサイドボタン設定]をダブルクリックする。

ヘルプが表示されます。

ヒント
ホイールボタンを長押しすると、右サイドボタンや左サイドボタンの機能を変更する設定画面が表示されます。

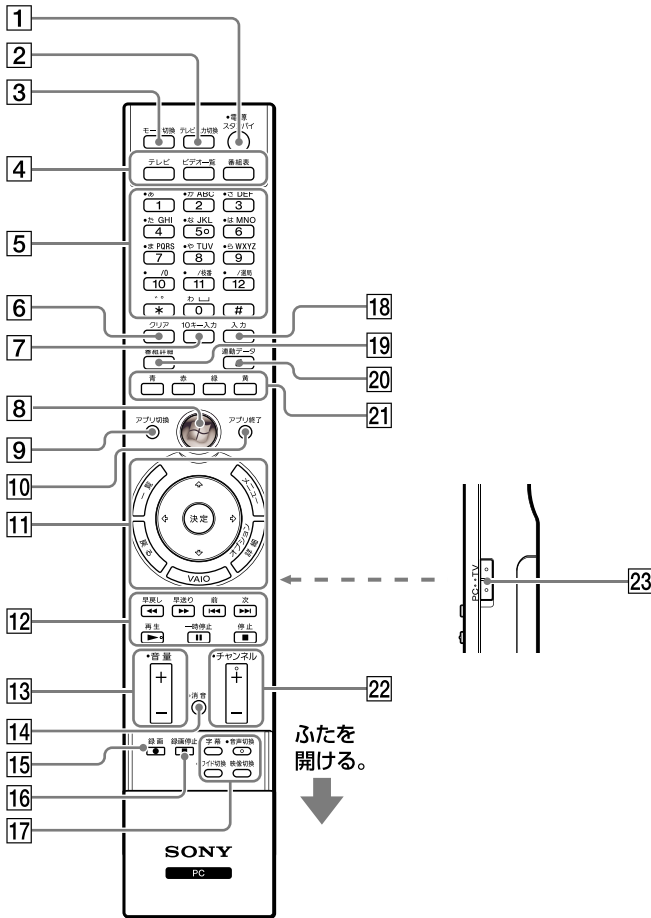
オプティカルマウスとは

オプティカルマウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材(ガラスなど)
- 光を反射する素材(光沢のあるビニールや鏡など)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

!ご注意
- マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面(机、紙、マウスパッドなど)でマウスを操作してみてください(上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります)。
- オプティカルマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

リモコンの各部名称（リモコン付属モデル）

ふたを
開ける。

1 **電源／スタンバイボタン**
本機の動作中に押すと、スリープモードになります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

！ご注意

次の場合は、スリープモードには入れません。
- 録画中
- DVDの作成中
- 録画予約処理中（予約録画開始前など）
- リモート録画予約の通信中（リモート録画予約機能を設定している場合）

2 **テレビ入力切換ボタン**
テレビの外部入力を切り換えます。

3 **モード切換ボタン**
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使っているときに、画面のマウスモードとリモコンモードを切り換えます。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 **画面切り換えボタン**
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの、テレビ／ビデオ一覧／番組表画面を表示します。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

5 **チャンネル数字／文字入力ボタン**
チャンネルを選択したり、文字を入力するときに使います。
5ボタンに突起が付いています。

ヒント

お使いのソフトウェアによっては、チャンネル数字ボタンの割り当てを変更できます。詳しくはソフトウェアのヘルプをご覧ください。

6 **クリアボタン**
文字入力時に文字を消去したい場合に使います。

7 **10キー入力ボタン**
ダイレクト選局（3桁入力）でチャンネルを切り換えることができます。

8 **Windowsボタン**
Windows Media Centerを起動します。

9 **アプリ切換ボタン**
手前に表示されているソフトウェアを他のソフトウェアに切り換えたい場合に使います。

10 **アプリ終了ボタン**
手前に表示しているソフトウェアを終了します。テレビを終了する場合などに使います。

11 **操作ボタンA**
- **一覧ボタン**
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使っているときに、チャンネルやコンテンツの一覧を表示します。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- **戻るボタン**
「戻る」が選択状態になるか、ひとつ前の画面に戻ります。
- **VAIOボタン**
VAIO ランチャーを起動します。
- **オプション/詳細ボタン**
カーソルを合わせた対象のプロパティなどを表示します。
- **メニューボタン**
メニューを表示したり非表示にしたりします。
- **上下左右ボタン**
画面上の選択範囲を移動します。
- **決定ボタン**
選択されている項目を決定します。

12 **操作ボタンB**
- **早戻しボタン**
早戻しします。
- **早送りボタン**
早送りします。
- **前ボタン**
再生時に前のチャプターに戻ります。
- **次ボタン**
再生時に次のチャプターに進みます。
- **再生ボタン**
録画した番組を再生します。ボタンに突起が付いています。
- **一時停止ボタン**
再生を一時停止します。
- **停止ボタン**
再生を停止します。

13 **音量ボタン**
音量を調節します。

!ご注意
HDMI入力時にHDMI機器の音量を調節することはできません。(HDMI入力機能搭載モデル)

14 **消音ボタン**
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

!ご注意
HDMI入力時にHDMI機器の音を消すことはできません。(HDMI入力機能搭載モデル)

15 **録画ボタン**
テレビ番組の録画を開始します。

16 **録画停止ボタン**
録画を停止します。

17 **操作ボタンC**
- **字幕ボタン**
デジタル放送の字幕を表示します。
- **音声切換ボタン**
複数の音声がある番組を見ているときに音声を切り換えることができます。ボタンに突起が付いています。
- **ワイド切換ボタン**
デジタル放送の画面表示を、ノーマル/フル/ズームの順で切り換えることができます。
- **映像切換ボタン**
スポーツ番組のアングル別映像など、複数の映像がある番組を見ているときは、映像を切り換えることができます。

18 **入力ボタン**
Windows Media Centerでキーワード検索などを行う場合に、文字を入力したあと決定するときに使います。

19 **番組詳細ボタン**
視聴中の番組の番組名や出演者などの情報を表示します。

20 **連動データボタン**
データ放送(番組に関連した情報や地域密着の情報など)を表示します。

21 **カラーボタン**
データ放送や双方向サービスなどを利用する場合に使います。

22 **チャンネルボタン**
チャンネルを切り換えるときに使います。
+ボタンに突起が付いています。

23 **PC / TVスイッチ**
本機の操作を行う場合はスイッチを「PC」に、市販のテレビを操作する場合は「TV」に切り換えます。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。

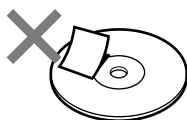
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

ハードディスクのバックアップについて

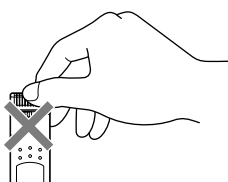
ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。
- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。
- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

"メモリースティック"の取り扱いについて

"メモリースティック"に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック"に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

"メモリースティック デュオ"使用上のご注意

- "メモリースティック デュオ"のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、"メモリースティック"の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや"メモリースティック"本体を破損するおそれがあります。
- "メモリースティック"と"メモリースティック デュオ"は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや"メモリースティック"、"メモリースティック デュオ"本体が破損するおそれがあります。

"メモリースティック マイクロ"使用上のご注意

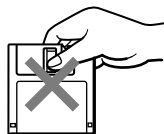
- "メモリースティック マイクロ"を本機でお使いの場合は、必ず"メモリースティック マイクロ"をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてからお使いください。
- メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、"メモリースティック マイクロ"が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに"メモリースティック マイクロ"を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。メモリースティック マイクロ スタンダードサイズ アダプターをお使いください。
- "メモリースティック マイクロ"、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめフォーマット（初期化）してからご使用ください。
機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響で ExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- ExpressCard スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。
    ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧ください。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

- 2.4 GHz帯のワイヤレスLAN機能と5 GHz帯のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

内蔵カメラ（MOTION EYE）についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- i.S400（i.LINK）コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）から撮影することはできません。

ACアダプタについてのご注意

- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

8cmディスクを使用するときのご注意

本機で8cmディスクを使うときは、必ず8cmディスクを付属の8cmディスクアダプターに取り付けてから、本機のドライブに入れてください。
8cmディスクアダプターの装着方法については、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[CD ／ DVD ／ BD]－[ディスクを入れる／取り出す]をクリックする。）

！ご注意

- アダプターを装着しないで使用したり、正しく装着されていない状態で使用すると、8cmディスクが認識されなかったり、取り出せなくなったり、ディスクの破損、または本機の故障の原因になることがあります。
- ディスクに指紋等の汚れが付いたときは、やわらかい布などでディスクの中心から外へ向かって放射状に軽くふき取ってからご使用ください。
- このアダプターは本機のみで使用できます。
- 使用できるのは8cmディスクのみです。
- ディスクの種類によっては使用できない場合があります。
- 8cmディスクの書き込みには対応していません。
- お使いにならないときは、ディスクをアダプターからはずしてください。ディスクをアダプターに取り付けたまま長時間放置すると、ディスクが変形する場合があります。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

デジタル放送の著作権保護とB-CASカードについて（テレビチューナー搭載モデル）

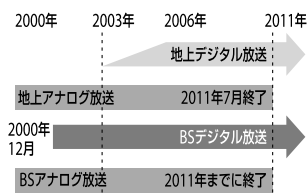
地上デジタル放送を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用します。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が視聴できません。
- デジタル放送には、コピー制御信号が加えられています。放送局が定めた範囲でコピーできますが、著作権者等に無断で販売したりインターネットで公衆に送信したりすると、著作権侵害になります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について（テレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月*に、BSアナログ放送は2011年*までに終了することが、国の方針として決定されています。

* 2008年3月現在の情報です。

2000年	2003年	2006年	2011年
	地上デジタル放送 →		
地上アナログ放送			2011年7月終了
2000年12月	BSデジタル放送 →		
BSアナログ放送			2011年までに終了

ソフトウェアの不正コピーの禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

他のオーディオ機器を接続する場合のご注意

本機に搭載されているSound Realityチップは、可聴領域を超える高い周波数の信号を再生できる能力を持っています。
本機に、外付けのアンプなど、外部のオーディオ機器に接続して、高い周波数の信号を大音量で連続再生した場合、接続された機器によっては故障の原因になったり、正常に音が再生できなくなるなどの問題を起こすことがあります。
市販のCDやDVDなど、一般に音楽として流通している音源では、オーディオ機器に故障を起こすような高い周波数の音が大音量で含まれていることはありません。
本機にプリインストールされているサウンド編集ソフトなどで、意図的に高い周波数の信号が入った音源を作成したり、テスト信号などを再生させる場合はご注意ください。

お手入れ

本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

！ご注意
ゴミや汚れを拭き取る際、強く拭くとキズがつくおそれがあります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

キーボードのお手入れ

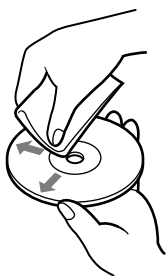
キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
  キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

!ご注意

- お手入れをするときは必ず乾電池を抜いてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ(MOTION EYE)のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  VAIO データ消去ツールについて詳しくは、110ページをご覧ください。
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

－：再生、記録不可

ディスクの種類	DVDスーパーマルチドライブ	ブルーレイディスクドライブ (DVDスーパーマルチ機能搭載)	DVDスーパーマルチ/BD-ROM 一体型ドライブ
CD-ROM	○	○	○
Video CD	○	○	○
Music CD	○	○	○
CD Extra	○	○	○
CD-R ／ RW	◎	◎	◎ [*5]
DVD-ROM	○	○	○
DVD-Video	○	○	○
DVD-R ／ RW	◎	◎	◎
DVD+R ／ RW	◎	◎	◎
DVD+R DL（Double Layer）	◎	◎	◎
DVD-R DL（Dual Layer）	◎	◎	◎
DVD-RAM [*1 *2]	◎	◎	◎
BD-ROM	－	○	○
BD-R ／ RE [*3]	－	◎ [*4]	○

＊1　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

＊2　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

＊3　BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

＊4　BD-R Ver.1.1/1.2/1.3（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）、BD-RE Ver.2.1（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）の書き込みに対応しています。

＊5　Ultra Speed CD-RWのディスクは書き込みできません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 付属の8cmディスクアダプターでの読み出しにのみ対応します。（DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル）
- 付属の8cmディスクアダプターでの読み出しは、8cm DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD+RW ／ DVD+R DLに対応しています。8cm CD ／ DVD-RAM ／ BDの読み出しには対応していません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。

- ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。
  AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。
  なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページでご案内します。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R ／ BD-REは、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。
- ACアダプタの取り付け／取りはずしを行わないでください。

地上デジタル放送について（テレビチューナー搭載モデル）

対応している放送の種類

地上デジタル放送（VHF 1ch-12ch、CATV C13ch-C63ch、UHF 13ch-62ch）

！ご注意

- 本機は同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応していません。
- BS・110度CSデジタル放送、アナログ放送には対応していません。

デジタル放送の機能

本機は以下の機能に対応しています。

- EPG（電子番組表）
- 字幕放送
- データ放送
- 双方向（データ放送）サービス

！ご注意

字幕はブルーレイディスクにのみ書き出しできます。ただし、再生機器によっては字幕が再生できないことがあります。

デジタル放送を書き出せるディスク

ハードディスクドライブに録画したデジタル放送の番組は、以下のディスクに書き出せます。

- BD-R ／ BD-RE（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）
- CPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAM

！ご注意

- 「使用できるディスクとご注意」（178ページ）もあわせてご確認ください。
- デジタル放送の番組を直接ディスクに録画することはできません。
- デジタル放送の番組をBD-R ／ BD-REに書き出した場合、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイディスクレコーダーでは再生できません。
- デジタル放送の番組を書き出したディスクは、お使いの再生機器によっては再生できないことがあります。

CPRMについて

CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。

デジタル放送の番組をDVDに書き出す場合は、パッケージに「デジタル放送対応」や「CPRM対応」などの記載があるディスクをご使用ください。

索引

* 別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

【ハ行】

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【B】

【C】

【D】

【E】

【F】

【H】

【I】

【L】

【M】

【O】

【S】

【U】

【V】

【W】

【数字】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"マジックゲート メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ" はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ" " はソニー株式会社の商標です。
- "AVCHD" および "AVCHD" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap" および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ICOCAは、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PiTaPaは、株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- nimocaは、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- Kitakaは、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside、Intel Atom は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Officeロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- NVIDIA、NVIDIAロゴ、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号ᗡᗞはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard(TM)はMultiMediaCard Associationの商標です。
- ExpressCard(TM)ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association(PCMCIA)の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは138ページをご覧ください。）

VAIOオーナーのポータルサイト

My VAIO
http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOの各種サービスをご覧いただけます。

VAIOの製品情報が満載

VAIOホームページ
http://sony.jp/vaio/

VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

ロクゼロ サンサンキュウキュウ
(0120) 60-3399
(フリーダイヤル)

※VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
- VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
- お電話の前に本機の型名をご確認ください。
(保証書または本機IDラベルに記載されています。本機IDラベルについて詳しくは、「各部の説明」(160ページ)をご覧ください。)

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」(142ページ)をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
(0466) 38-1410

受付時間
平日：9時～ 20時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。)

有料サービス

My VAIO(http://sony.jp/vaio/myvaio/)では、VAIOオーナーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ セミナー・個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート(初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など)を行うサービスです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO(http://sony.jp/vaio/myvaio/)をご覧ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」
電話番号（0120）60-3399

※フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
※VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、
「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
※お電話の前に本機の型名をご確認ください。

詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-146-855-**01** (1)

4 1 4 6 8 5 5 0 1